
指宿市子育てに関するアンケート調査
報告書

令和6年2月

指 宿 市

目次

I	調査概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査時期	1
3.	調査対象	1
4.	調査方法	1
5.	回答状況	1
6.	集計上の留意点	1
II	調査結果（未就学児）	2
1.	お住まいの地域について	2
2.	お子さんご家族について	2
3.	子どもの育ちをめぐる環境について	4
4.	お子さんの保護者の就労状況について	8
5.	お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	14
6.	お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	22
7.	小学校就学後の放課後の過ごし方について	25
8.	お子さんの病気の際の対応について	30
9.	お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	35
10.	地域の子育て支援事業の利用状況について	40
11.	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	44
12.	子育て全般について	54
III	調査結果（就学児）	58
1.	お住まいの地域について	58
2.	お子さんご家族について	58
3.	子どもの育ちをめぐる環境について	60
4.	お子さんの保護者の就労状況について	64
5.	お子さんの放課後の過ごし方について	70
6.	お子さんの病気の際の対応について	79
7.	お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	84
8.	地域の子育て支援事業の利用状況について	89
9.	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	93
10.	子育て全般について	102

I 調査概要

1. 調査目的

令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とした、「第三期指宿市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向け、この計画で確保すべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出し、市民の皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、計画策定の基礎資料とするために、アンケート調査を実施しました。

2. 調査時期

令和5年12月～令和6年1月

3. 調査対象

指宿市内に居住する小学生以下の児童を養育する保護者1,961人を対象に実施

4. 調査方法

- ・小学校、幼稚園、保育所等を通じ配付・回収及びインターネットによる回答
- ・未就園児は郵送による配布・回答及びインターネットによる回答

5. 回答状況

対象者	配付数	回答件数	回答率
『指宿市子育てに関するアンケート調査』	1,961件	1,015件	51.8%

6. 集計上の留意点

- (1) グラフ中の「n=」は、母数となるサンプル数(回答者数)を示している。
- (2) 集計結果は百分率で算出し、四捨五入の関係上、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の場合は、回答者実数より多くなっている場合がある。
- (4) 回答者が無い場合の設問では一部集計表・グラフを省いている。

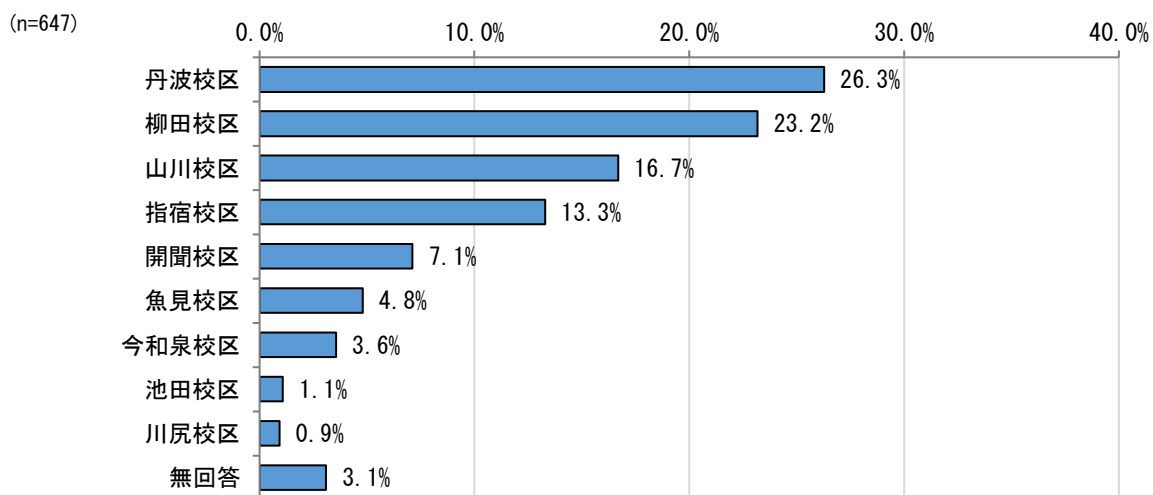
II 調査結果（未就学児）

1. お住まいの地域について

問1 お住まいの小学校区を教えてください。

小学校区は、「丹波校区」26.3%が最も高く、次いで「柳田校区」23.2%、「山川校区」16.7%となっている。

図表 1-1 お住まいの小学校区



2. お子さんとご家族について

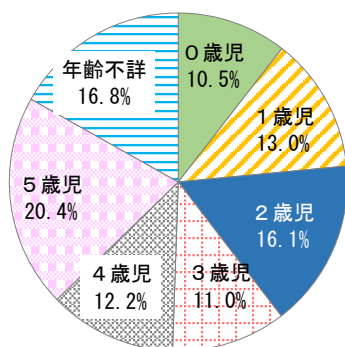
問2・問3 お子さんの年齢及び兄弟数を教えてください。

年齢は「5歳児」20.4%が最も高く、次いで「2歳児」16.1%、「1歳児」13.0%となっている。

兄弟数は「2人」36.6%が最も高く、次いで「1人」25.5%、「3人」25.2%となっている。4人以上は合わせて9.7%となっている。

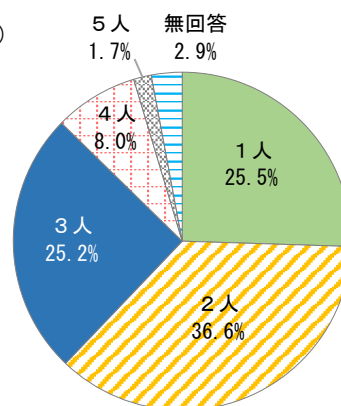
図表 2-1 年齢

(n=647)



図表 2-2 兄弟数

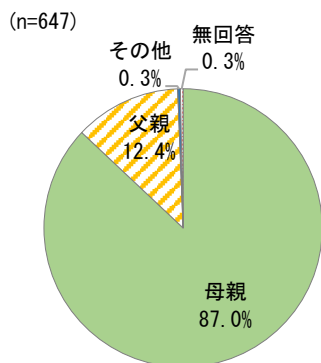
(n=647)



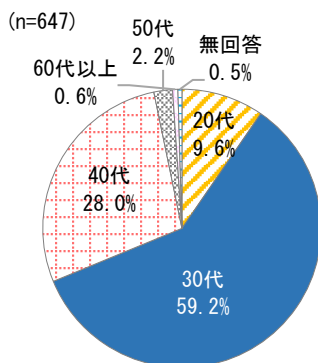
問4～問6 ご回答いただく方の続柄、年齢及び配偶者の有無について教えてください。

回答者の続柄については、「母親」87.0%、「父親」12.4%となっている。
 年齢については、「30代」59.2%が最も高く、次いで「40代」28.0%、「20代」9.6%となっている。
 配偶者の有無については、「配偶者がいる」91.3%、「配偶者はいない」8.3%となっている。

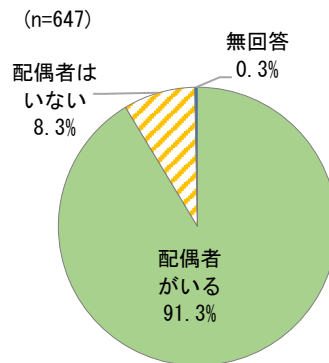
図表 2-3 続柄



図表 2-4 年齢



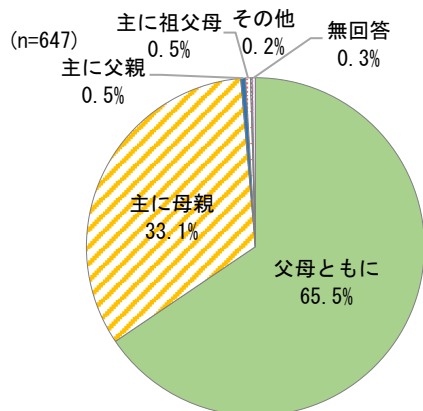
図表 2-5 配偶者の有無



問7 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

子育てを主に行っている方については、「父母ともに」65.5%が最も高く、次いで「主に母親」33.1%、「主に父親」、「主に祖父母」がいずれも0.5%となっている。

図表 2-6 子育てを主に行っている方

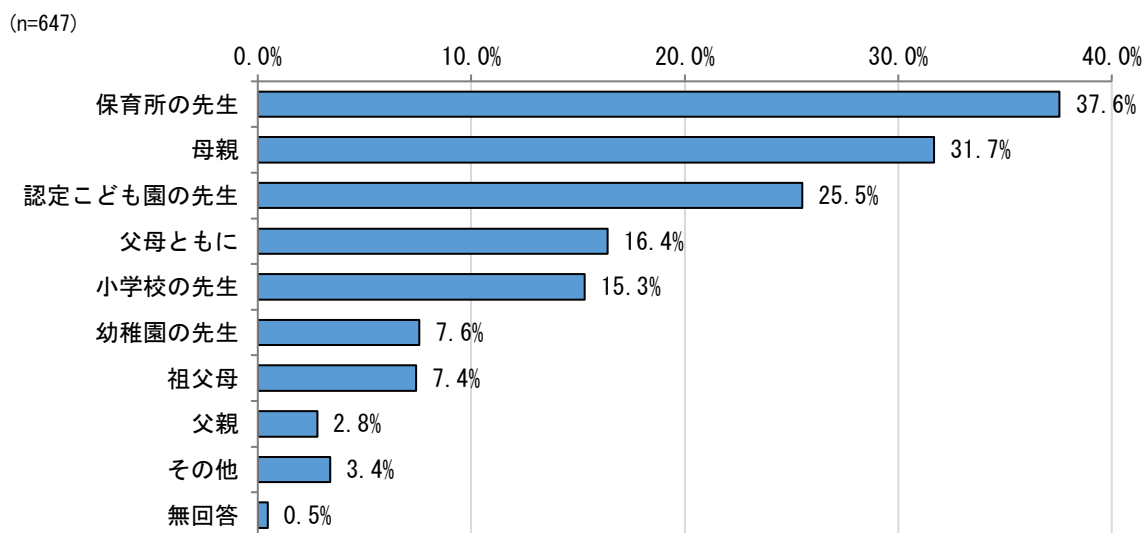


3. 子どもの育ちをめぐる環境について

問8 お子さんは日中(およそ8:00~17:00)どなたと過ごしていますか。お子さんからみた関係でお答えください。(複数回答)

日中の過ごし方については、「保育所の先生」37.6%が最も高く、次いで「母親」31.7%、「認定こども園の先生」25.5%となっている。

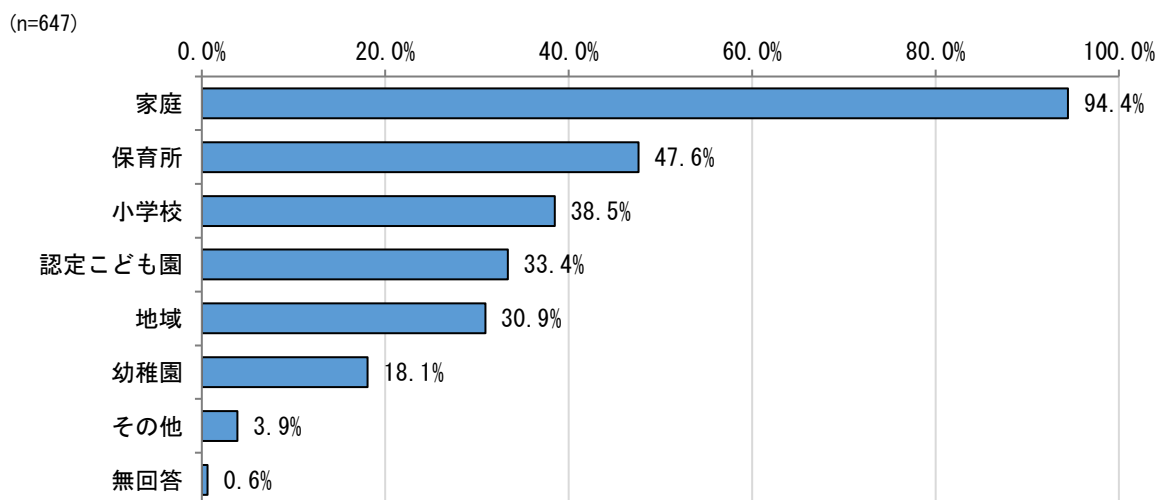
図表 3-1 日中どなたと過ごしていますか



問9 お子さんの子育て(教育を含む)に、大きく影響すると思われる環境についてお答えください。(複数回答)

子育て(教育を含む)に大きく影響すると思われる環境については、「家庭」94.4%が最も高く、次いで「保育所」47.6%、「小学校」38.5%となっている。

図表 3-2 子育てに大きく影響すると思われる環境

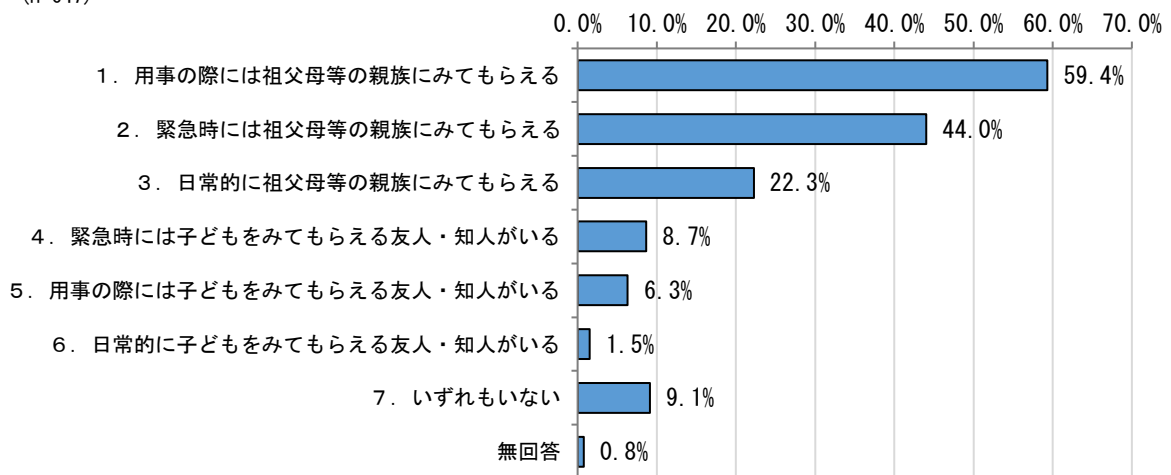


問10 日頃、お子さんをみてもらえる親族・友人・知人はいますか。(複数回答)

子どもをみてもらえる親族・友人・知人がいるかについては、「用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」59.4%が最も高く、次いで「緊急時には祖父母等の親族にみてもらえる」44.0%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」22.3%となっている。

図表 3-3 お子さんをみてもらえる親族・友人・知人

(n=647)

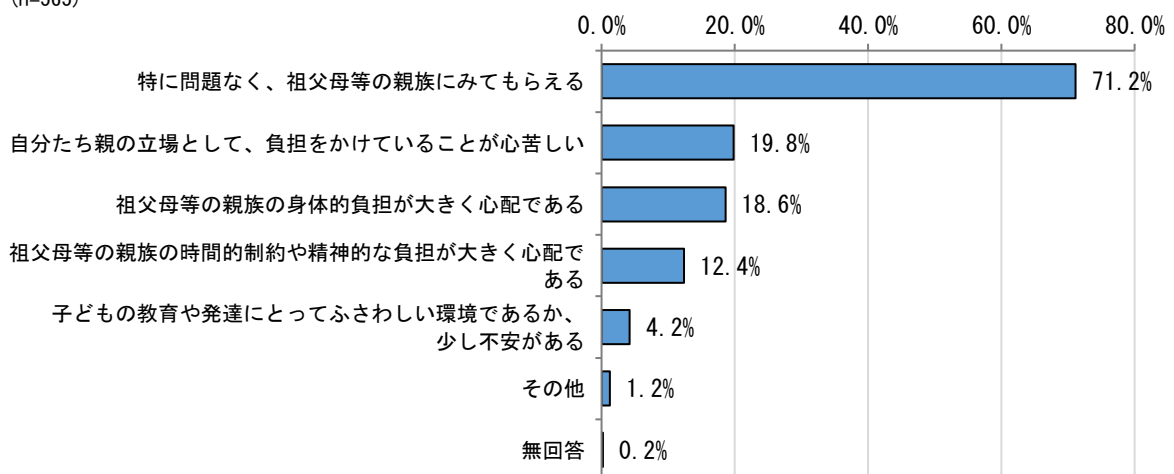


**問10-1 【問10で「1.」～「3.」に○をつけた方にうかがいます。】
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(複数回答)**

祖父母等の親族に子どもをみてもらう状況については、「特に問題なく、祖父母等の親族にみてもらえる」71.2%が最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」19.8%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」18.6%となっている。

図表 3-4 お子さんをみてもらう状況 (祖父母等)

(n=565)

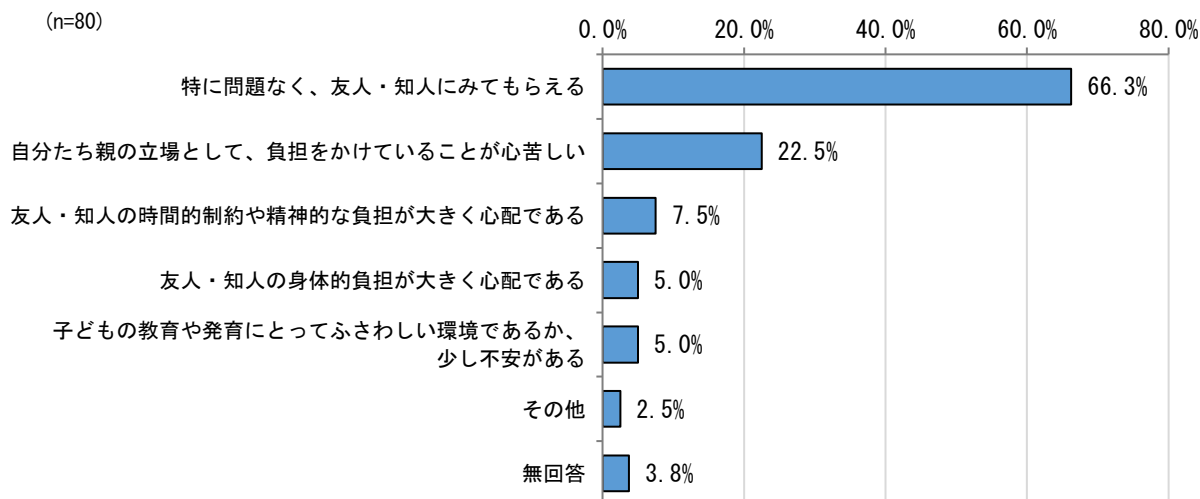


問10-2 【問10で「4.」～「6.」に○をつけた方にかがいます。】

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(複数回答)

友人・知人に子どもをみてもらう状況については、「特に問題なく、友人・知人にみてもらえる」66.3%が最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」22.5%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」7.5%となっている。

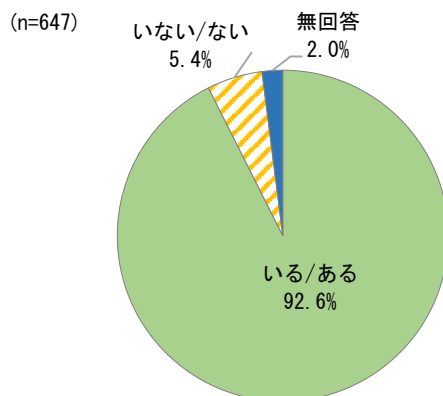
図表 3-5 お子さんをみてもらう状況（友人・知人）



問11 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人や場所については、「いる/ある」92.6%、「いない/ない」5.4%となっている。

図表 3-6 お子さんの子育てをする上での相談相手の有無

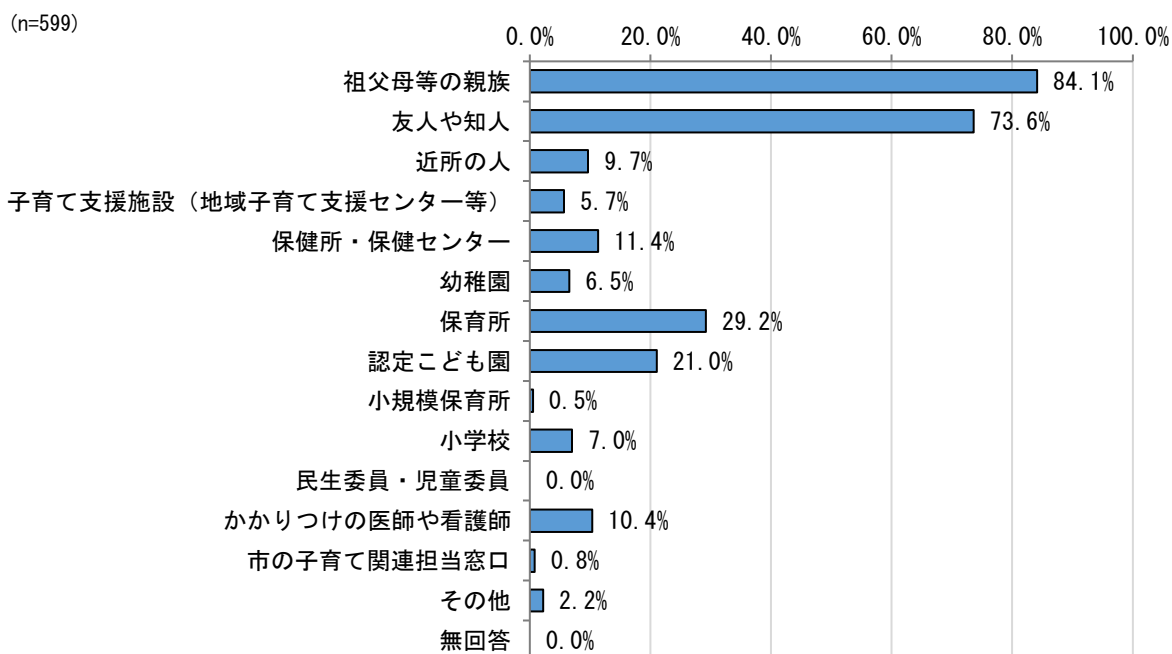


問11-1 【問11で「1.いる／ある」に○をつけた方にかがいます。】

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる相談先は、誰(どこ)ですか。(複数回答)

子育てに関して、気軽に相談できる相談先については、「祖父母等の親族」84.1%が最も高く、次いで「友人や知人」73.6%、「保育所」29.2%となっている。

図表 3-7 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる相談先



問12 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

回答内容をみると、気軽に預かってくれる施設や場所について (36 件)、天候に左右されない室内の遊び場について (5 件)、交流の場や安全に遊べる場の確保 (10 件)、子育て等の情報発信について (11 件)、経済的支援について (9 件)、行政等のサポート体制について (28 件)、その他ご意見・ご要望 (24 件) など 123 件の回答があった。(詳細はデータ編参照)

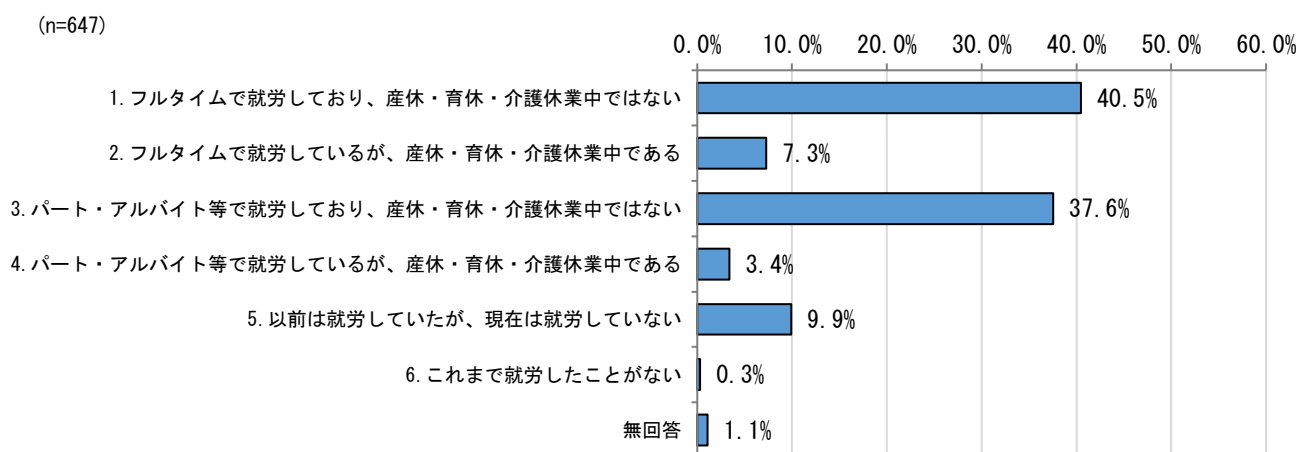
4. お子さんの保護者の就労状況について

問13 お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてうかがいます。

(1) 母親

母親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」40.5%が最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」37.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」9.9%となっている。

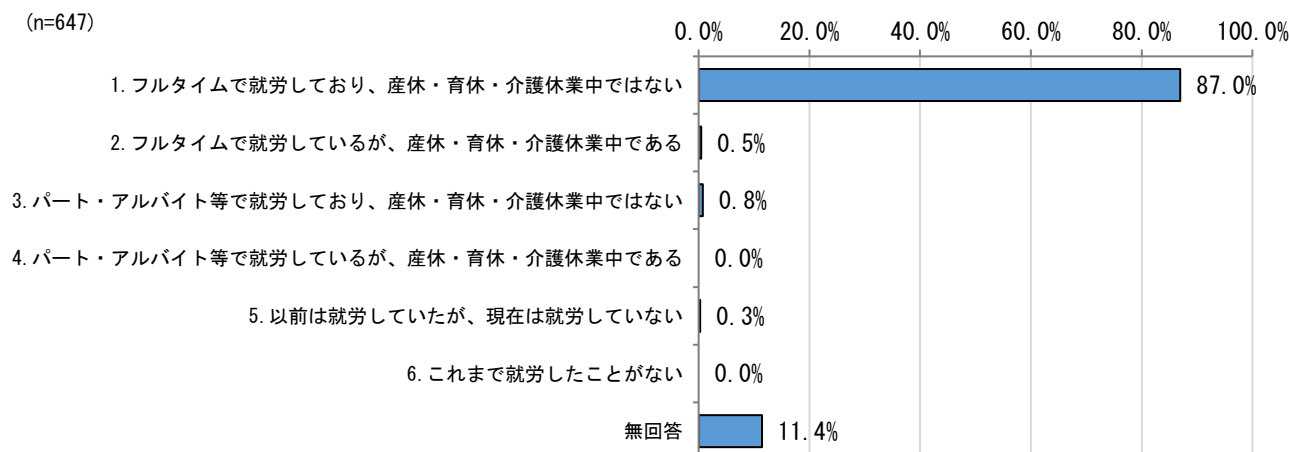
図表 4-1 お子さんの保護者の就労状況（母親）



(2) 父親

父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」87.0%が最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」0.8%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」0.5%となっている。

図表 4-2 お子さんの保護者の就労状況（父親）



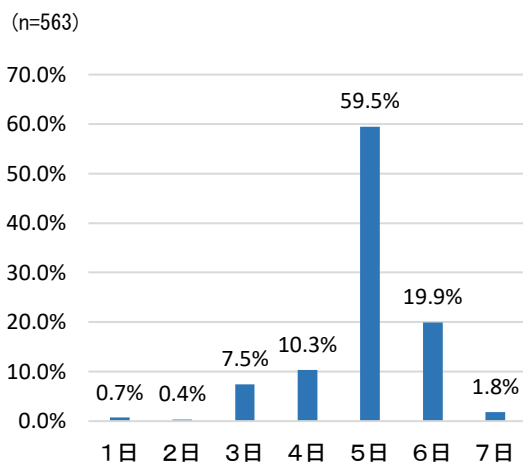
問13(1)-1 【(1)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

(1)-1 及び(1)-2 1週当たり日数及び1日当たり時間。家を出る時刻及び帰宅時刻

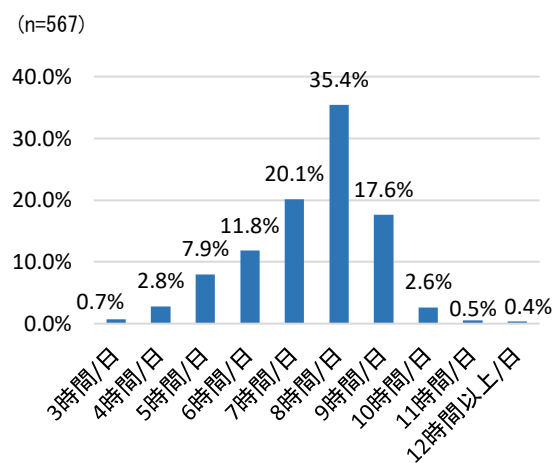
【母親】

就労状況をみると、週5日、1日8時間が最多となっている。また、家を出る時刻は8時台、帰宅時刻は18時台が最も高くなっている。

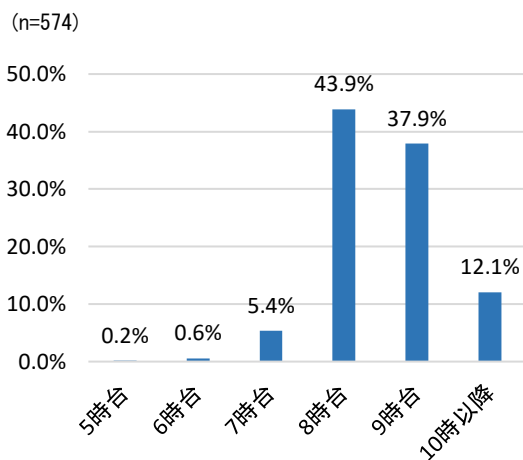
図表 4-3 1週当たり日数



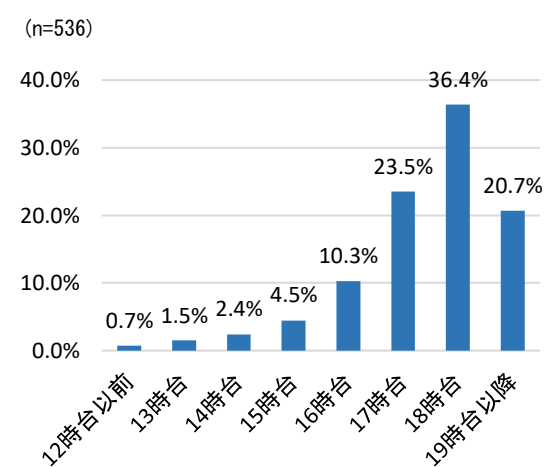
図表 4-4 1日当たり時間



図表 4-5 家を出る時刻



図表 4-6 帰宅時刻



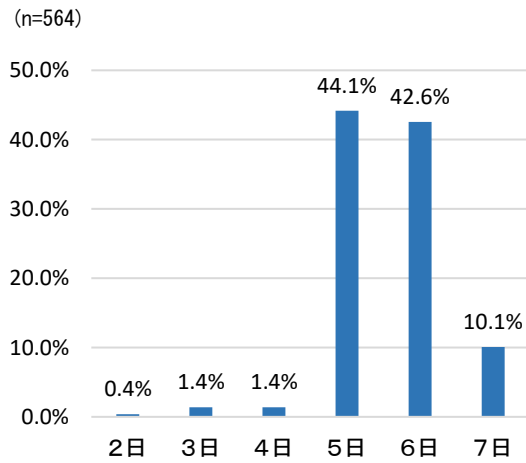
※無回答を除いて集計を行った

(2)-1 及び(2)-2 1週当たり日数及び1日当たり時間。家を出る時刻及び帰宅時刻

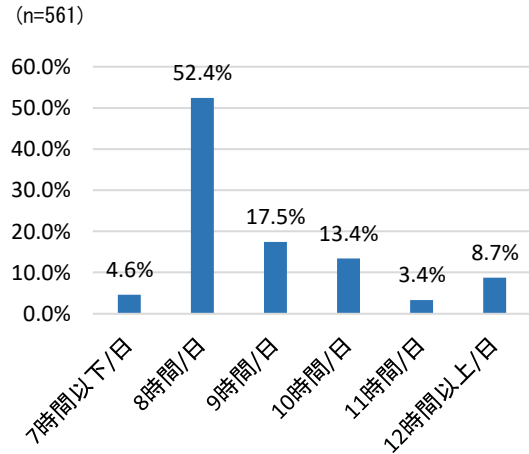
【父親】

就労状況をみると、週5日、1日8時間が最多となっている。また、家を出る時刻は8時台、帰宅時刻は18時台が最も高くなっている。

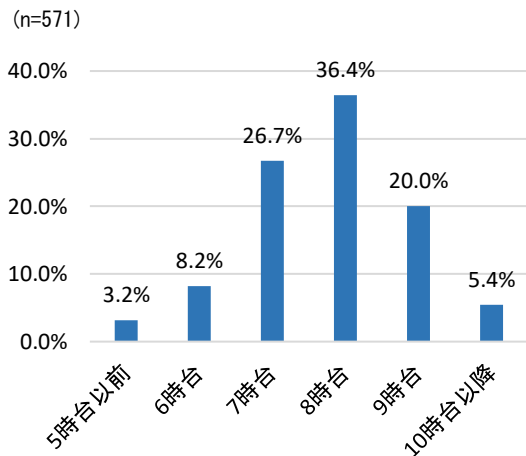
図表 4-7 1週当たり日数



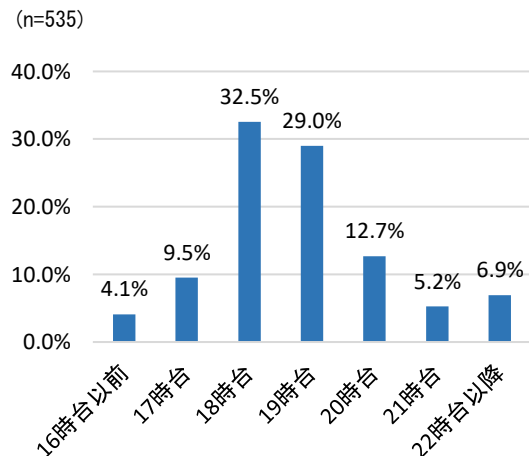
図表 4-8 1日当たり時間



図表 4-9 家を出る時刻



図表 4-10 帰宅時刻



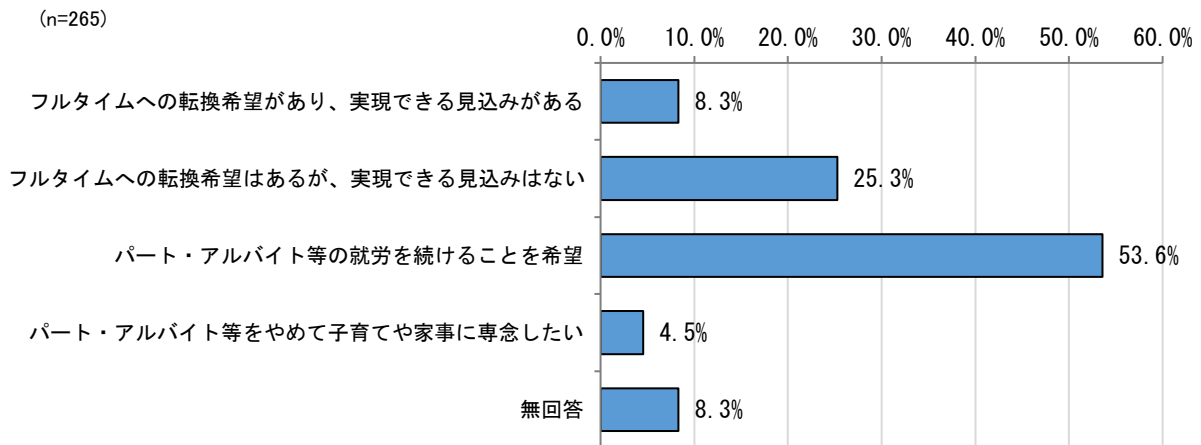
※無回答を除いて集計を行った

問14 【問13の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方
 にかがいます。】フルタイムへの転換希望はありますか。

(1) 母親

フルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」53.6%が最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」25.3%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」8.3%となっている。

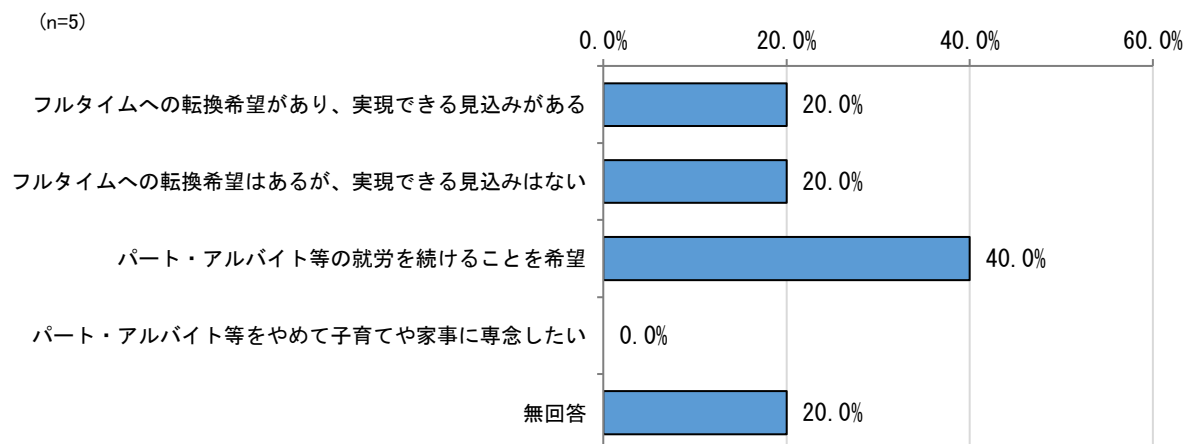
図表 4-11 フルタイムへの転換希望（母親）



(2) 父親

フルタイムへの転換希望については、サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」40.0%が最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」がいずれも20.0%となっている。

図表 4-12 フルタイムへの転換希望（父親）

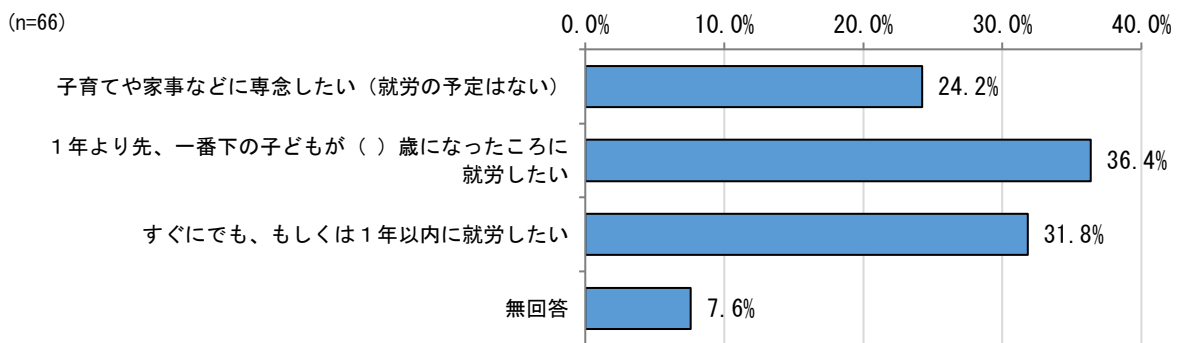


問15 【問13の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。】
就労したいという希望はありますか。

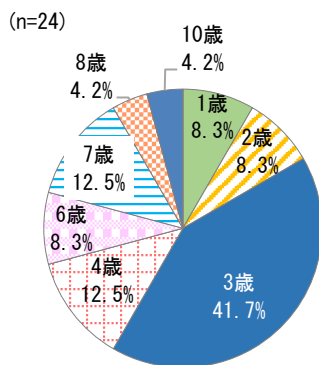
(1) 母親

就労したいという希望がある方は、合わせて68.2%を占めている。就労希望については「パートタイム、アルバイト等」が76.2%、就労日数では5日/週、就労時間では5時間/日が最も高くなっている。

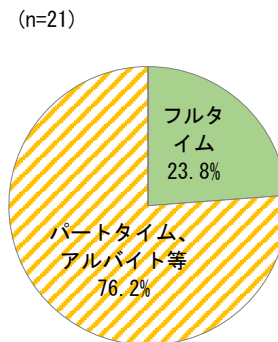
図表 4-13 就労の希望（現在、就労していない方が対象）



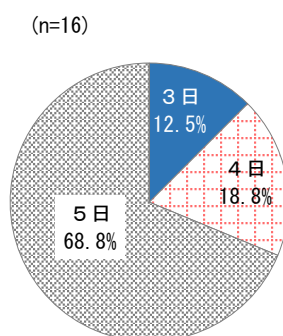
図表 4-14 子どもが何歳になったら就労したいか



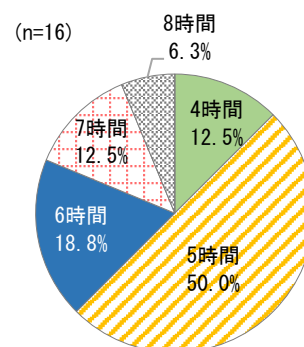
図表 4-15 就労希望



図表 4-16 日数/週



図表 4-17 時間/日

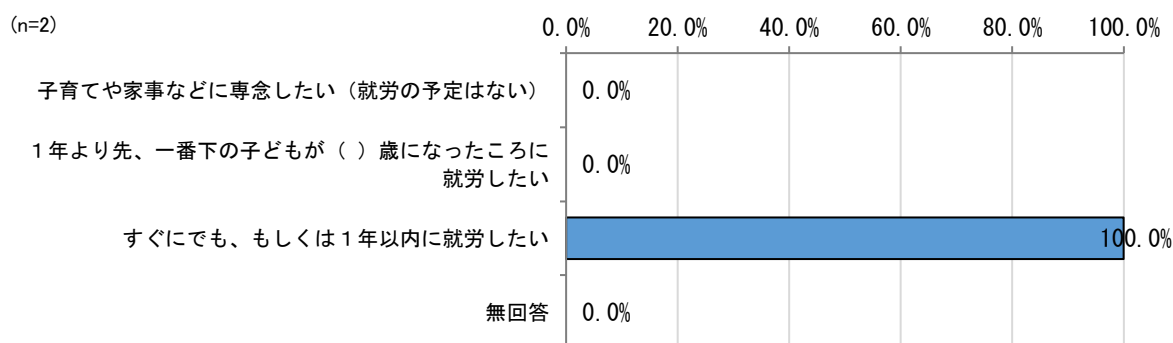


※図表 4-14～4-17 については、無回答を除いて集計を行った

(2) 父親

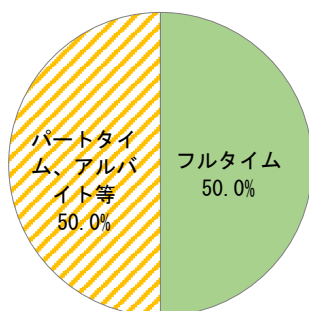
サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が100%となっている。就労希望については「フルタイム」、「パートタイム、アルバイト等」がいずれも50.0%となっている。就労日数は5日/週、6時間/日となっている。

図表 4-18 就労の希望（現在、就労していない方が対象）



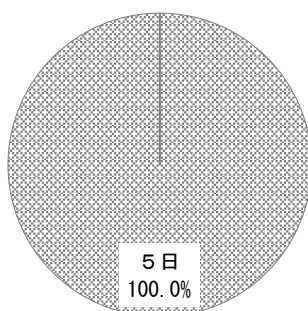
図表 4-19 就労希望

(n=2)



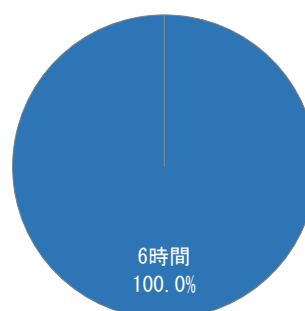
図表 4-20 日数/週

(n=1)



図表 4-21 時間/日

(n=1)



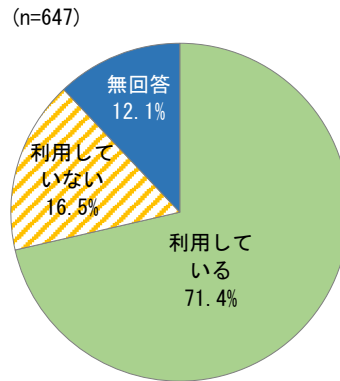
※図表 4-19～4-21 については、無回答を除いて集計を行った

5. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問16 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

「定期的な教育・保育の事業」の利用については、「利用している」71.4%、「利用していない」16.5%となっている。

図表 5-1 利用の有無

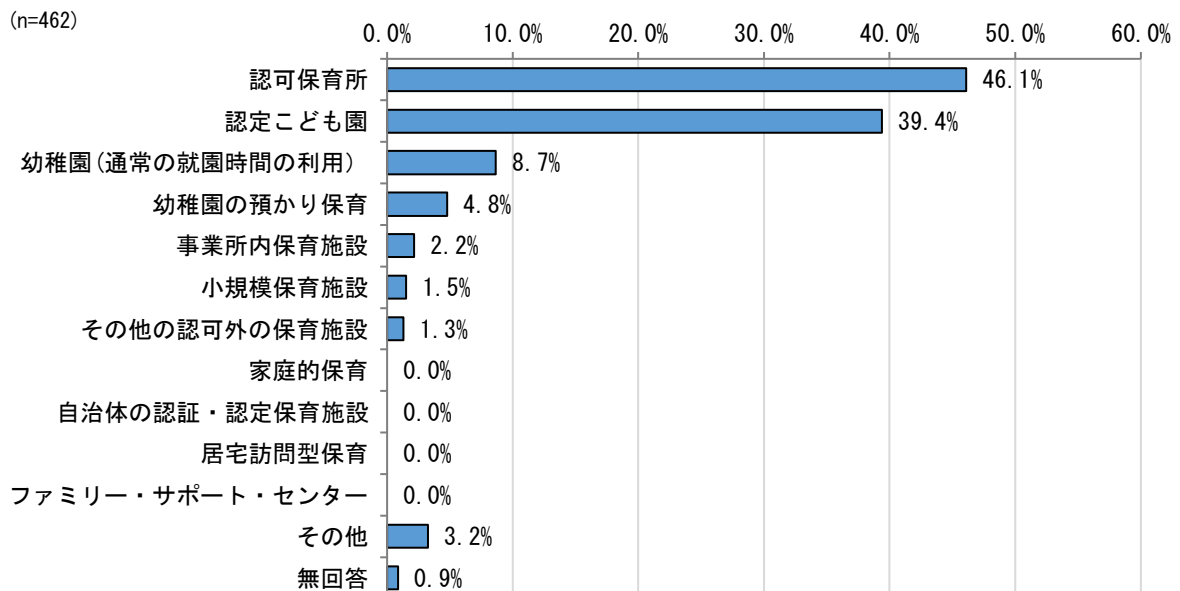


問16-1 【問16で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。】

お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(複数回答)

平日どのような教育・保育の事業を利用しているかについては、「認可保育所」46.1%が最も高く、次いで「認定こども園」39.4%となっている。その他の事業はいずれも10%未満となっている。

図表 5-2 教育・保育事業の利用状況



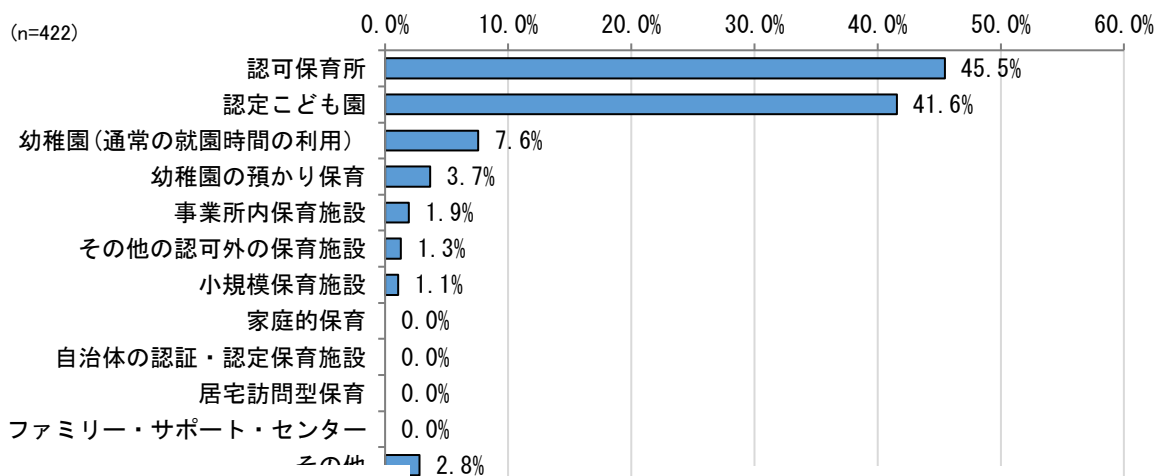
問16-2 【問16-1で選択した事業について】

現在の利用状況と利用希望について利用事業の番号と利用日数等を具体的にお答えください。

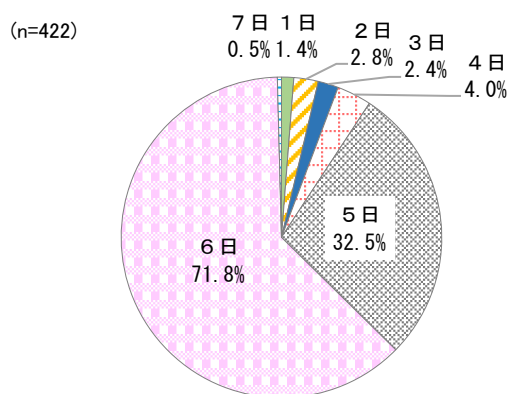
【現在】

現在の利用状況は「認可保育所」45.5%が最も高く、次いで「認定こども園」41.6%となっている。利用日数は6日/週、利用時間は9時間/日、8時から17時が最多となっている。

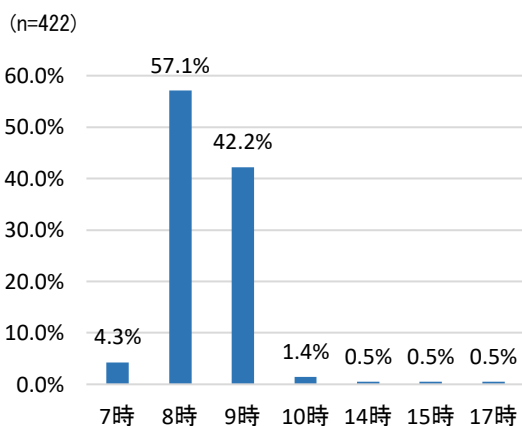
図表 5-3 教育・保育事業の現在の利用状況



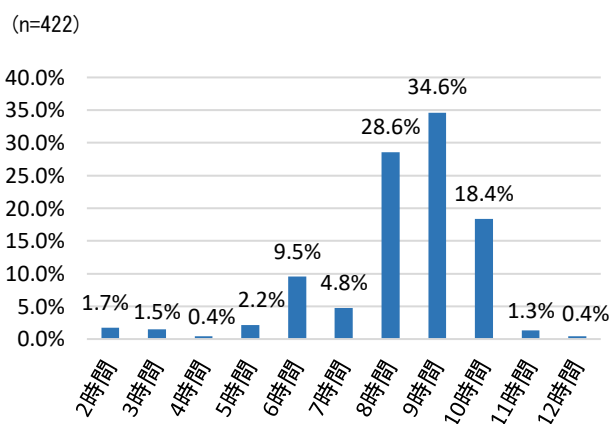
図表 5-4 利用日数/週



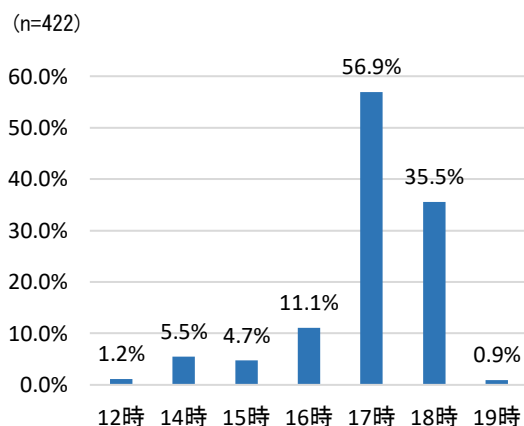
図表 5-6 時間(往)



図表 5-5 利用時間/日



図表 5-7 時間(複)

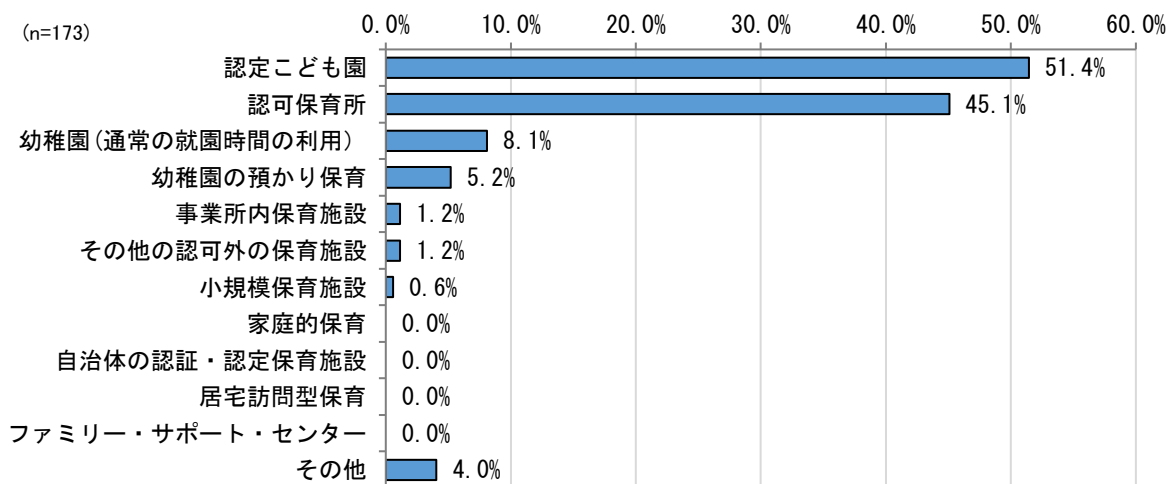


※無回答を除いて集計を行った

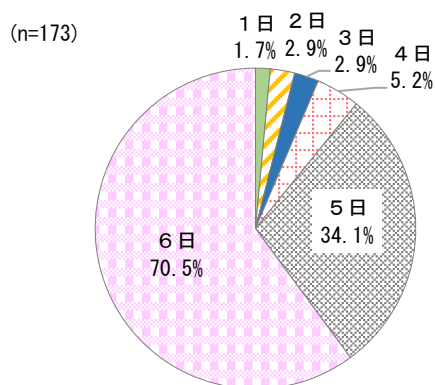
【希望】

教育・保育事業の利用希望については、「認定こども園」51.4%が最も高く、次いで「認可保育所」45.1%となっている。利用日数は6日/週、利用時間は8時間/日、8時から17時が最多となっている。

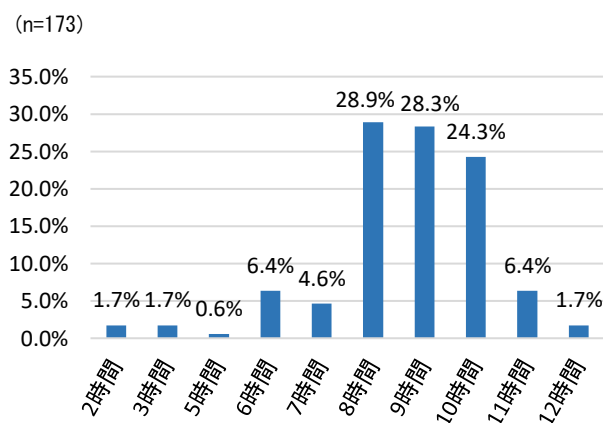
図表 5-8 教育・保育事業の利用希望



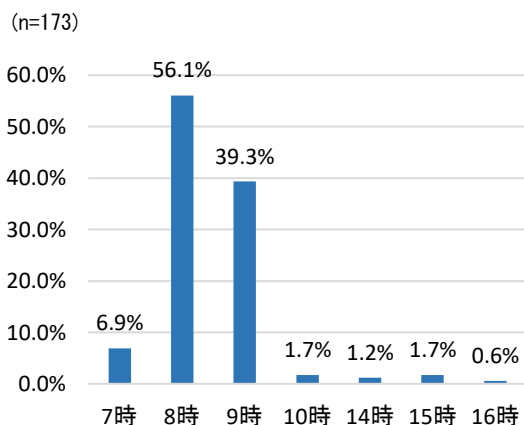
図表 5-9 利用日数/週



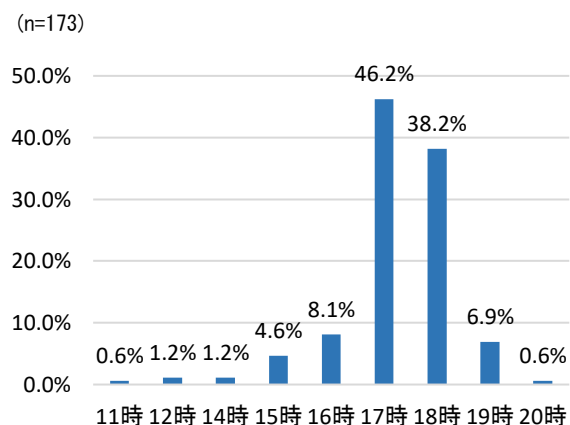
図表 5-10 利用時間/日



図表 5-11 時間(往)



図表 5-12 時間(複)



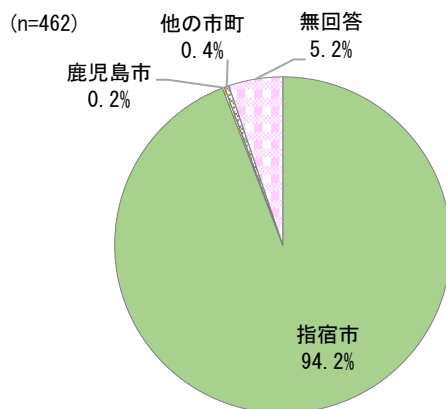
※無回答を除いて集計を行った

問16-3 【問16-1で選択した事業について】

主に利用している事業の実施場所はどこですか。

主に利用している事業の実施場所については、「指宿市」94.2%が最も高く、次いで「他の市町」0.4%、「鹿児島市」0.2%となっている。

図表 5-13 実施場所

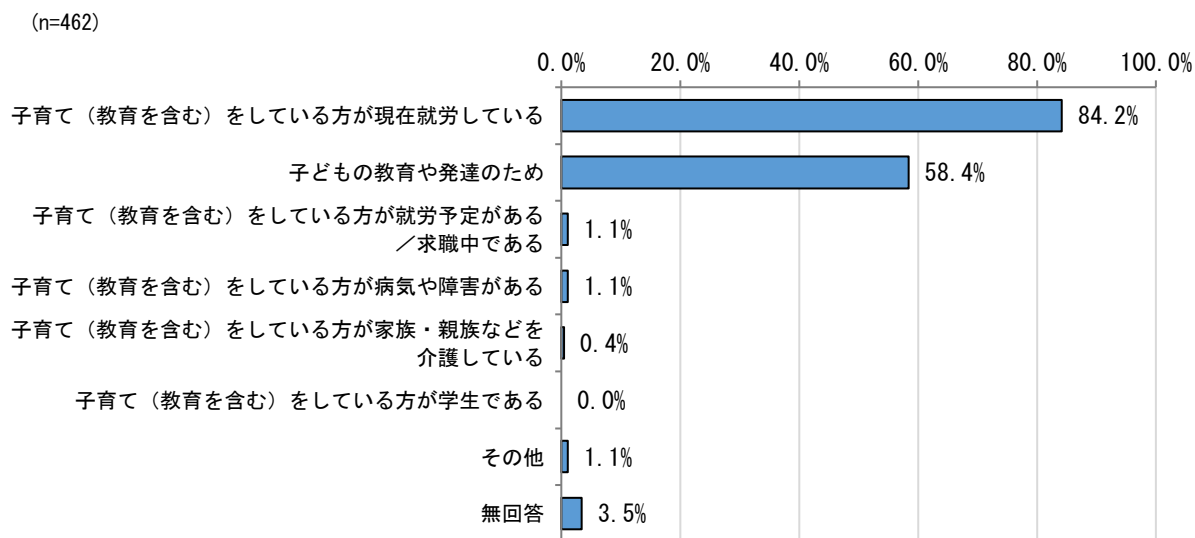


問16-4 【問16-1で選択した事業を利用されている理由についてうかがいます。】

主な理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

利用している主な理由については、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」84.2%が最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」58.4%となっている。

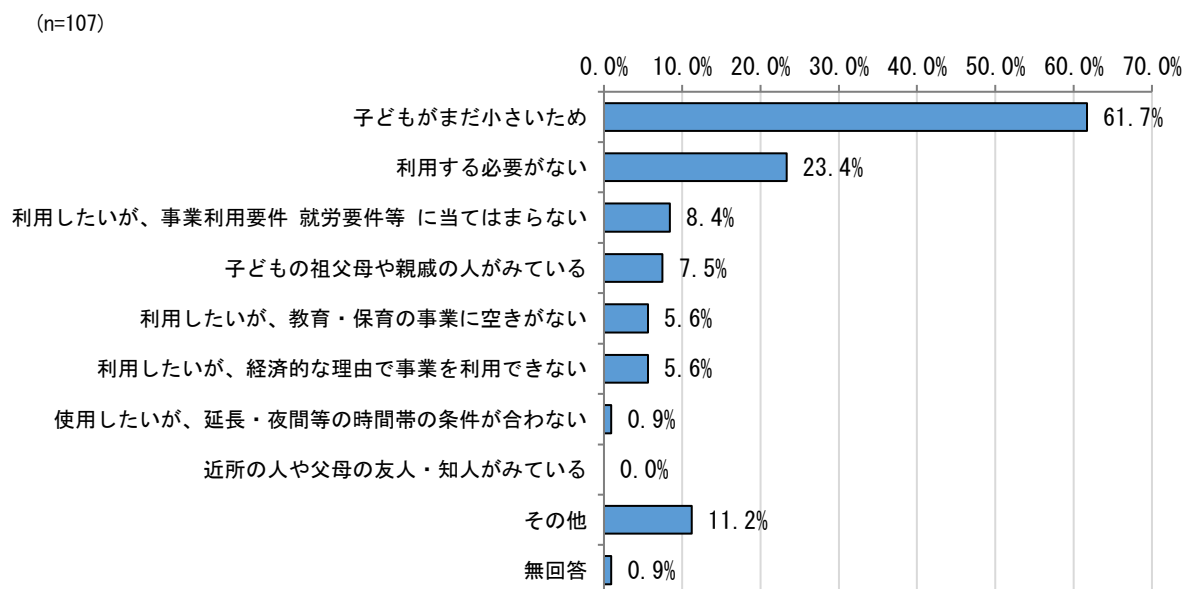
図表 5-14 事業を利用している理由



問16-5 【問16で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
利用していない理由は何ですか。(複数回答)

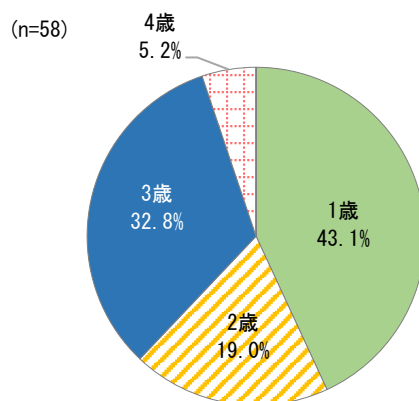
利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため」61.7%が最も高く、次いで「利用する必要がない」23.4%、「その他」11.2%となっている。

図表 5-15 事業を利用していない理由



「子どもがまだ小さいため」と回答した方に、子どもが何歳になったら利用するかをたずねたところ、「1歳」43.1%が最も高く、次いで「3歳」32.8%、「2歳」19.0%となっている。

図表 5-16 子どもが何歳になったら利用するか

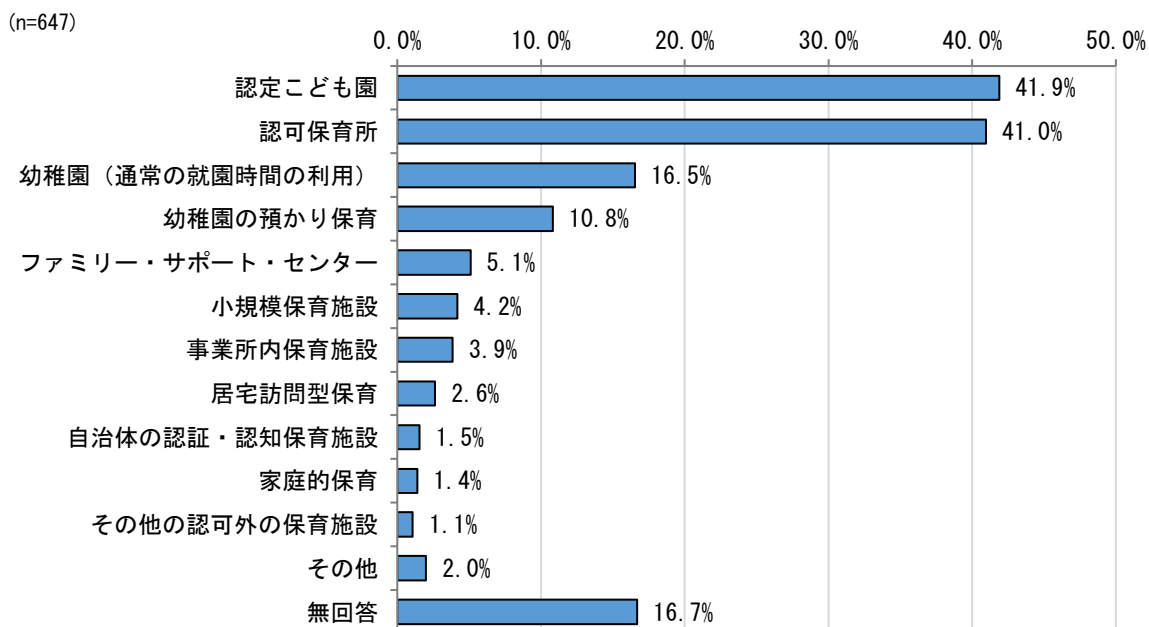


※無回答を除いて集計を行った

問 17 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、今後「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。
(複数回答)

今後「定期的に」利用したいと考える事業については、「認定こども園」41.9%が最も高く、次いで「認可保育所」41.0%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」16.5%となっている。

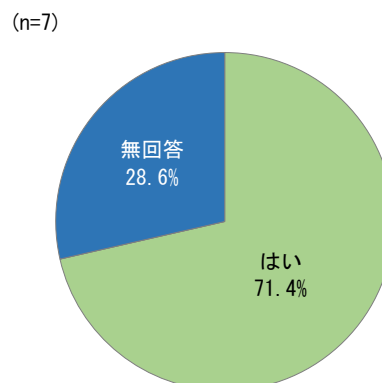
図表 5-17 「定期的に」利用したいと考える事業



問 17-1 【問16-1で「1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)」または「2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)」に○をつけ、かつ3~12にも○をつけた方にかがいます。】
特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。

「幼稚園（通常の就園時間の利用）」、「幼稚園の預かり保育」と「幼稚園」以外の事業を利用している方で、特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望すると回答した割合は71.4%となっている。

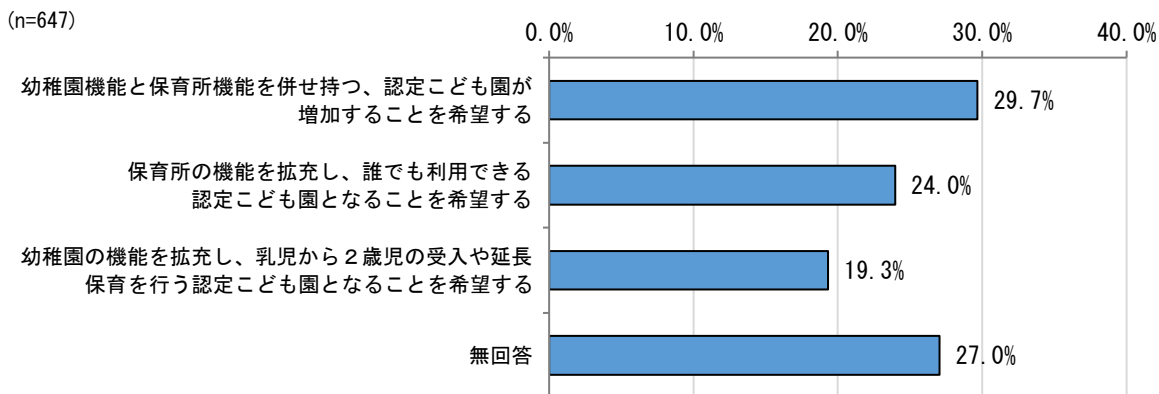
図表 5-18 幼稚園の利用を強く希望するか



問17-2 認定こども園のニーズに関する希望に当てはまるものは何ですか。

認定こども園のニーズに関する希望については、「幼稚園機能と保育所機能を併せ持つ、認定こども園が増加することを希望する」29.7%が最も高く、次いで「保育所の機能を拡充し、誰でも利用できる認定こども園となることを希望する」24.0%、「幼稚園の機能を拡充し、乳児から2歳児の受入や延長保育を行う認定こども園となることを希望する」19.3%となっている。

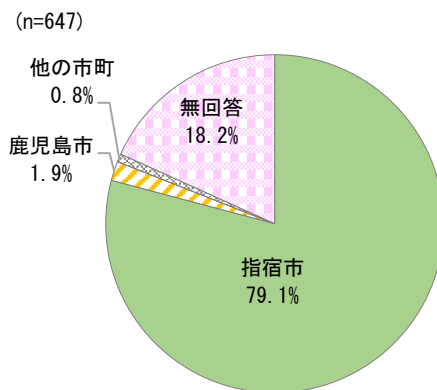
図表 5-19 認定こども園のニーズに関する希望



問17-3 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。

教育・保育事業を利用したい場所については、「指宿市」79.1%が最も高く、次いで「鹿児島市」1.9%、「他の市町」0.8%となっている。

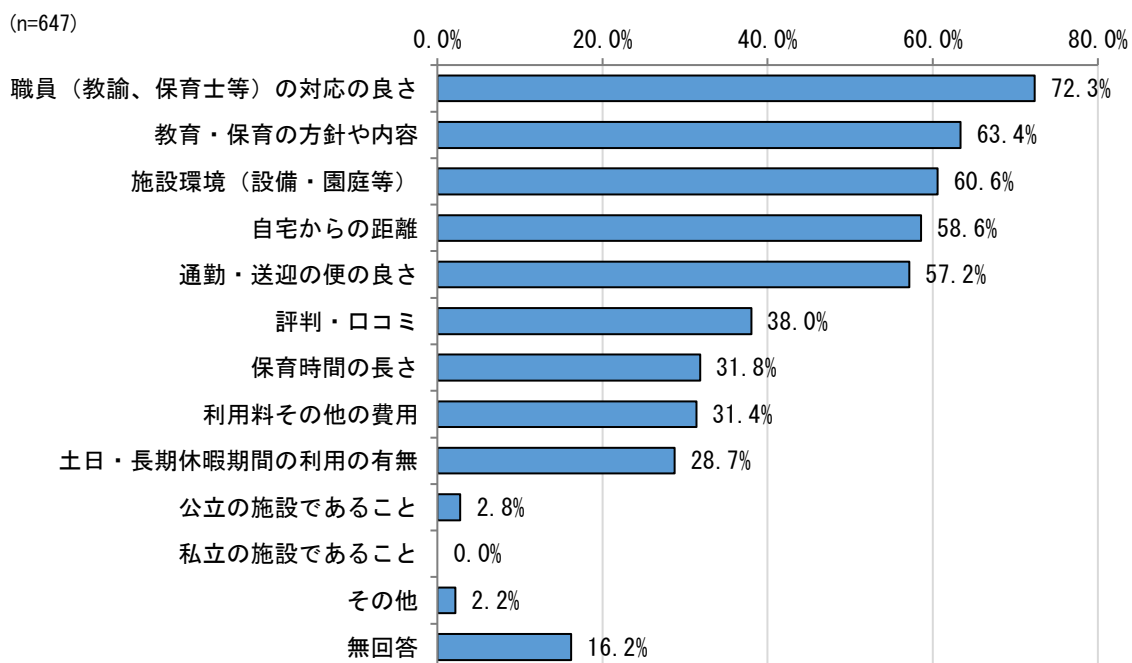
図表 5-20 利用したい場所



問17-4 お子さんが利用する施設を選ぶ際に、重視したいことは何ですか。
(複数回答)

利用施設を選ぶ際に重視したいことについては、「職員（教諭、保育士等）の対応の良さ」72.3%が最も高く、次いで「教育・保育の方針や内容」63.4%、「施設環境」60.6%となっている。

図表 5-21 利用する施設を選ぶ際に、重視したいこと



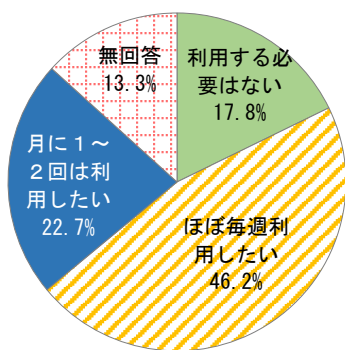
6. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問18 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。それぞれの中から該当するものに○をつけてください。(1)土曜日 (2)日曜日・祝日

定期的な教育・保育事業の利用希望について、土曜日では「ほぼ毎週利用したい」46.2%、日曜日・祝日では「利用する必要はない」63.5%が最も高い。利用したい時間帯については、土曜、日曜日・祝日ともに8時台から17時台が最多となっている。

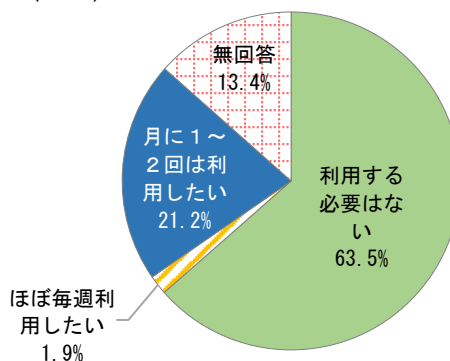
図表 6-1 事業の利用希望【土曜日】

(n=647)

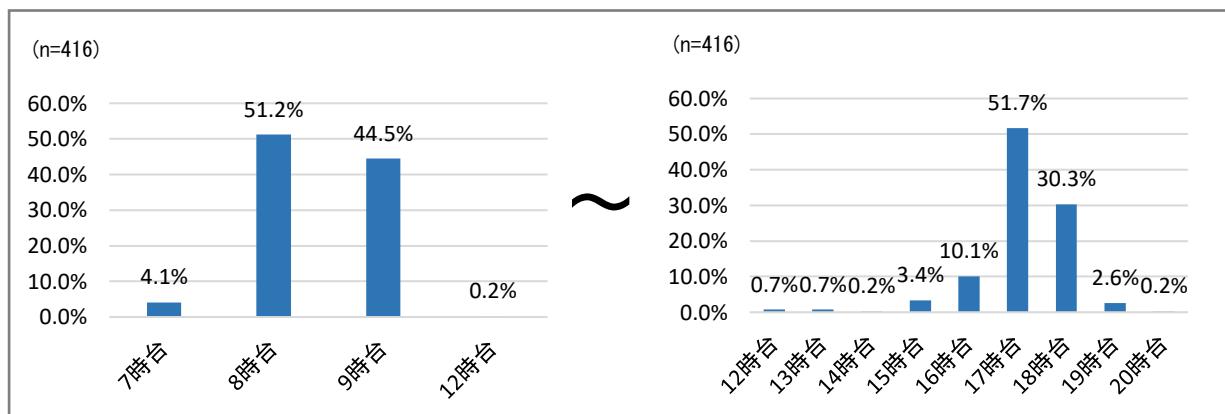


図表 6-2 事業の利用希望【日曜日・祝日】

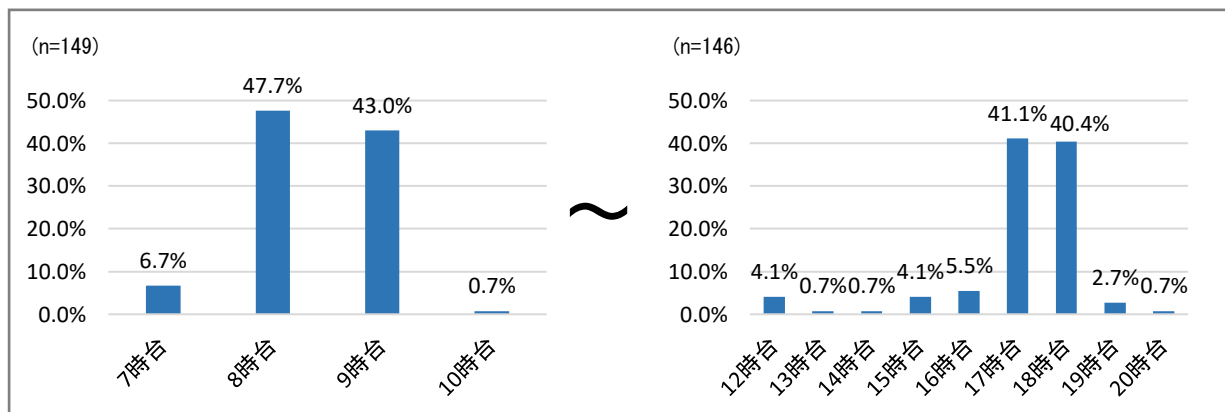
(n=647)



図表 6-3 利用したい時間帯【土曜日】



図表 6-4 利用したい時間帯【日曜日・祝日】

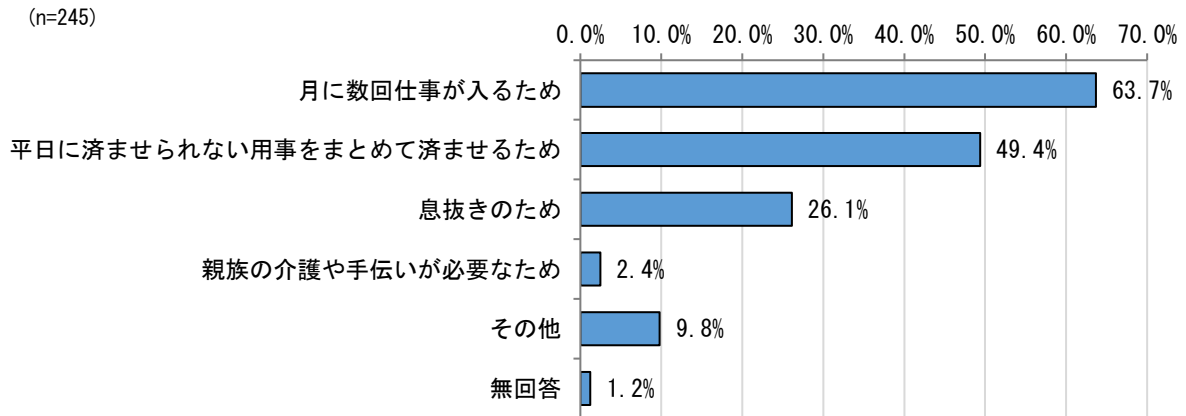


※図表 6-3、6-4 については無回答を除いて集計を行った

問18-1 【問18の(1)もしくは(2)で、「3. 月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。】毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(複数回答)

毎週ではなく、たまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」63.7%が最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」49.4%、「息抜きのため」26.1%となっている。

図表 6-5 毎週ではなく、たまに利用したい理由



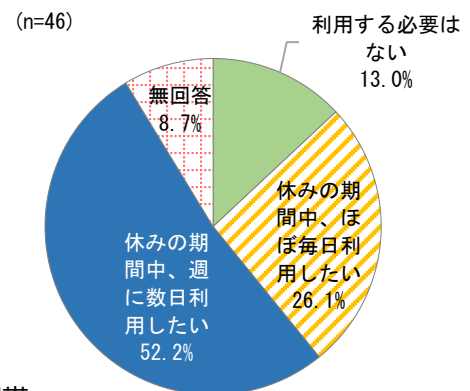
問19 【現在、幼稚園を利用している方にうかがいます。】

お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。

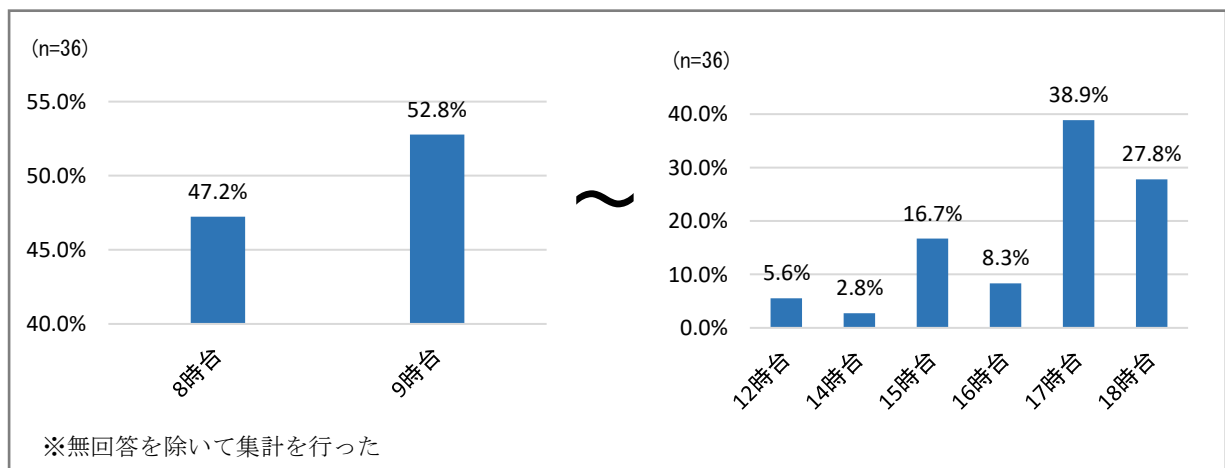
長期休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望については、「休みの期間中、週に数日利用したい」52.2%が最も高く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」26.1%、「利用する必要はない」13.0%となっている。

利用したい時間帯については、9時台から17時台が最多となっている。

図表 6-6 長期休暇中の利用希望



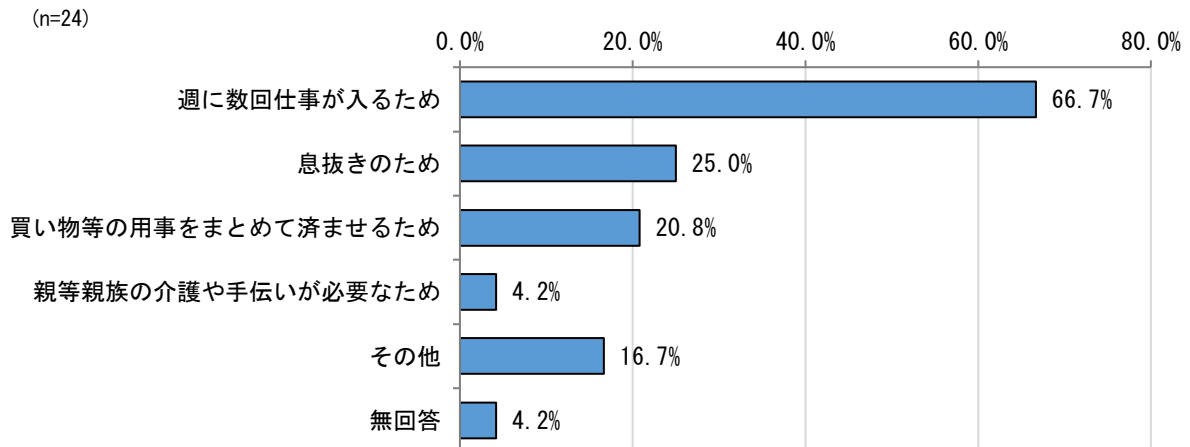
図表 6-7 利用したい時間帯



問19-1 【問19で「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にかがいます。】
毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(複数回答)

毎日ではなく、たまに利用したい理由については、「週に数回仕事が入るため」66.7%が最も高く、次いで「息抜きのため」25.0%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」20.8%となっている。

図表 6-8 たまに利用したい理由

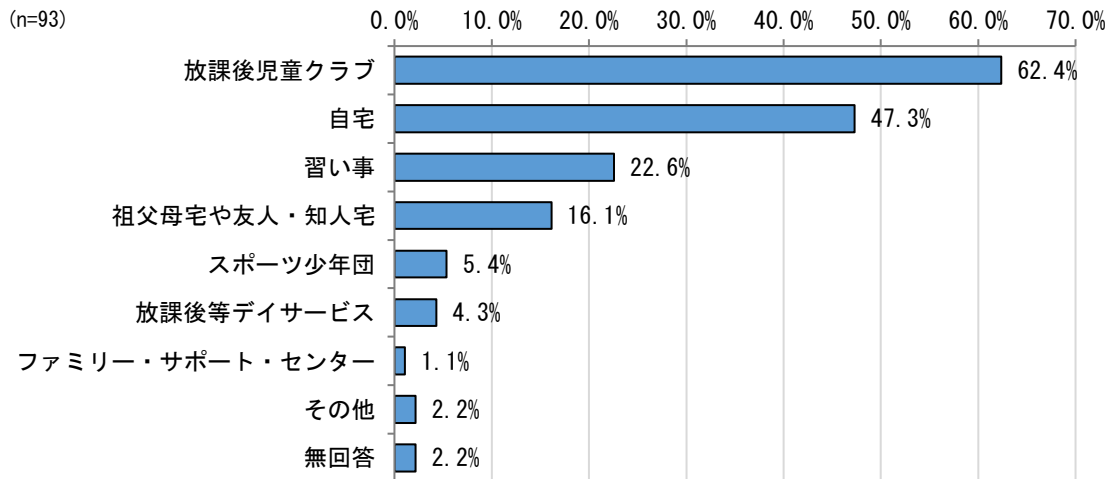


7. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

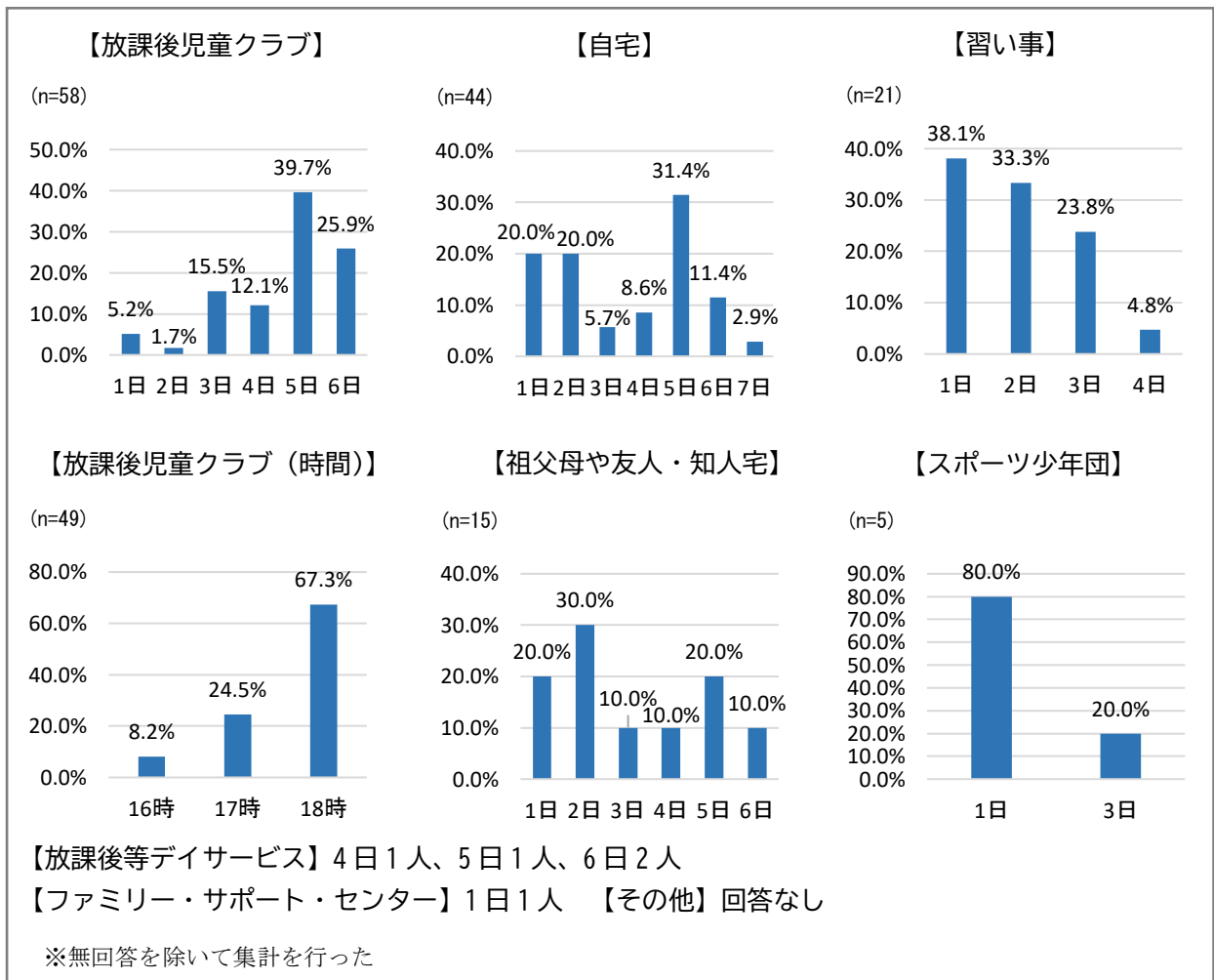
問20 お子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(複数回答)

令和6年4月に入学する子どもについて、小学校低学年のうちの放課後の過ごし方は「放課後児童クラブ」62.4%が最も高く、次いで「自宅」47.3%、「習い事」22.6%となっている。

図表 7-1 小学校就学後の放課後の過ごし方



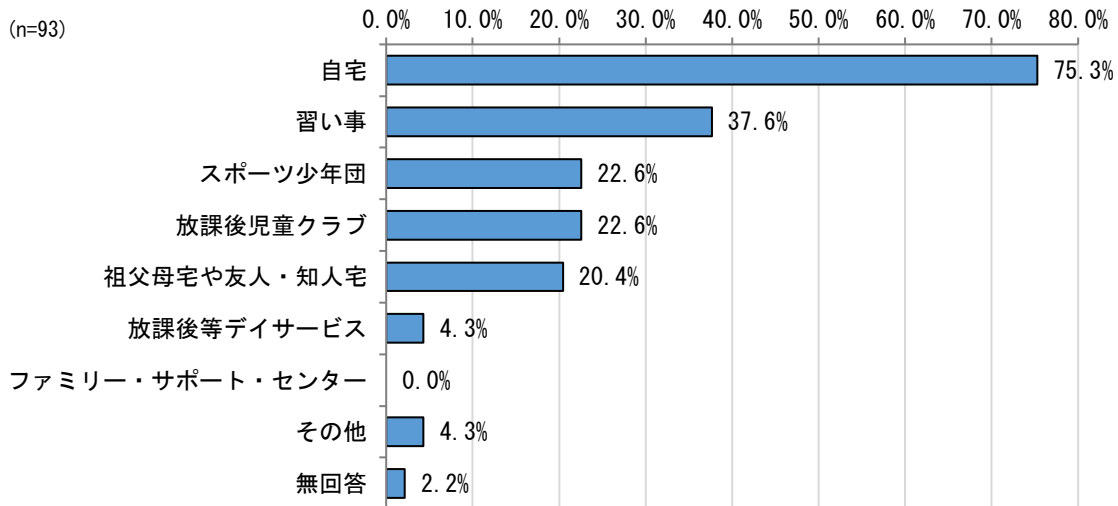
図表 7-2 希望する週当たり日数及び時間



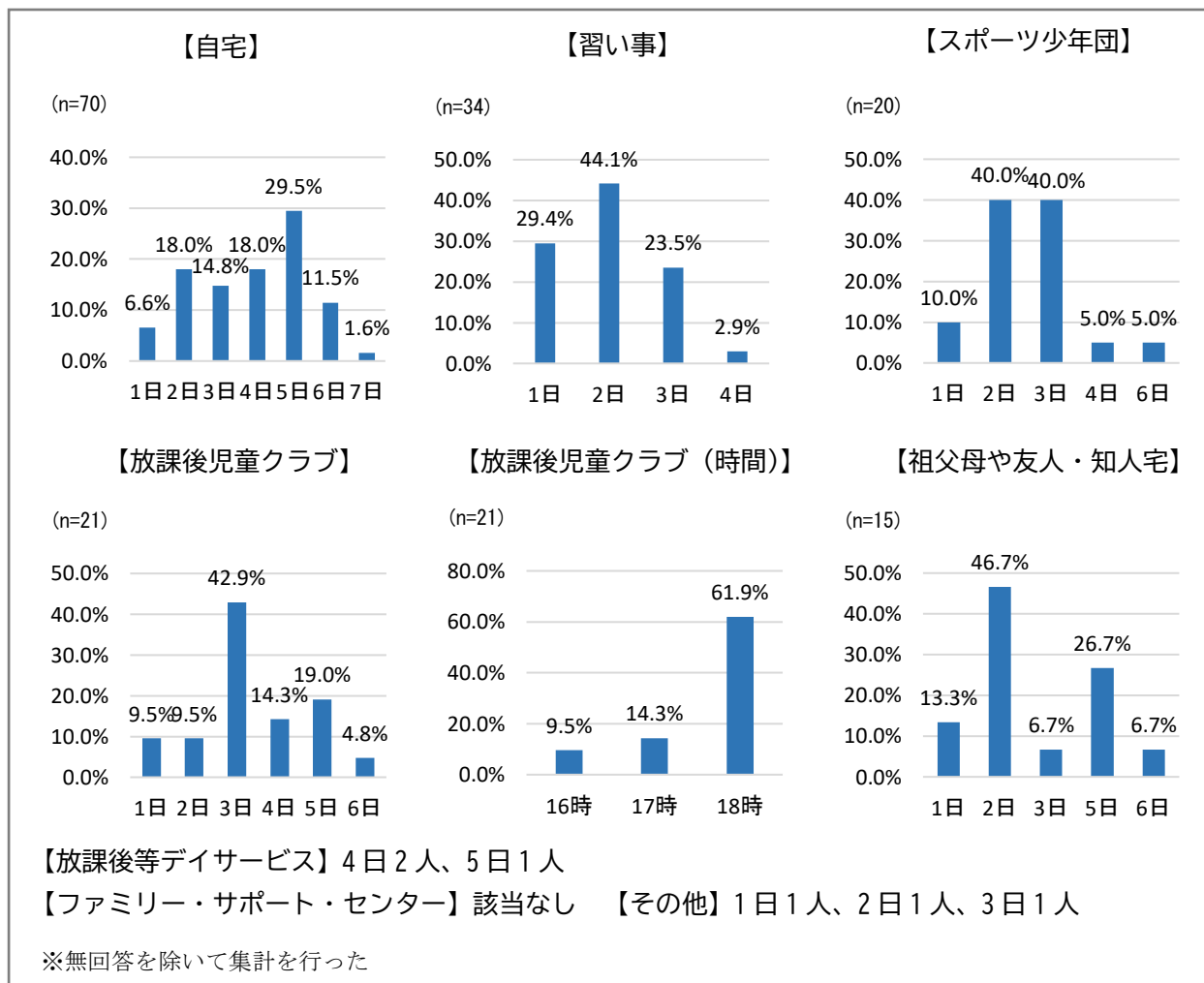
問21 お子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(複数回答)

令和6年4月に入学する子どもについて、小学校高学年になった際の放課後の過ごし方は「自宅」75.3%が最も高く、次いで「習い事」37.6%、「スポーツ少年団」、「放課後児童クラブ」がいずれも22.6%となっている。

図表 7-3 小学校高学年になった時の放課後の過ごし方



図表 7-4 希望する週あたり日数及び時間

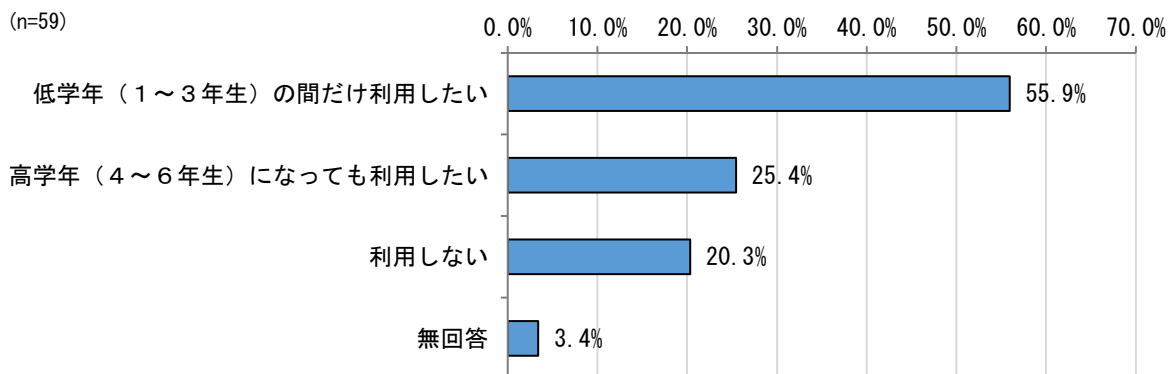


問22 【問20または問21で「5. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。】お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(複数回答)

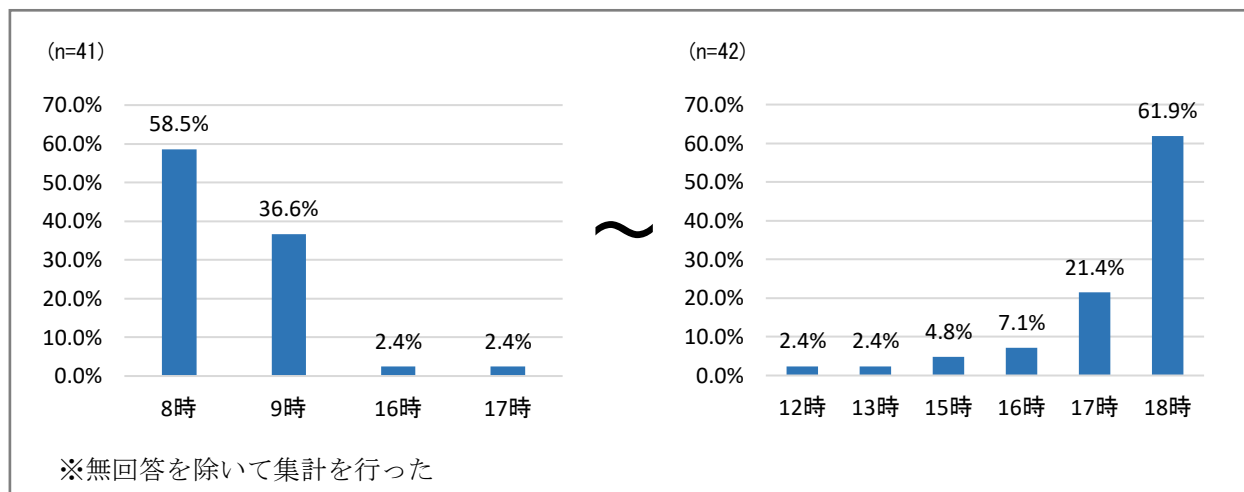
(1) 土曜日

土曜日における、「放課後児童クラブ(学童保育)」の利用意向については、「低学年(1～3年生)の間だけ利用したい」55.9%が最も高く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」25.4%、「利用しない」20.3%となっている。利用したい時間帯は8時台から18時台が最多となっている。

図表 7-5 「放課後児童クラブ」の利用希望



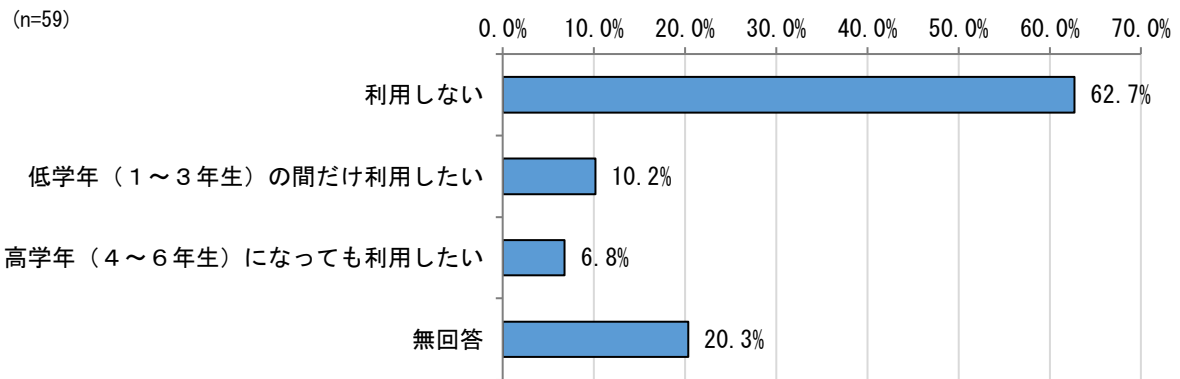
図表 7-6 利用したい時間帯【土曜日】



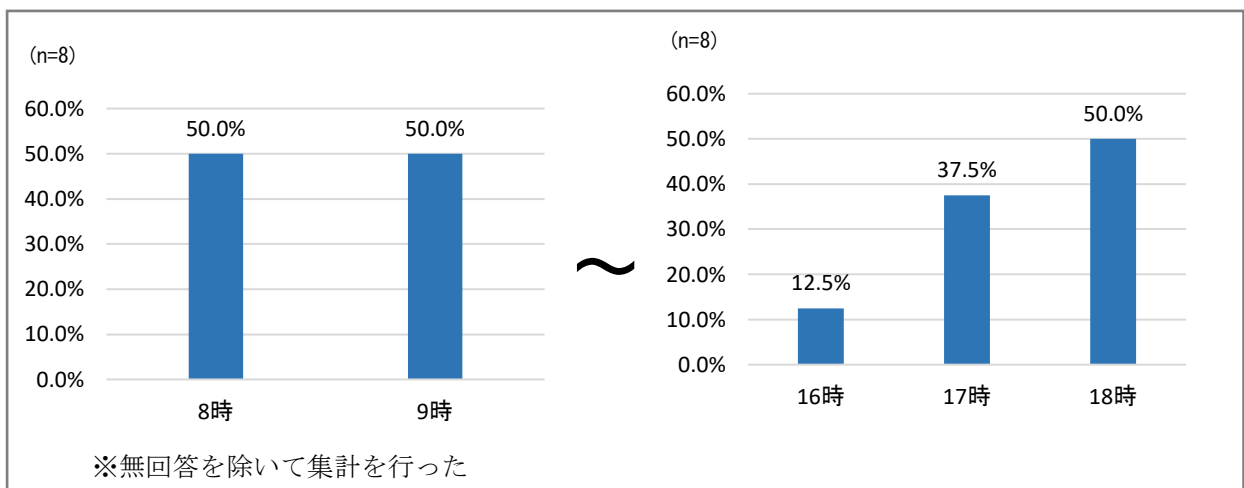
(2) 日曜日・祝日

日曜日・祝日における、「放課後児童クラブ(学童保育)」の利用意向については、「利用しない」62.7%が最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間だけ利用したい」10.2%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」6.8%となっている。利用したい時間帯についてはサンプル数が少ないことに留意する必要があるが、8時または9時(同数)から18時が最多となっている。

図表 7-7 「放課後児童クラブ」の利用希望【日曜日・祝日】



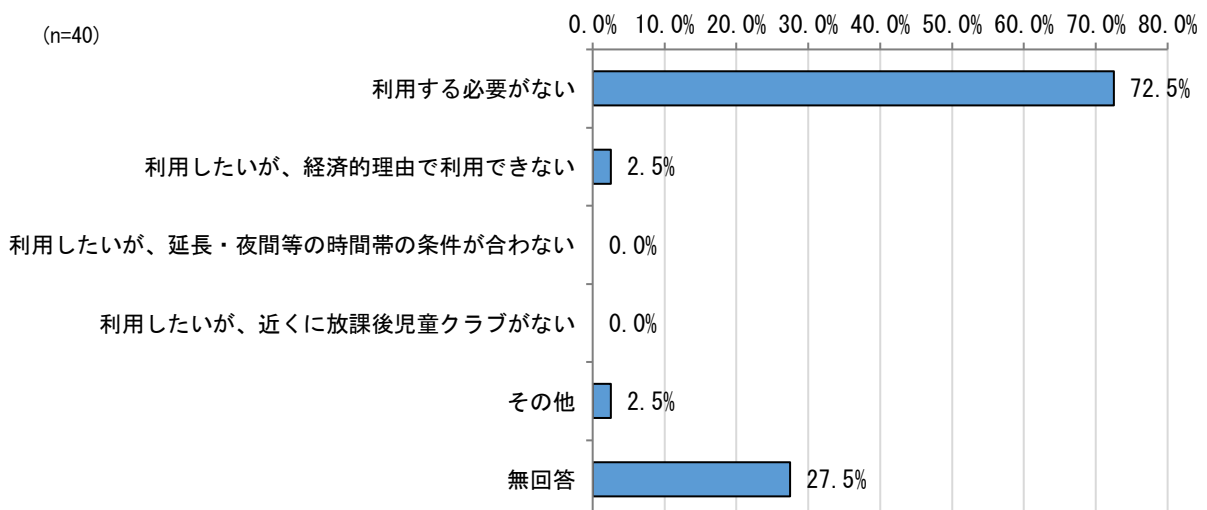
図表 7-8 利用したい時間帯【日曜日・祝日】



問22-1 【問22で「3. 利用しない」に○をつけた方にうかがいます。
理由は何ですか。(複数回答)

放課後児童クラブを土曜日、日曜日・祝日に利用しない理由については、「利用する必要がない」72.5%が最も高く、次いで「利用したいが、経済的理由で利用できない」、「その他」がいずれも2.5%となっている。

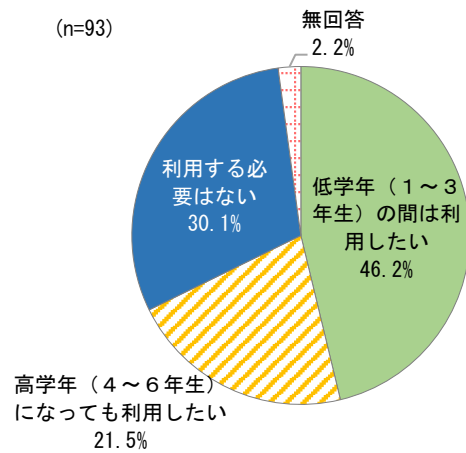
図表 7-9 「放課後児童クラブ」を土曜日、日曜日・祝日に利用しない理由



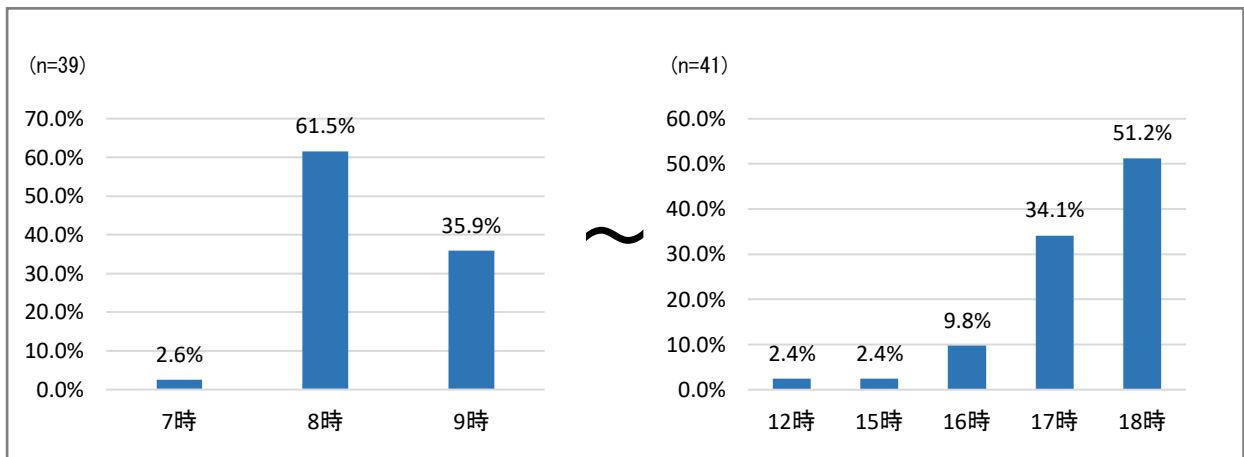
問23 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇期間中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用意向については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」46.2%が最も高く、次いで「利用する必要はない」30.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」21.5%となっている。

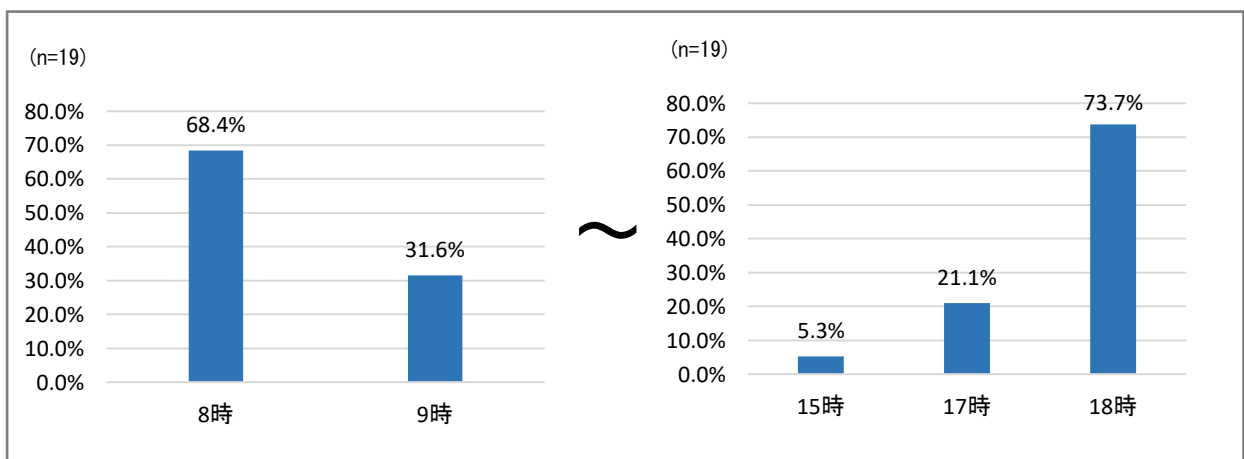
図表 7-10 放課後児童クラブの利用希望の有無（長期休暇中）



図表 7-11 利用したい時間帯【低学年】



図表 7-12 利用したい時間帯【高学年】



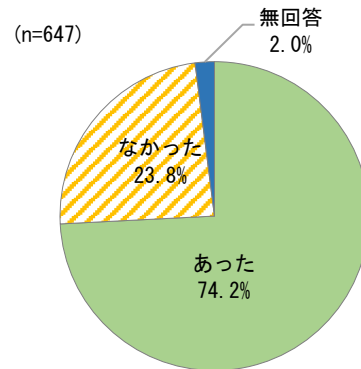
※図表 7-11、7-12 については無回答を除いて集計を行った

8. お子さんの病気の際の対応について

問28 この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園・保育園・小学校等に登園・登校等ができなかったことはありますか。

病気やケガで登園・登校等ができなかったことがあるかについては、「あった」74.2%、「なかった」23.8%となっている。

図表 8-1 病気等で登園等ができなかったことの有無

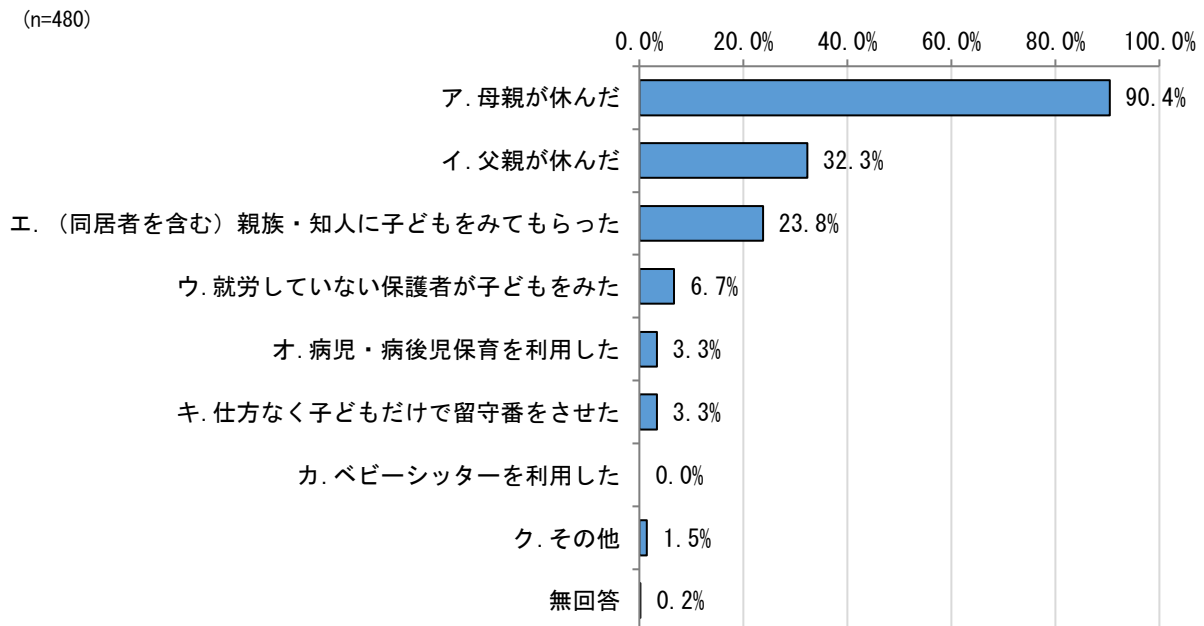


問28-1 【問28で「1. あった」に○をつけた方にかがいます。】

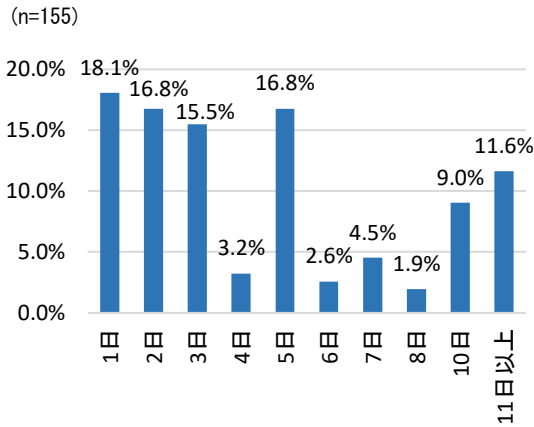
この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(複数回答)

この1年間に行った対処方法については、「母親が休んだ」90.4%が最も高く、次いで「父親が休んだ」32.3%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」23.8%となっている。

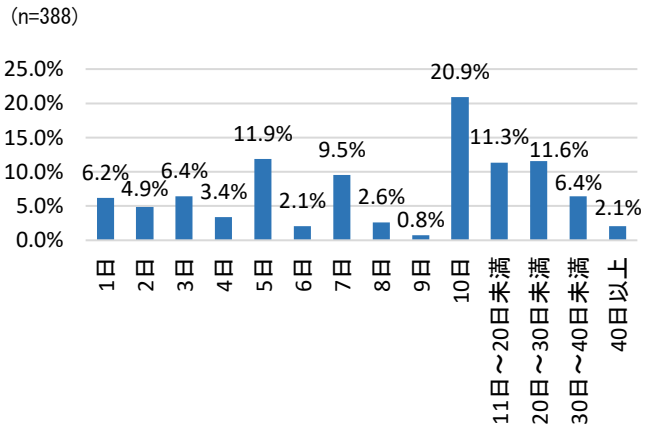
図表 8-2 この1年間に行った対処法



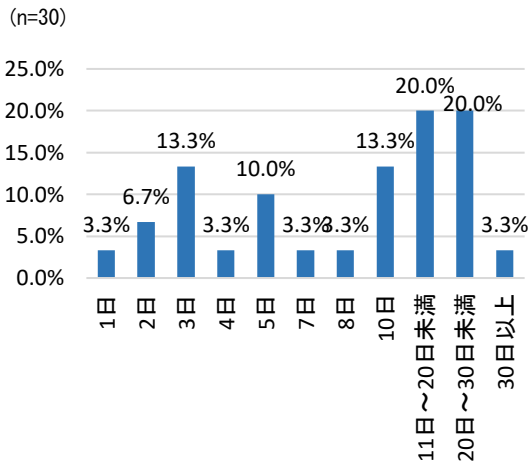
図表 8-3 ア。「父親が休んだ」日数/年



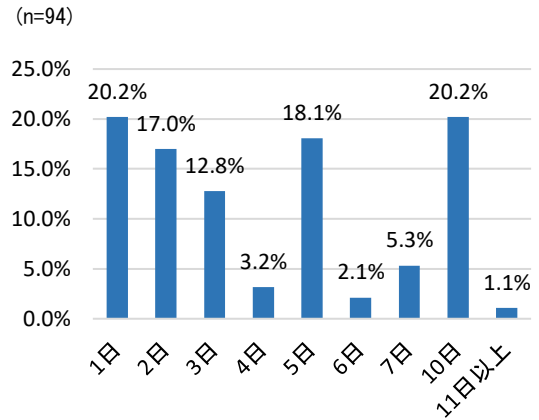
図表 8-4 イ。「母親が休んだ」日数/年



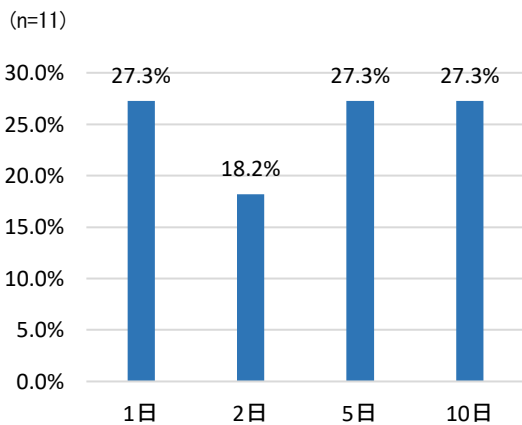
図表 8-5 ウ。「就労していない保護者が子どもをみた」日数/年



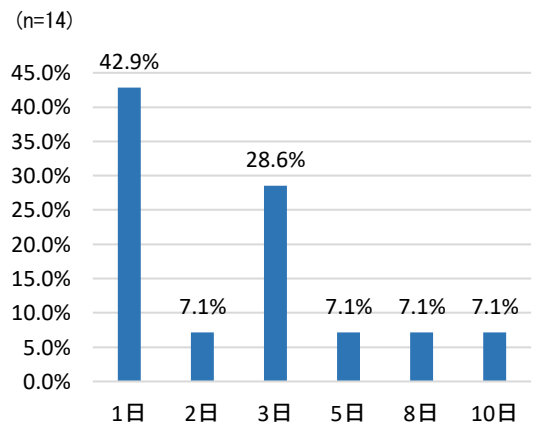
図表 8-6 エ。「親族・知人に子どもをみてもらった」日数/年



図表 8-7 オ。「病児・病後児保育を利用した」日数/年



図表 8-8 キ。「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」日数/年



【カ. ベビーシッターを利用した】該当なし

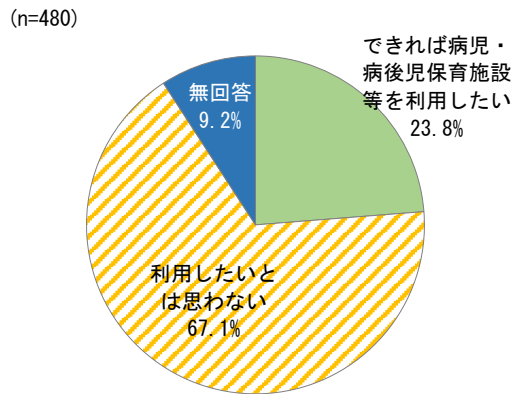
【ク. その他 (n=5)】5日 (20.0%)、7日 (20.0%)、10日 (20.0%)、11日～20日未満 (20.0%)、20日以上 (20.0%)

※無回答を除いて集計を行った

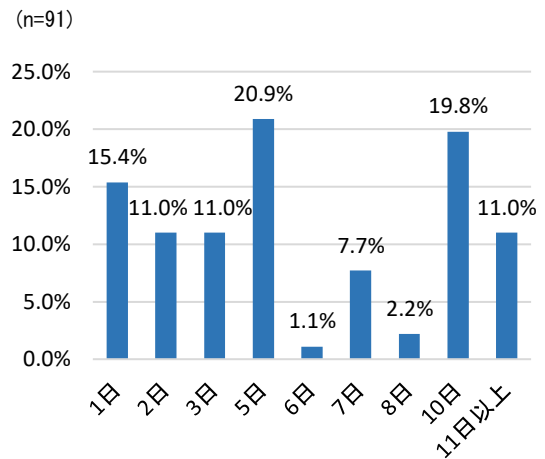
問28-2 【問28-1で「ア.」「イ.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。】
 その際、「できれば病児・病後児保育を利用したい」と思われましたか。
 また、施設を利用したいと思った日数も()内に数字でご記入ください。

病児・病後児保育の利用意向については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」23.8%、「利用したいとは思わない」67.1%となっている。利用日数については「5日」20.9%が最も高くなっている。

図表 8-10 病児・病後児保育の利用意向



図表 8-11 病児・病後児保育の利用日数

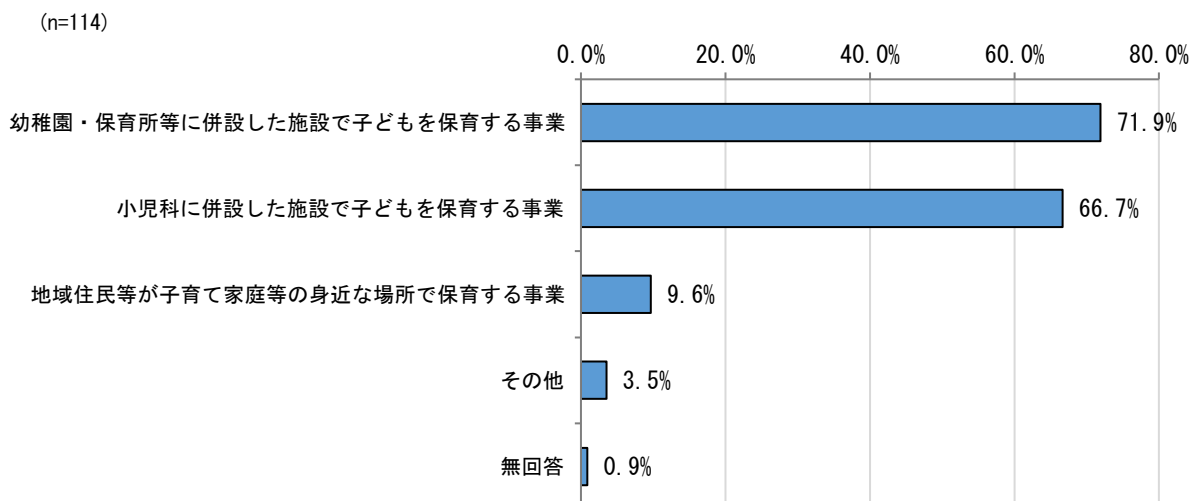


※無回答を除いて集計を行った

問28-3 【問28-2で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。】上記の目的で子どもを預ける場合、いずれの事業形態が望ましいと思われ
 ますか。(複数回答)

病児・病後児保育施設を利用する際、望ましいと思われる事業形態については、「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」71.9%が最も高く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」66.7%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」9.6%となっている。

図表 8-12 病児・病後児保育施設等の事業形態

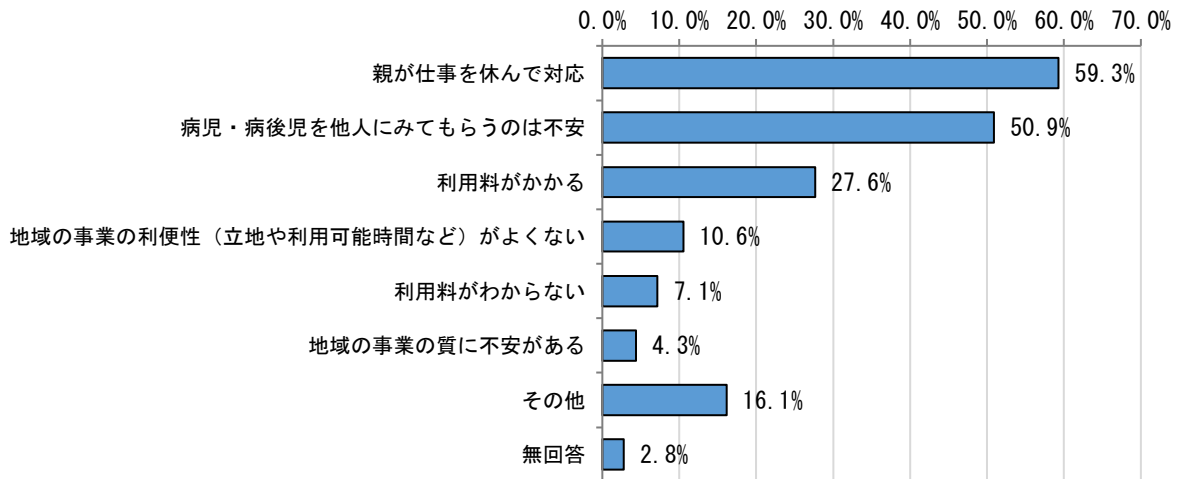


問28-4 【問28-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか。(複数回答)

病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由については、「親が仕事を休んで対応」59.3%が最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」50.9%、「利用料がかかる」27.6%となっている。

図表 8-13 「利用したいと思わない」理由

(n=322)

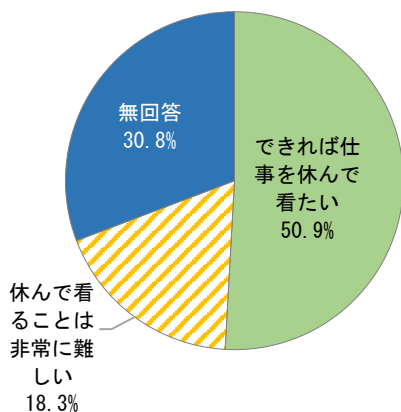


問28-5 【問28-1で「ウ。」～「ク。」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たい」と思われましたか。当てはまるもの1つに○をつけ、「ウ。」～「ク。」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても()内に数字で記入してください。

父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たいと思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」50.9%、「休んで看ることは非常に難しい」18.3%となっている。休んで看たい日数については、「3日」22.9%が最も高くなっている。

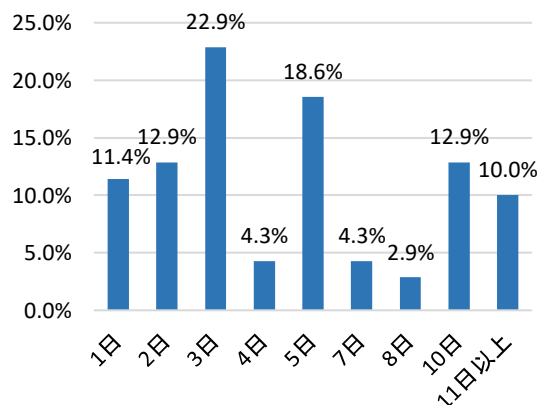
図表 8-14 「仕事を休んで看たい」の意向

(n=169)



図表 8-15 「仕事を休んで看たい」日数

(n=70)



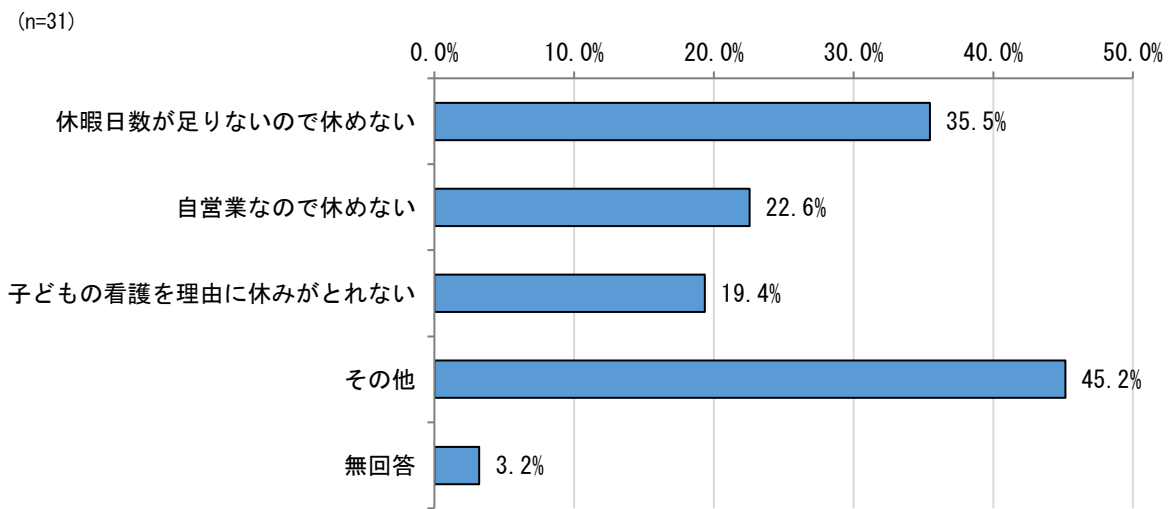
※無回答を除いて集計を行った

問28-6 【問28-5で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由は何ですか。(複数回答)

休んで見ることは非常に難しいと思う理由については、「その他」45.2%が最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」35.5%、「自営業なので休めない」22.6%となっている。

「その他」の主な理由としては、仕事が多忙であることや、職場の人員不足、また、欠勤により収入減などの理由があげられた。

図表 8-16 「休んで見ることは非常に難しい」方の理由

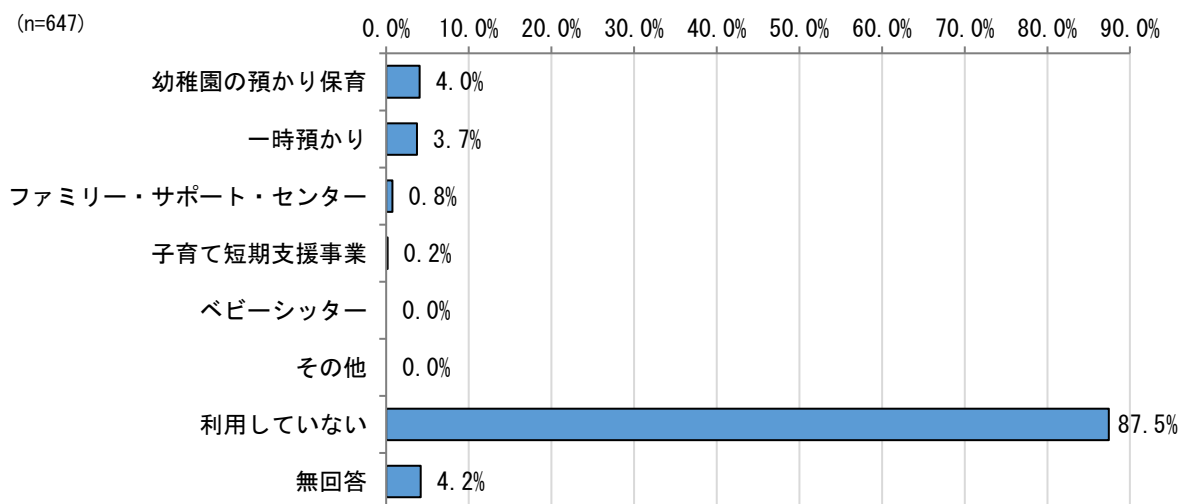


9. お子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

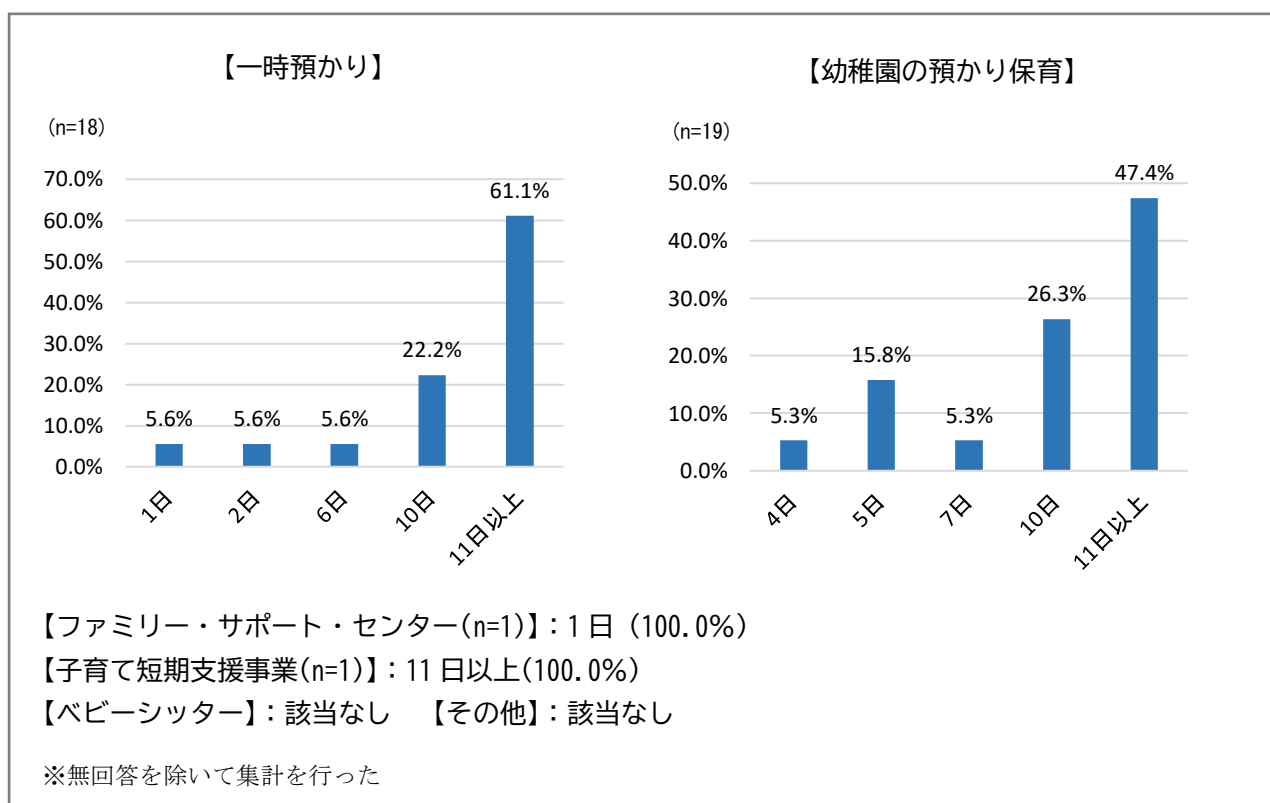
問29 お子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまるものすべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も()内に数字でご記入ください。

私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業については、「利用していない」87.5%が最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」4.0%、「一時預かり」3.7%となっている。利用日数については、「一時預かり」、「幼稚園の預かり保育」ではいずれも「11日以上」の利用が4割以上を占め、最も高くなっている。

図表 9-1 不定期的に利用している事業及び利用の有無



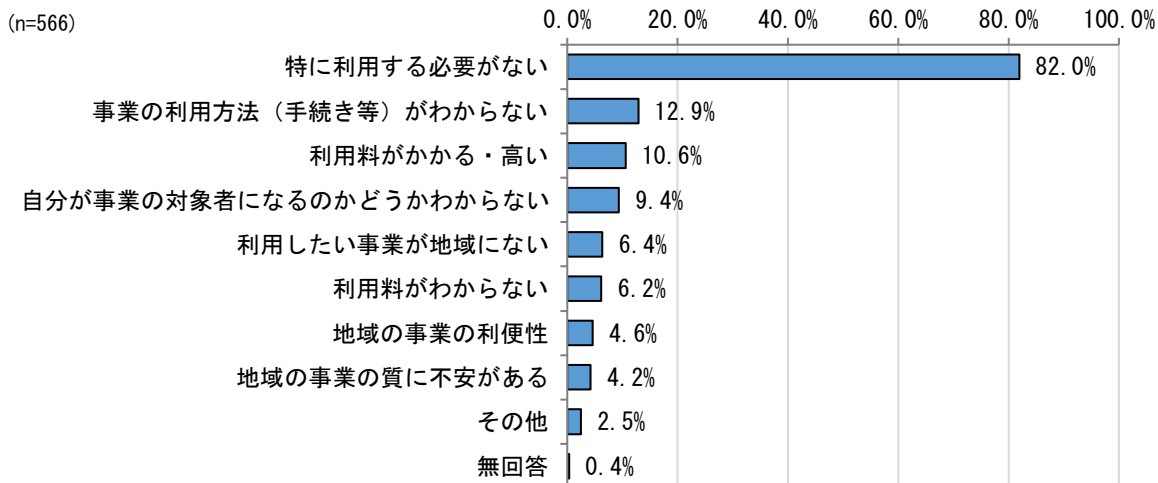
図表 9-2 不定期的に利用している事業の利用日数



問29-1 【問29で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
現在利用していない理由は何ですか。(複数回答)

現在利用していない理由については、「特に利用する必要がない」82.0%が最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」12.9%、「利用料がかかる・高い」10.6%となっている。

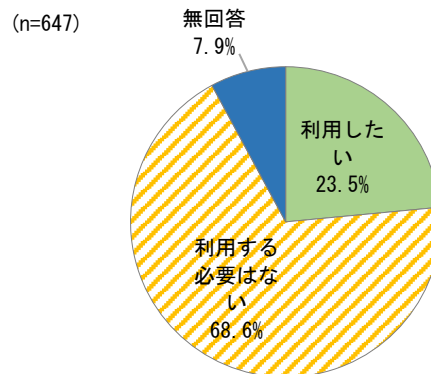
図表 9-3 現在、事業を「利用していない」理由



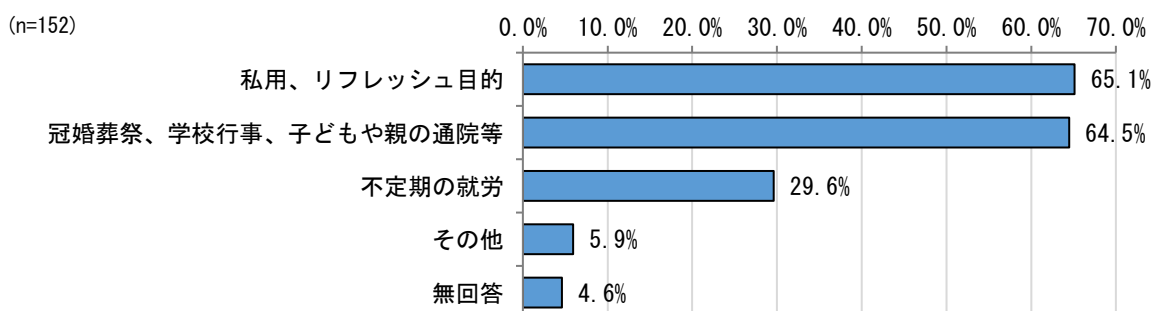
問30 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問29のような事業を利用する必要があると思いますか。当てはまるものに○をつけ、「1. 利用したい」に○をつけた方は、必要な日数を()内に数字でお答えください。

不定期に教育・保育事業の利用意向があるかについては、「利用したい」23.5%、「利用する必要はない」68.6%となっている。利用理由としては、「私用、リフレッシュ目的」65.1%が最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」64.5%、「不定期の就労」29.6%となっている。利用日数の合計については、全体の53.4%が「11日以上」と回答している。(図表 9-6)

図表 9-4 事業の利用意向

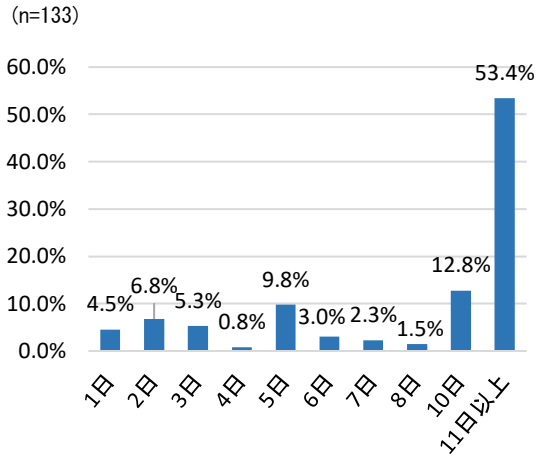


図表 9-5 事業の利用理由の内訳

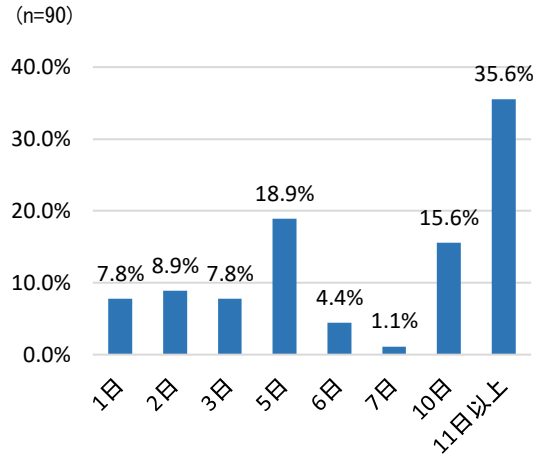


図表 9-6 事業を「利用したい」場合の必要な利用日数

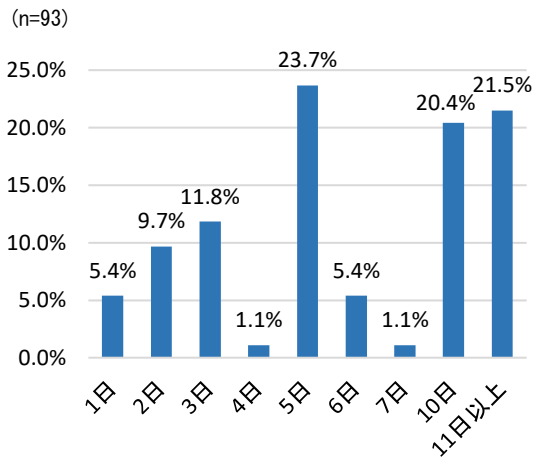
【合計日数】



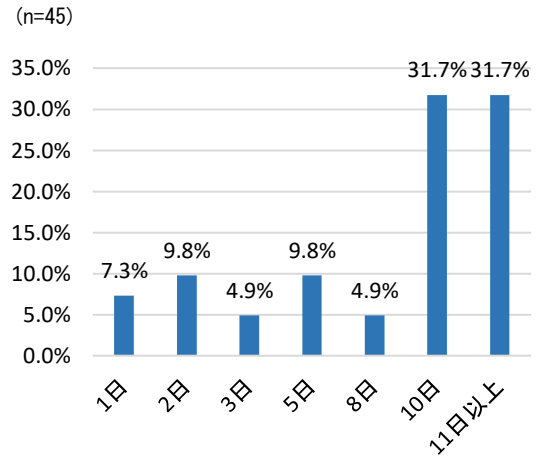
【私用、リフレッシュ】



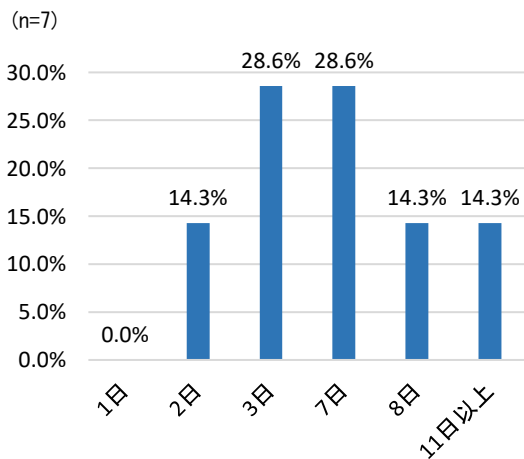
【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院】



【不定期の就労】



【その他】



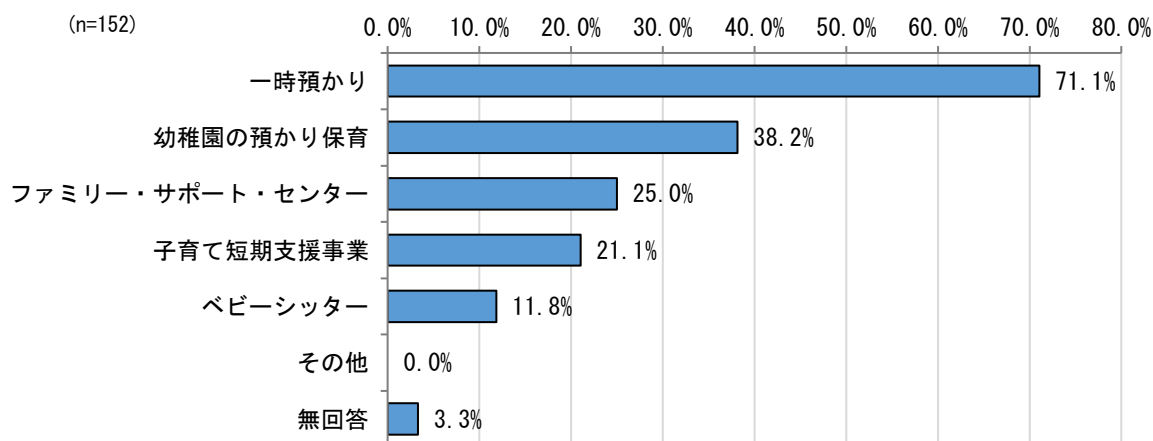
※無回答を除いて集計を行った

問30-1 【問30で「1.利用したい」に○をつけた方にうかがいます。】

問30の目的でお子さんを預ける場合、いずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(複数回答)

子どもを預ける場合、望ましいと思う事業形態については「一時預かり」71.1%が最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」38.2%、「ファミリー・サポート・センター」25.0%となっている。

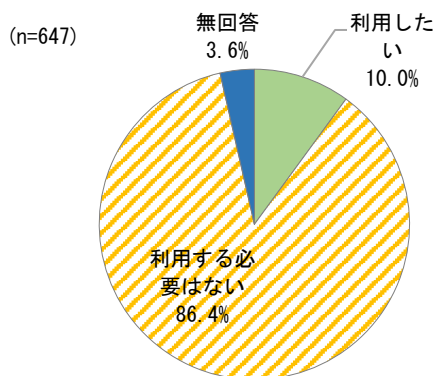
図表 9-7 子どもを預ける際、望ましい事業形態



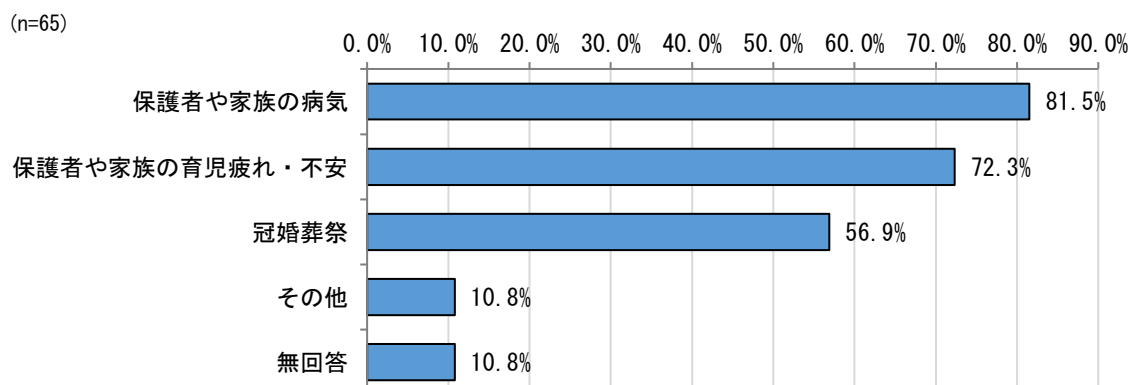
問31 お子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。

利用意向については、「利用したい」10.0%、「利用する必要はない」86.4%となっている。利用理由としては、「保護者や家族の病気」81.5%が最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」72.3%、「冠婚葬祭」56.9%となっている。利用日数の合計については、「11日以上」が33.9%を占めている。(図表 9-10)

図表 9-8 泊りがけで家族以外に預ける必要の有無

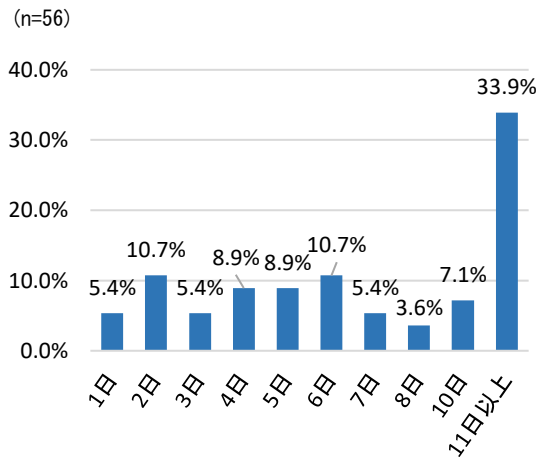


図表 9-9 事業の利用理由

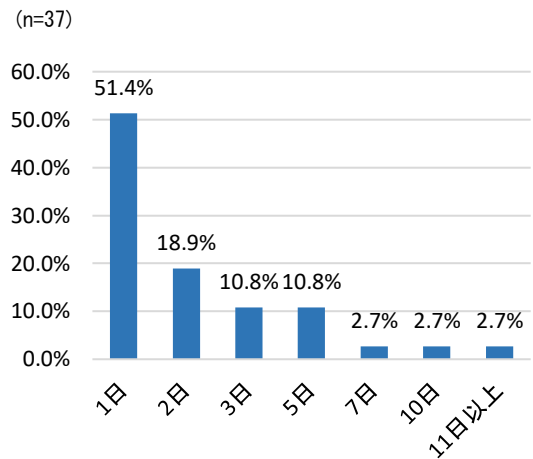


図表 9-10 必要日数

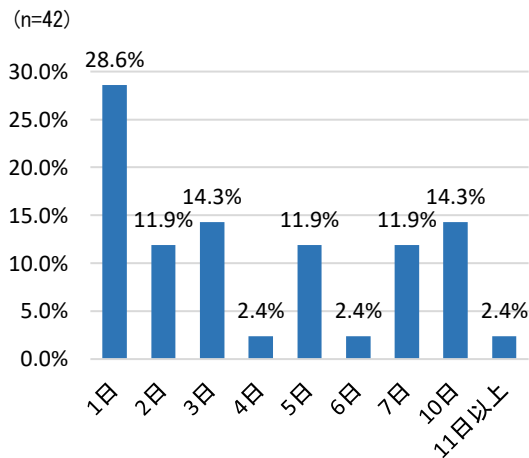
【合計日数】



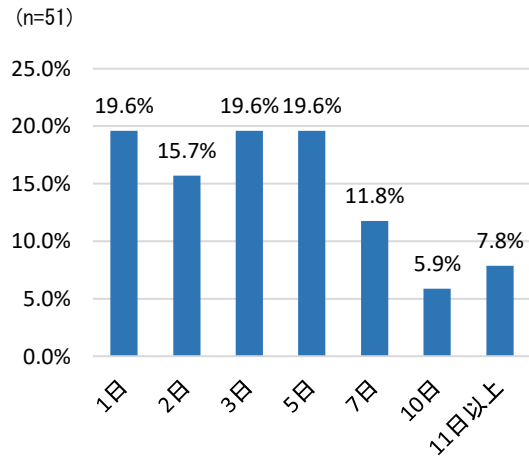
【冠婚葬祭】



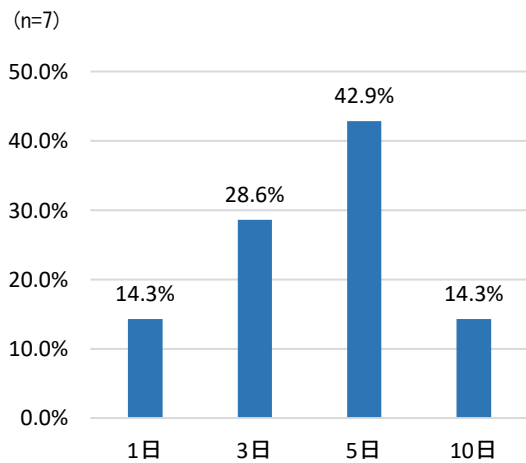
【保護者や家族の育児疲れ・不安】



【保護者や家族の病気】



【その他】



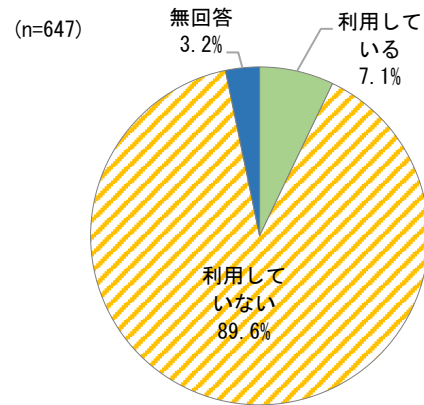
※無回答を除いて集計を行った

10. 地域の子育て支援事業の利用状況について

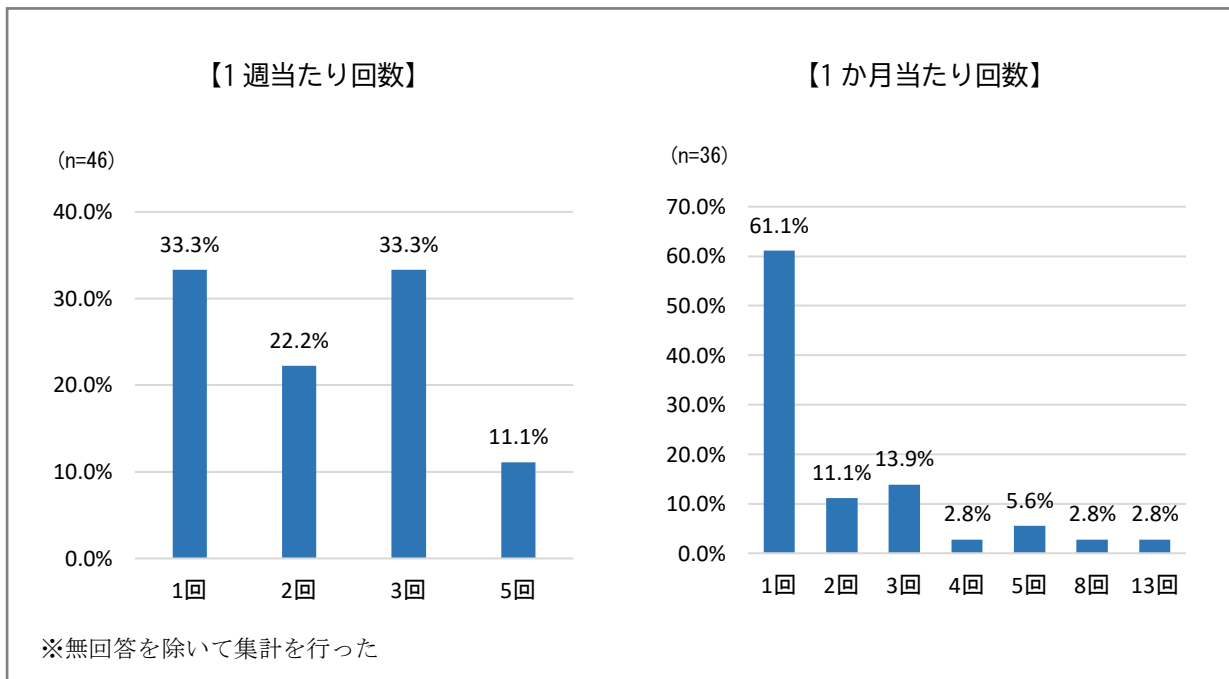
問32 お子さんは、現在、地域子育て支援センター(別紙「施設・サービス一覧」参照)を利用していますか。利用している場合は、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でお答えください。

地域子育て支援センターの利用状況については、「利用している」7.1%、「利用していない」89.6%となっている。利用している頻度については、1週当たりでは1回と3回、1か月当たりでは1回が最多となっている。

図表 10-1 地域子育て支援センターの利用状況



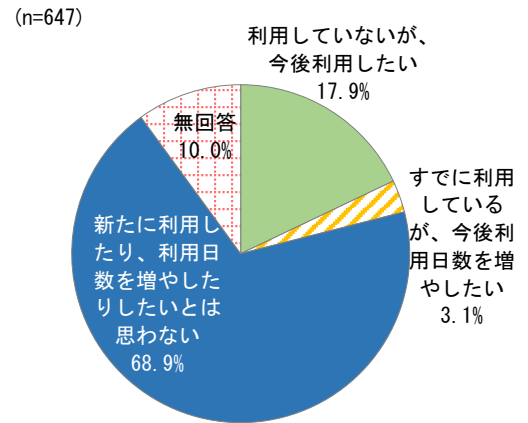
図表 10-2 「利用している」頻度



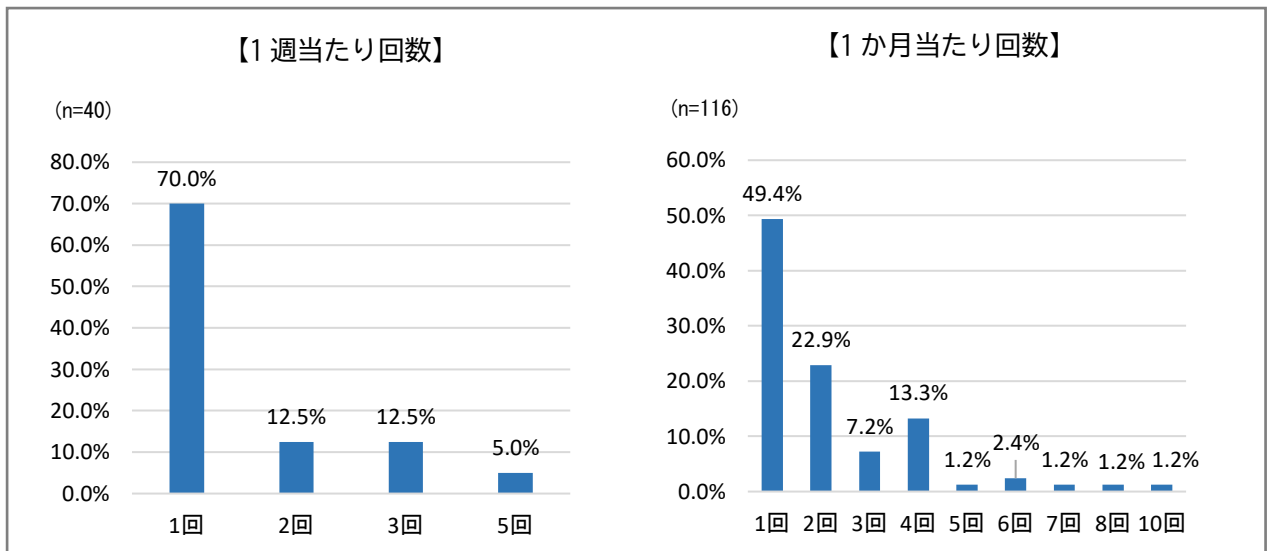
問33 問32のような地域子育て支援センターについて、現在は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思いますか。
また、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でお答えください。

地域子育て支援センターの今後の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」68.9%が最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」17.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」3.1%となっている。現在利用していない方の利用したい日数は週当たり「1回」、月当たり「1回」が最多となっている。現在利用している方は今より更に「1回」、月に「1回」、「2回」が最多となっている。

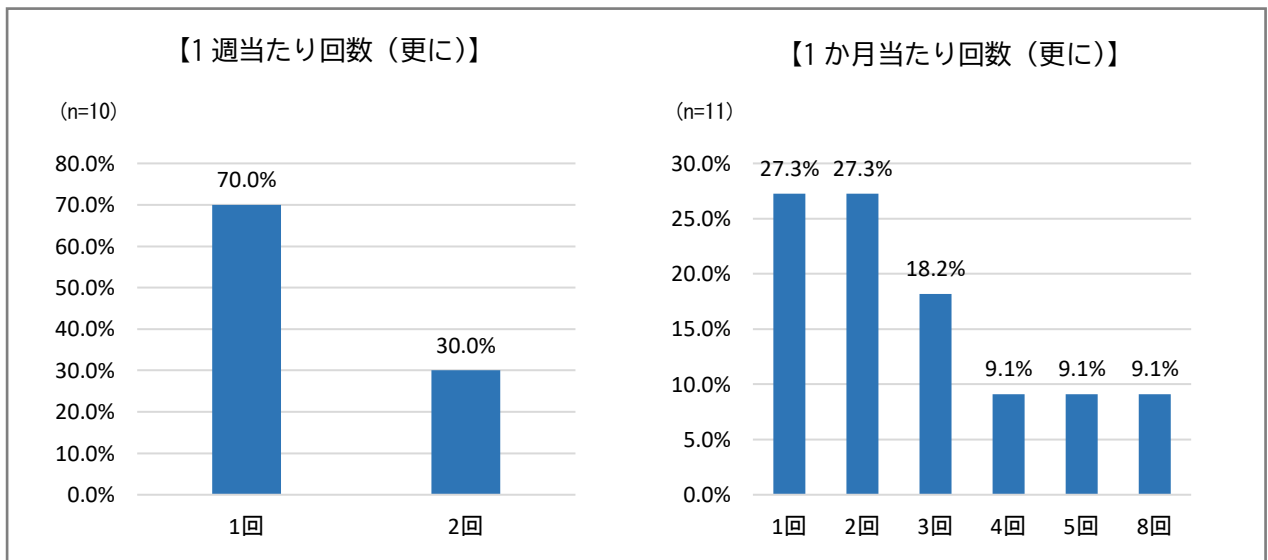
図表 10-3 利用意向



図表 10-4 「利用していない」方の利用意向(回数)



図表 10-5 「利用している」方の利用意向(回数)



※図表 10-4、10-5 については無回答を除いて集計を行った

問34 下記の①～⑰のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものがありますか。また今後、利用したいと思いますか。(サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、1つに○)

市で実施している 16 事業の中で、「認知度」、「利用状況」、「利用意向」の上位 5 事業は下記のとおり。

【認知度】

認知度については、「病児保育事業」82.5%が最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」81.1%、「延長保育事業」75.7%となっている。一方、認知度が最も低いのは「子育て短期支援事業（ショートステイ事業、トワイライトステイ事業）」の20.1%となっている。

【利用状況】

利用状況については、「指宿保健センター・山川文化ホール・なのはな館の施設・遊具開放」34.6%が最も高く、次いで「保健センターの育児相談」30.4%、「子育て支援センター」29.5%となっている。一方、利用状況が最も低いのは「子育て短期支援事業（ショートステイ事業、トワイライトステイ事業）」の0.3%となっている。

【利用意向】

利用意向については、「放課後児童クラブ（学童保育）」49.5%が最も高く、次いで「指宿保健センター・山川文化ホール・なのはな館の施設・遊具開放」36.3%、「延長保育事業」31.1%となっている。一方、利用意向が最も低いのは「子育て短期支援事業（ショートステイ事業、トワイライトステイ事業）」の8.2%となっている。

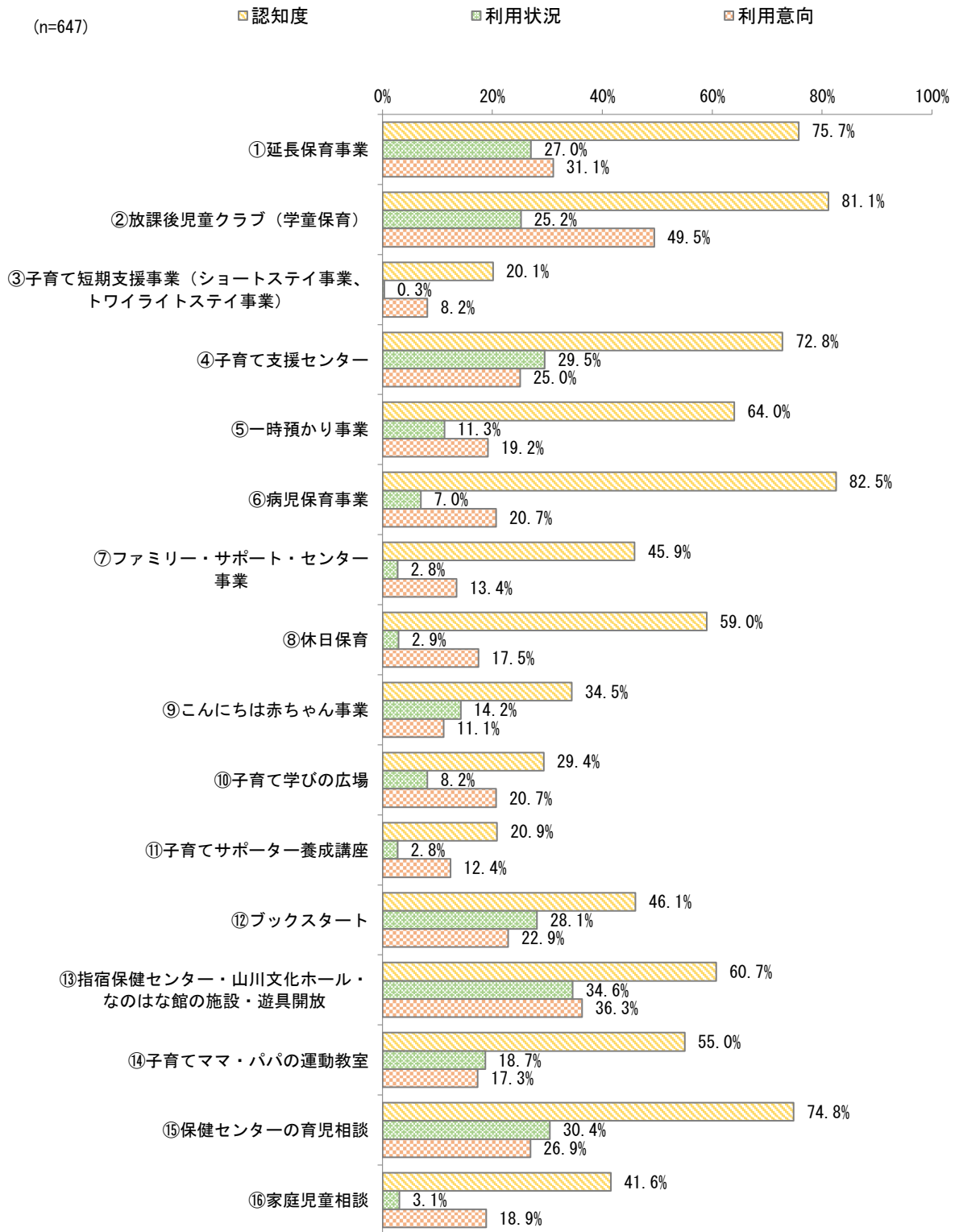
図表 10-6 事業の認知度、利用状況、利用意向の上位 5 事業

【認知度】		
順位	事業名	割合
1	病児保育事業	82.5%
2	放課後児童クラブ(学童保育)	81.1%
3	延長保育事業	75.7%
4	保健センターの育児相談	74.8%
5	子育て支援センター	72.8%

【利用状況】		
順位	事業名	割合
1	指宿保健センター・山川文化ホール・なのはな館の施設・遊具開放	34.6%
2	保健センターの育児相談	30.4%
3	子育て支援センター	29.5%
4	ブックスタート	28.1%
5	延長保育事業	27.0%

【利用意向】		
順位	事業名	割合
1	放課後児童クラブ(学童保育)	49.5%
2	指宿保健センター・山川文化ホール・なのはな館の施設・遊具開放	36.3%
3	延長保育事業	31.1%
4	保健センターの育児相談	26.9%
5	子育て支援センター	25.0%

図表 10-7 事業別の認知度、利用状況、利用意向



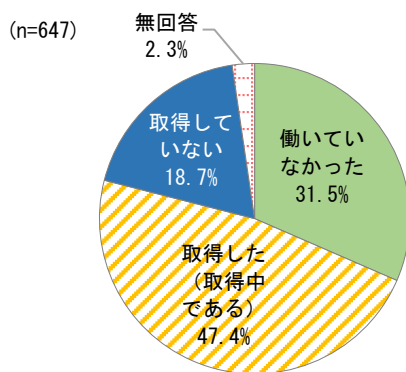
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問35 末子のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。(母親、父親ごとに1つに○)

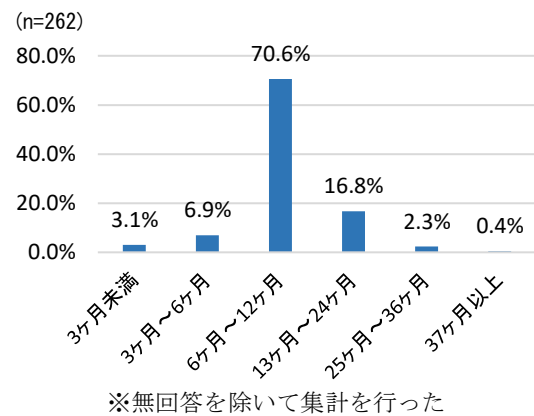
【母親】

育児休業の取得状況については、「取得した（取得中である）」47.4%が最も高く、次いで「働いていなかった」31.5%、「取得していない」18.7%となっている。取得期間については、6ヶ月～12ヶ月が7割を占め、1年を超える取得は19.5%にとどまっている。また、取得していない理由については、「仕事が忙しかった」25.6%が最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」24.8%、「その他」17.4%となっている。「その他」意見では、自営業のためという回答が多くあげられた。

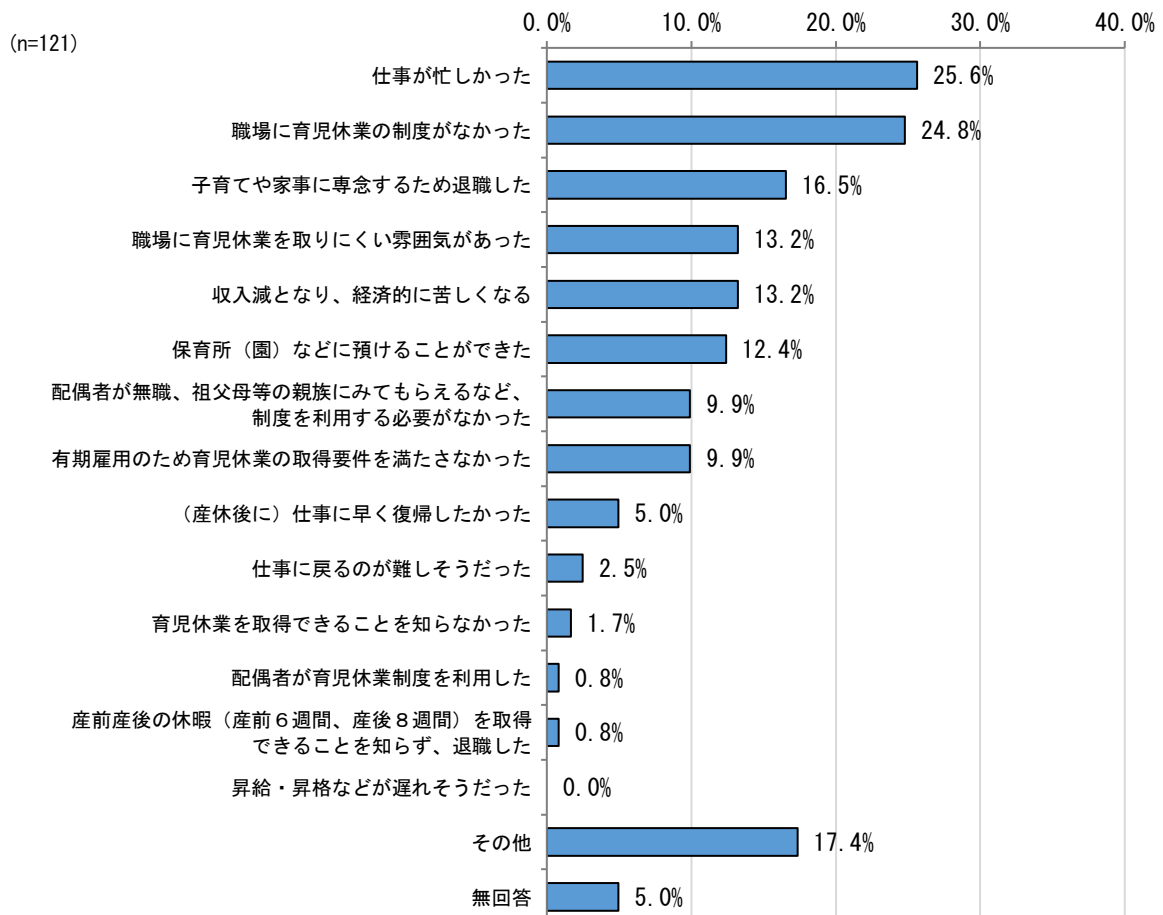
図表 11-1 育児休業取得の有無



図表 11-2 育児休業の取得期間（月）



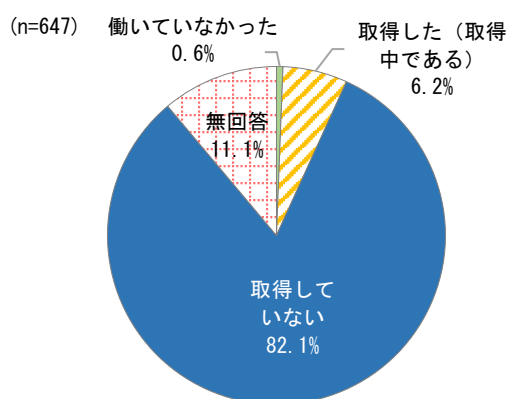
図表 11-3 取得していない理由（複数回答）



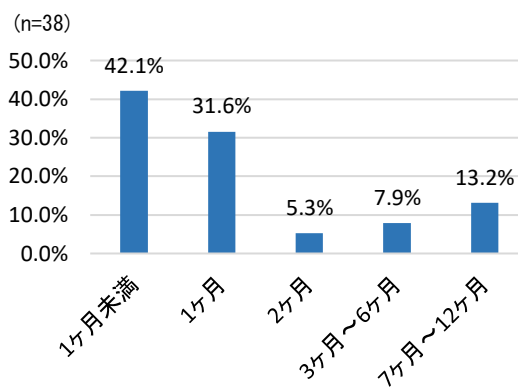
【父親】

育児休業の取得状況については、「取得していない」82.1%が最も高く、次いで「取得した（取得中である）」6.2%、「働いていなかった」0.6%となっている。取得期間については、1ヶ月未満が4割を占め、6ヶ月以上の取得は13.2%となっている。また、取得していない理由としては、「仕事が忙しかった」36.2%が最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」30.3%、「配偶者が育児休業制度を利用した」23.0%となっている。

図表 11-4 育児休業取得の有無

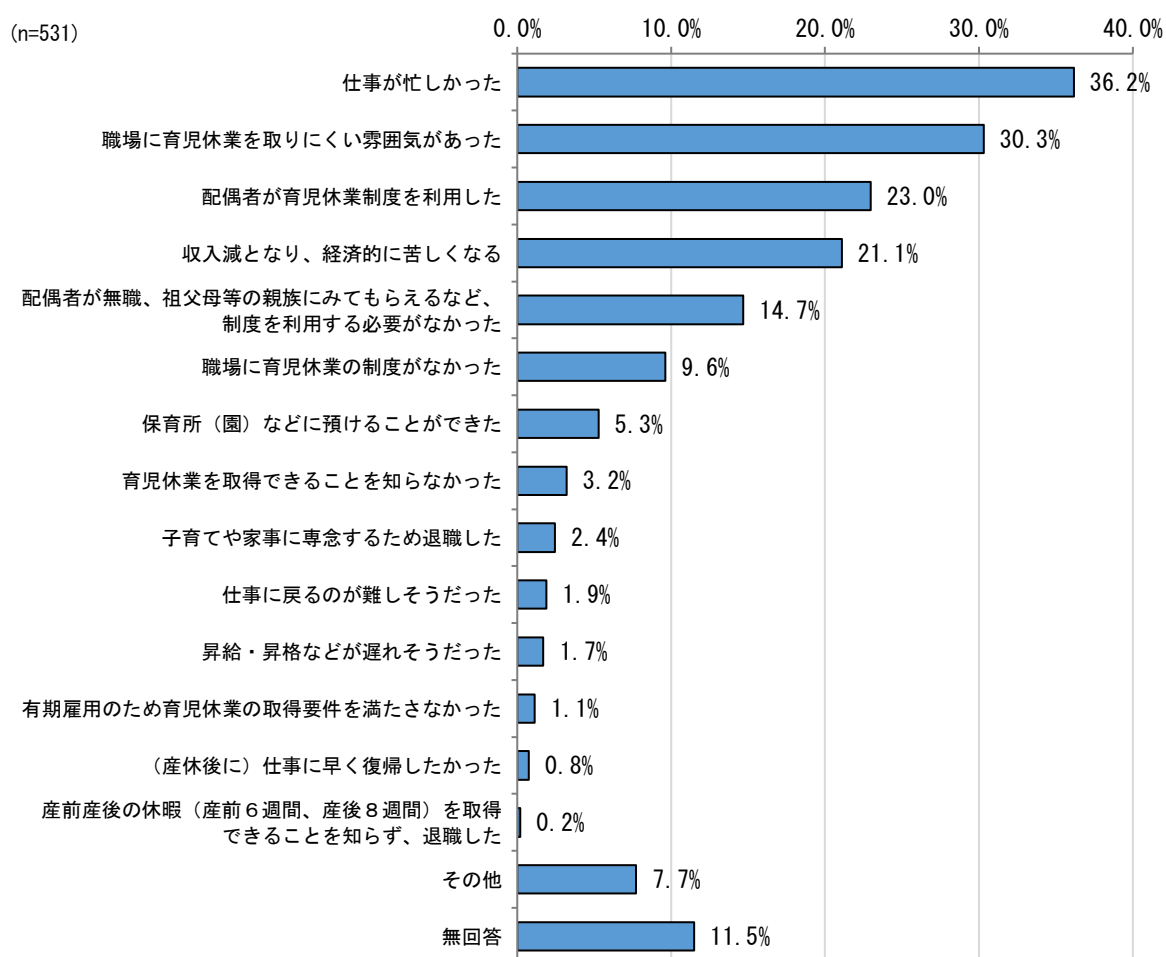


図表 11-5 育児休業の取得期間（月）



※無回答を除いて集計を行った

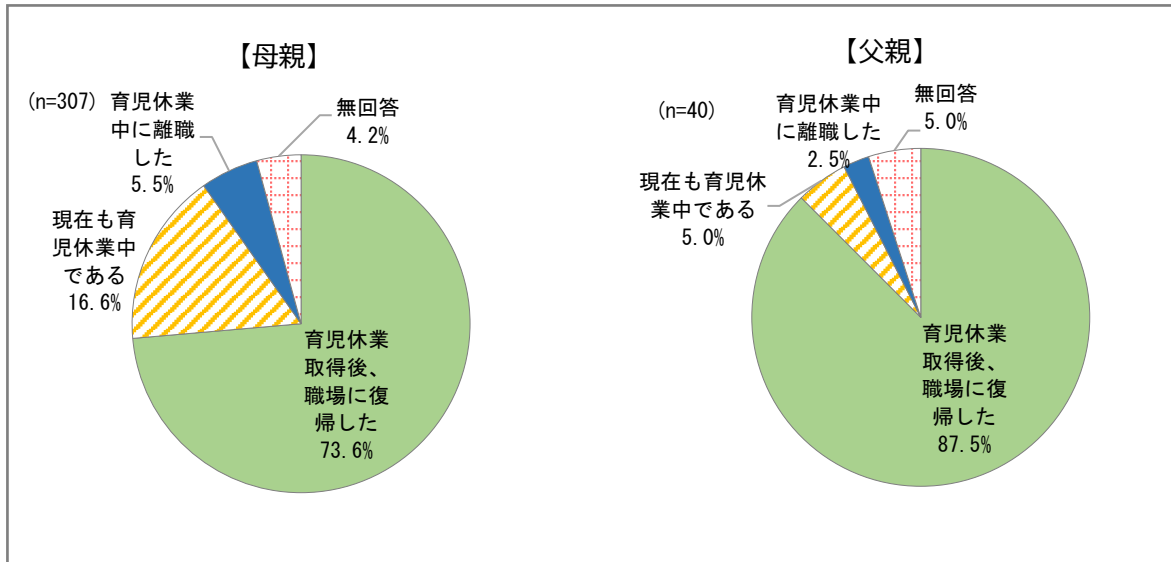
図表 11-6 取得していない理由（複数回答）



問35-1 【問35で母親または父親が「2. 取得した(取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。】育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

母親については、「育児休業取得後、職場に復帰した」73.6%が最も高く、次いで「現在も育児休業中である」16.6%、「育児休業中に離職した」5.5%となっている。父親については、「育児休業取得後、職場に復帰した」87.5%が最も高く、次いで「現在も育児休業中である」5.0%、「育児休業中に離職した」2.5%となっている。

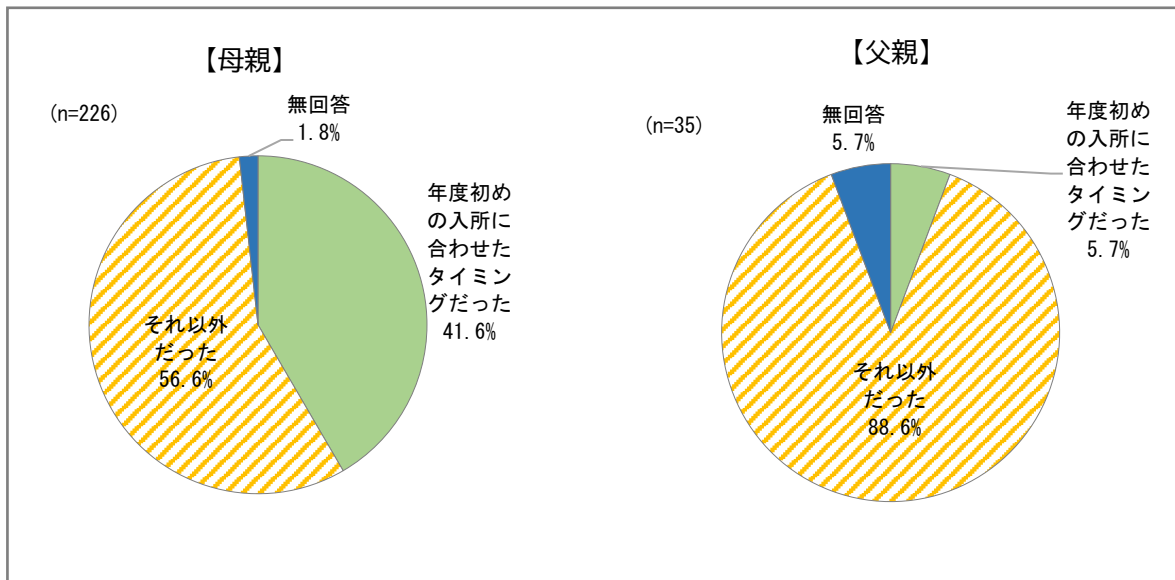
図表 11-7 育児休業後の状況



問35-2 【問35-1で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。】育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

母親については、「それ以外だった」56.6%が最も高く、次いで「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」41.6%となっている。父親については「それ以外だった」が88.6%を占めている。

図表 11-8 職場復帰のタイミング



問35-3 【問35-1で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。】
 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、
 お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。
 ()内にご記入ください。

(1) 母親

育児休業から「実際」に子どもが何歳何か月のときに職場復帰したかについては、平均して「実際」が11.3か月、「希望」が17.5か月となっている。

(2) 父親

平均して、「実際」が6.7か月、「希望」が13.1か月となっている。

問35-4 【問35-1で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。】
 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」として
 はお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。()内にご記入ください。

(1) 母親

育児休業の取得期間の「希望」については、平均で24.4か月（月別には36か月が最多）となっている。

(2) 父親

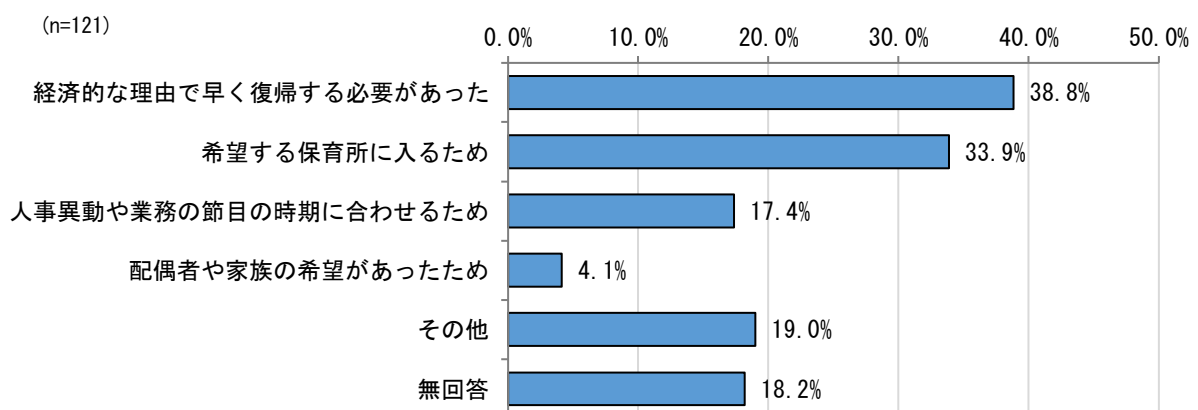
「希望」は平均して、17.6か月（月別には36か月が最多）となっている。

問35-5 【問35-3で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。】
 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

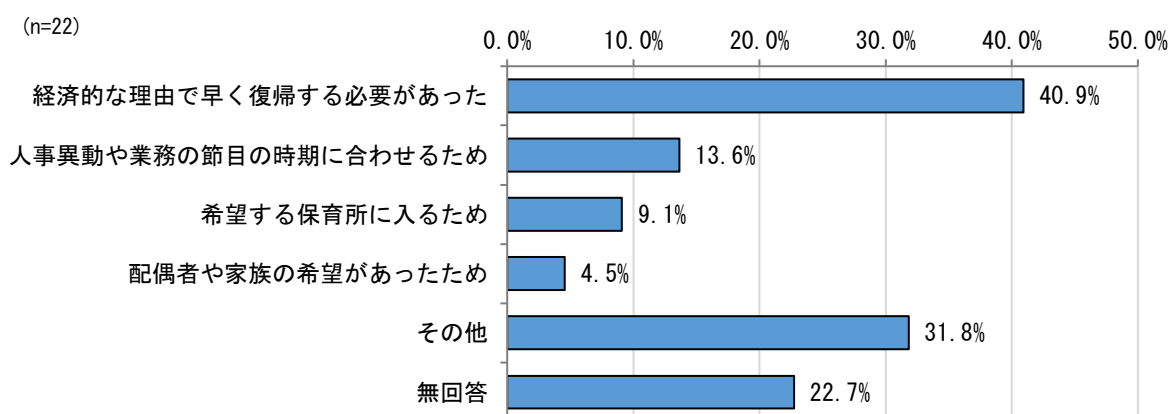
(1) 「希望」より早く復帰した方(複数回答)

希望の時期に職場復帰しなかった理由について、母親は「経済的な理由で早く復帰する必要があった」38.8%が最も高く、次いで「希望する保育所に入るため」33.9%となっている。父親は「経済的な理由で早く復帰する必要があった」40.9%が最も高く、次いで「その他」31.8%となっている。「その他」の内容については、仕事が忙しい、職場に迷惑がかかる、職場の人員不足、有休での取得のためなどの回答があげられた。

図表 11-9 職場復帰の状況（希望と実際との差：母親）



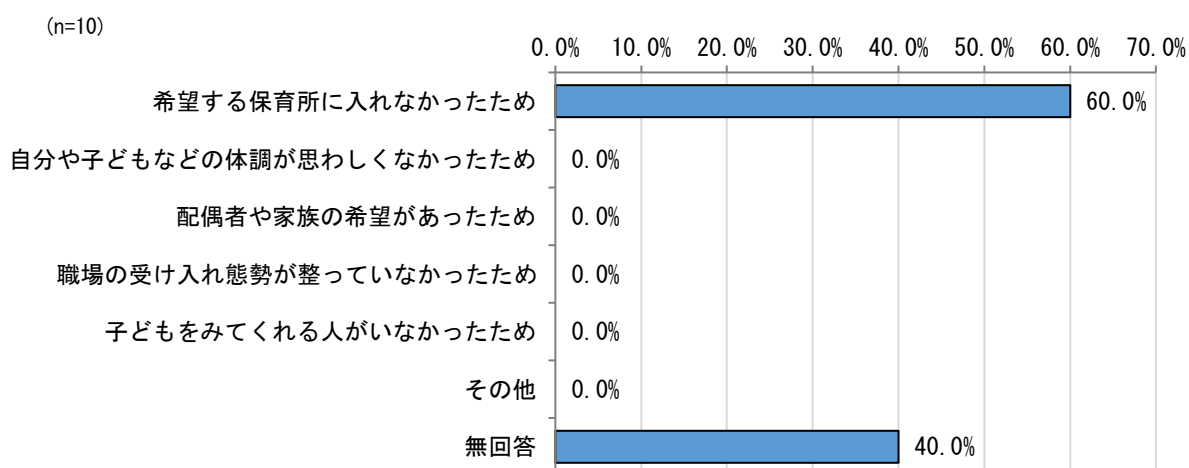
図表 11-10 職場復帰の状況（希望と実際との差：父親）



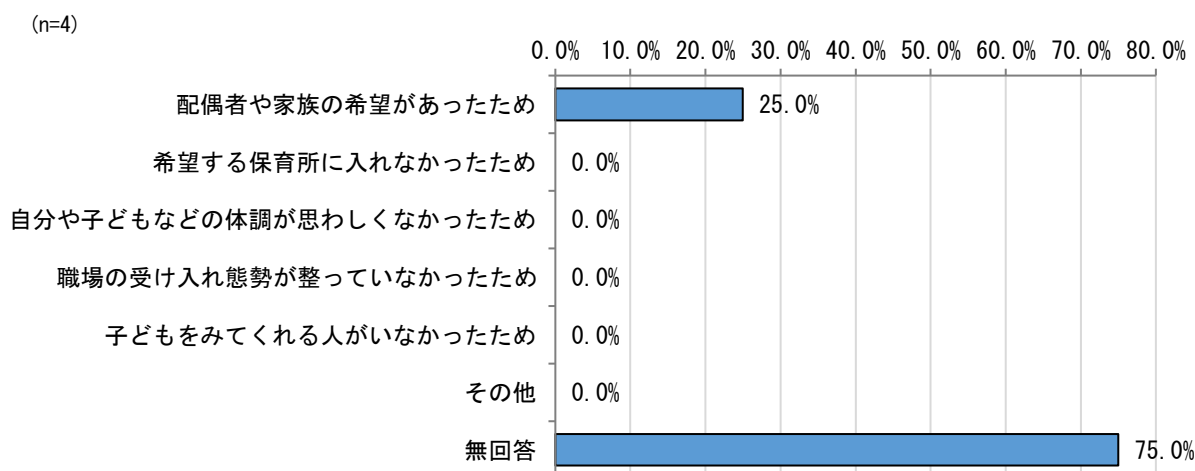
(2) 「希望」より遅く復帰した方(複数回答)

希望の時期に復帰しなかった理由について、母親は「希望する保育所に入れなかったため」60.0%が最も高くなっている。父親はサンプル数が少ないことに留意する必要があるが、「配偶者や家族の希望があったため」25.0%が最も高くなっている。

図表 11-11 希望の時期に復帰しなかった理由（母親）



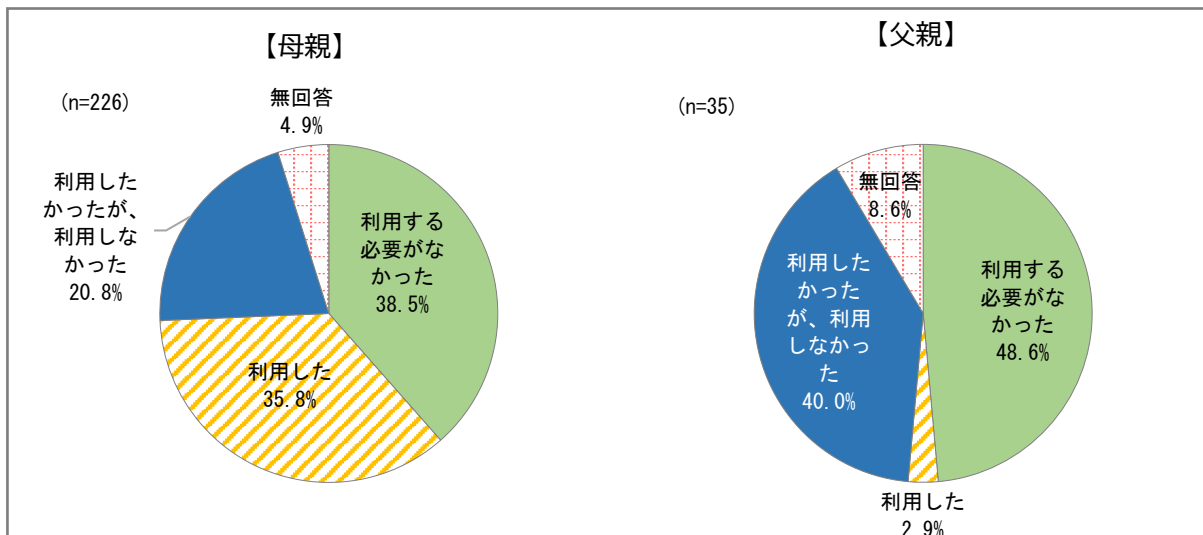
図表 11-12 希望の時期に復帰しなかった理由（父親）



問35-6 育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用しましたか。

短時間勤務制度利用の有無について、母親は「利用する必要がなかった」38.5%が最も高く、次いで「利用した」35.8%、「利用したかったが、利用しなかった」20.8%となっている。父親は「利用する必要がなかった」48.6%が最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった」40.0%となっている。「利用した」は2.9%にとどまっている。

図表 11-13 短時間勤務制度利用の有無



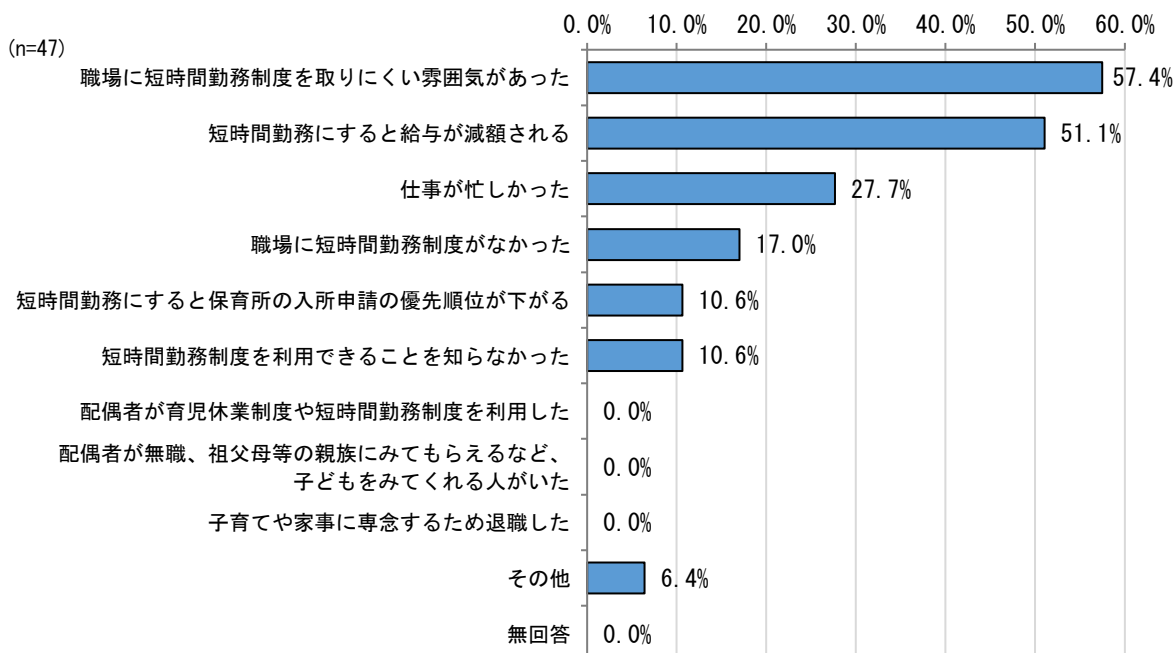
問35-7 【問35-6で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方にうかがいます。】

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(複数回答)

(1) 母親

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由については、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」57.4%が最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」51.1%、「仕事が忙しかった」27.7%となっている。

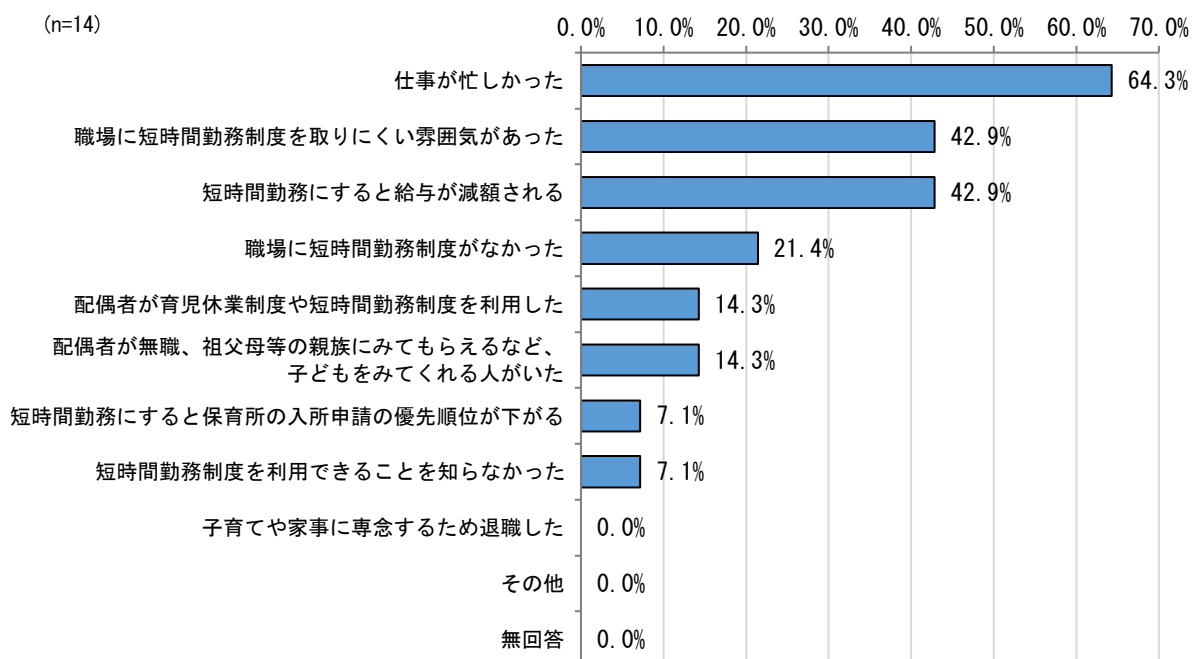
図表 11-14 短時間勤務制度を利用しなかった理由(母親)



(2) 父親

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由については、「仕事が忙しかった」64.3%が最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「短時間勤務にすると給与が減額される」がいずれも42.9%となっている。

図表 11-15 短時間勤務制度を利用しなかった理由（父親）

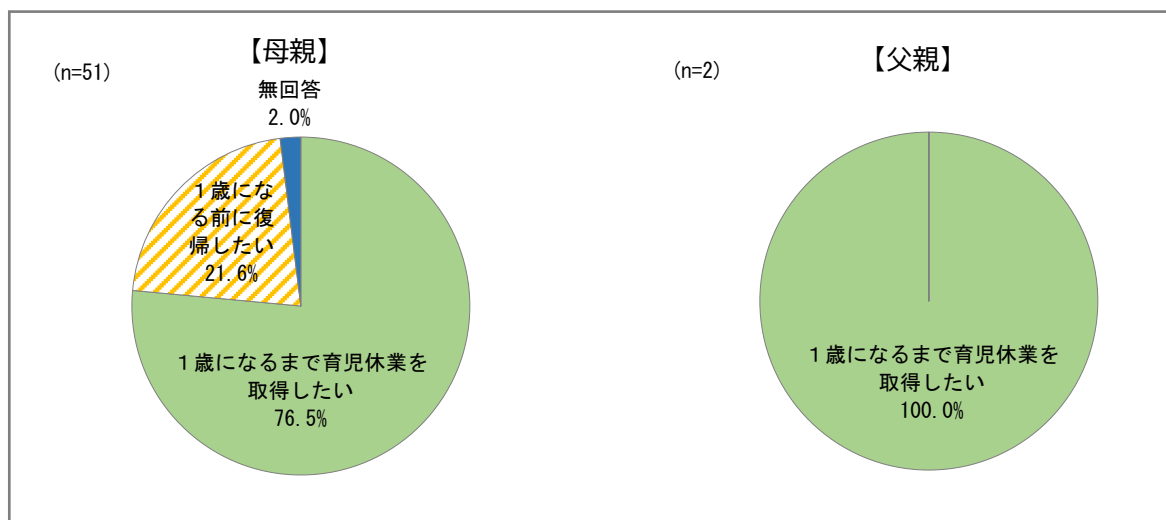


問35-8 【問35-1で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にかがいます。】

お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所等の事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる保育所等の事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

1歳になったときに必ず利用できる保育所等の事業があれば、利用したいか、事業があっても1歳になる前に復帰するかについて、母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」76.5%、「1歳になる前に復帰したい」21.6%となっている。父親についてはサンプル数が少ないことに留意する必要があるが、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が全数となっている。

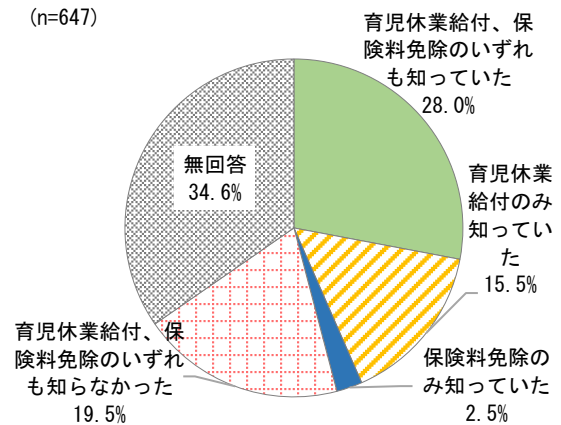
図表 11-16 育児休業の取得意向



問36 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

育児休業給付、保険料免除の認知状況については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」28.0%が最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」19.5%、「育児休業給付のみ知っていた」15.5%となっている。

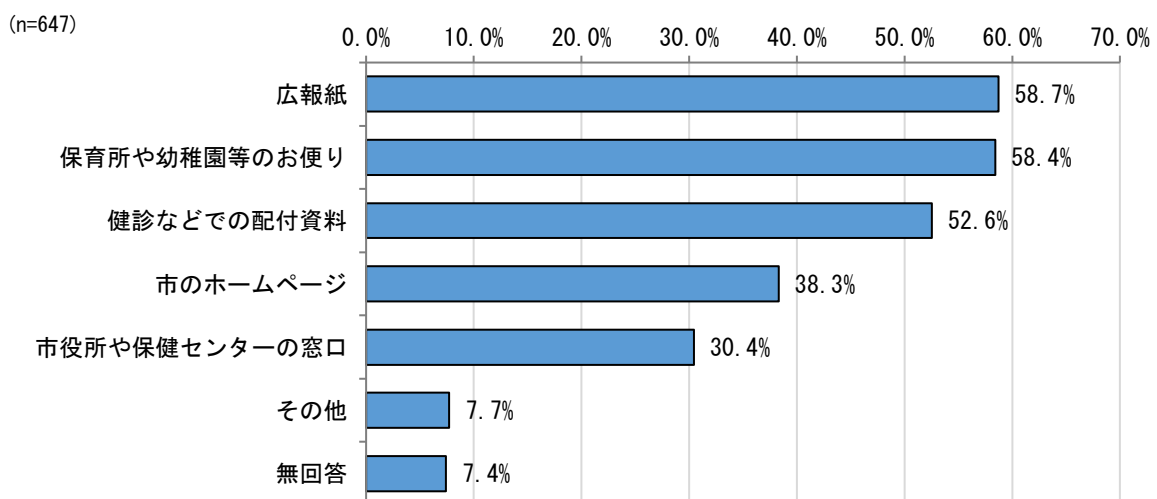
図表 11-17 制度の認知状況



問37 子育て支援サービスに関する情報は、どこから情報提供する方が良いと思いますか。(複数回答)

子育て支援サービスに関する情報をどこから提供する方が良いと思うかについては、「広報紙」58.7%が最も高く、次いで「保育所や幼稚園等のお便り」58.4%、「健診などでの配付資料」52.6%となっている。

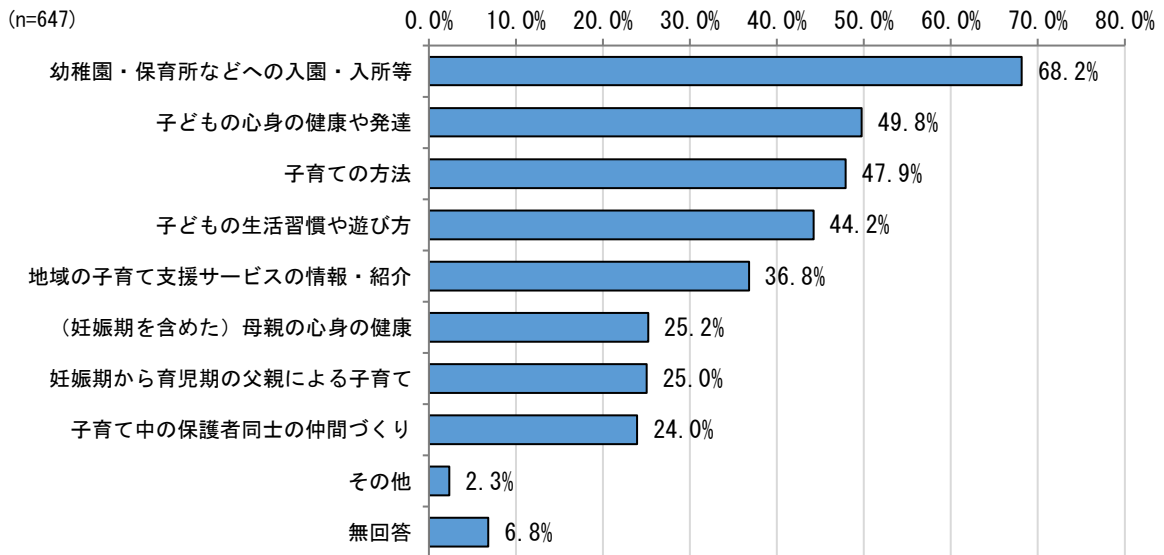
図表 11-18 子育て支援サービスに関する情報の提供方法



問38 (小学校就学前の)乳幼児期の子育てについて、どのような情報提供や相談・支援を受けたいと思いますか。(複数回答)

乳幼児期の子育てについて、どのような情報提供や相談・支援を受けたいかについては、「幼稚園・保育所などへの入園・入所等」68.2%が最も高く、次いで「子どもの心身の健康や発達」49.8%、「子育ての方法」47.9%となっている。

図表 11-19 子育てについての情報提供や相談・支援のニーズ

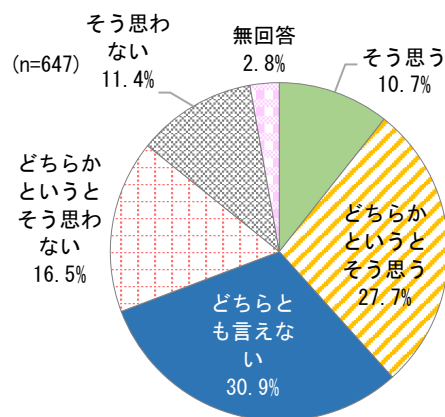


問39 指宿市は子育てしやすいまちだと思いますか。

指宿市は子育てしやすいまちだと思うかについては、「どちらとも言えない」30.9%が最も高く、次いで「どちらかというと思う」27.7%、「どちらかというと思わない」16.5%となっている。

『思う』（「思う」と「どちらかというと思う」の合算）は38.4%となった。

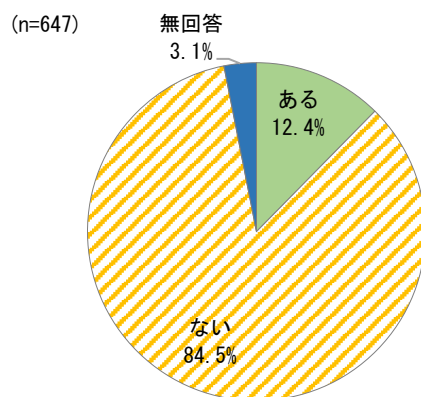
図表 11-20 指宿市は子育てしやすいか



問 40 児童虐待について、見聞きしたことがありますか。

児童虐待について、見聞きしたことがあるかについては、「ある」12.4%、「ない」84.5%となっている。

図表 11-21 児童虐待を見聞きしたことがあるか

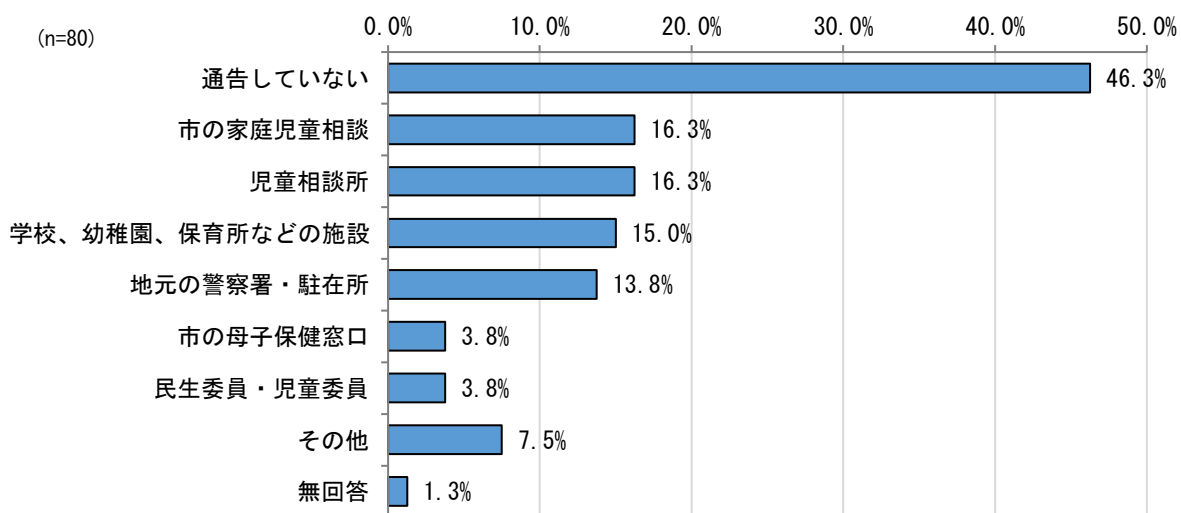


問41 【問40で「1. ある」に○をつけた方にかがいます。】

児童虐待を見聞きした場合に、どちらに通告されましたか。(複数回答)

児童虐待を見聞きした場合に、どこへ通告したかについては、「通告していない」46.3%が最も高く、次いで「市の家庭児童相談」、「児童相談所」がいずれも16.3%、「学校、幼稚園、保育所などの施設」15.0%となっている。

図表 11-22 通告先について

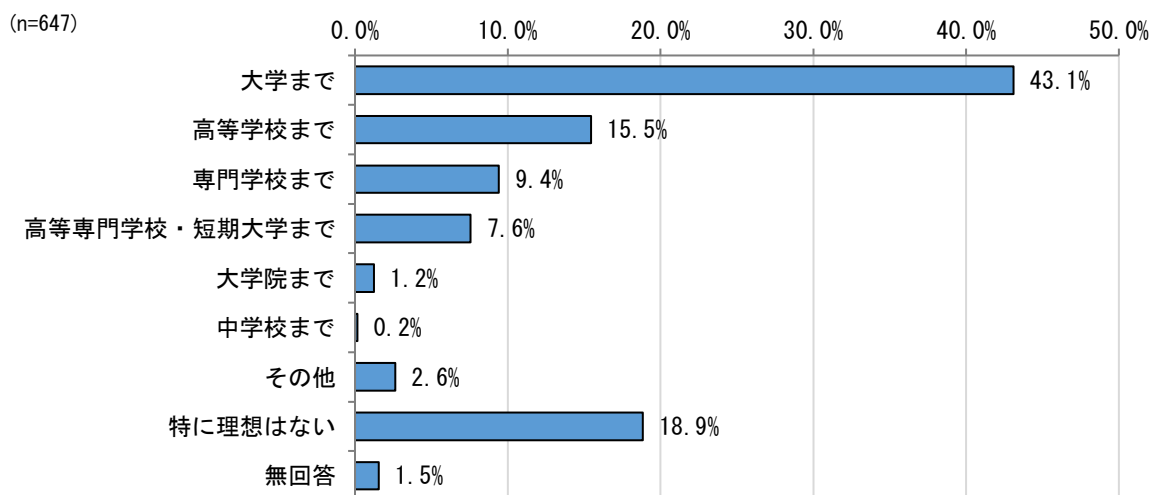


12. 子育て全般について

問42 あなたは、お子さんに、理想的には、どの段階の学校まで進んでほしいと思いますか。

理想として、どの段階の学校まで進んでほしいと思うかについては、「大学まで」43.1%が最も高く、次いで「特に理想はない」18.9%、「高等学校まで」15.5%となっている。

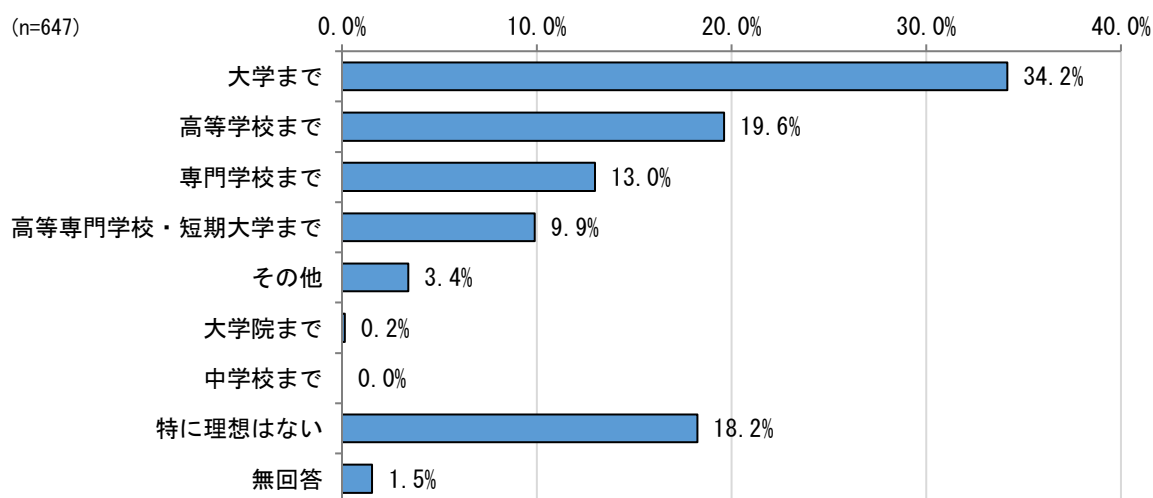
図表 12-1 どの段階の学校まで進んでほしいか（理想）



問43 あなたは、お子さんは、現実的には、どの段階の学校まで進むと思いますか。

現実的には、どの段階の学校まで進むと思うかについては、「大学まで」34.2%が最も高く、次いで「高等学校まで」19.6%、「特に理想はない」18.2%となっている。

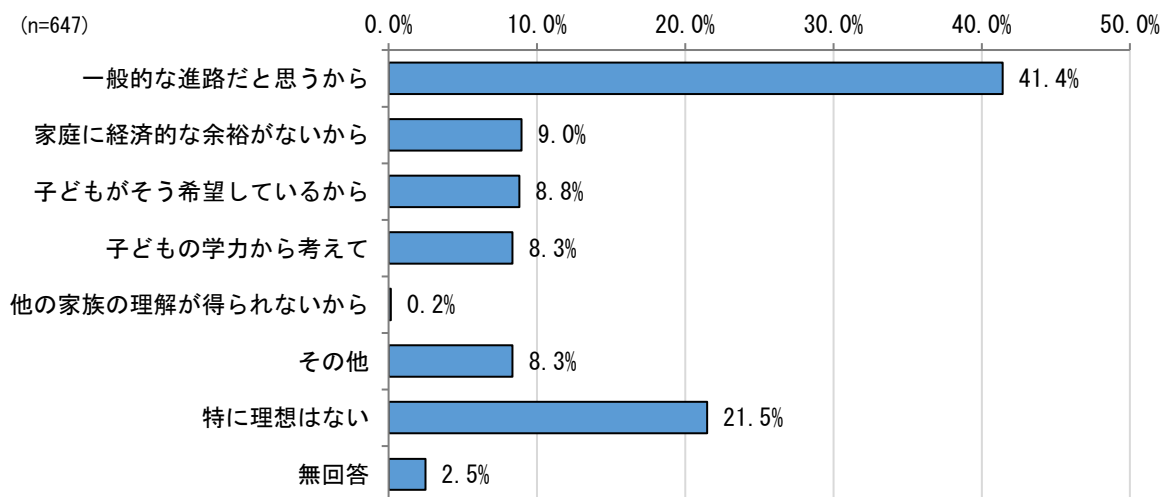
図表 12-2 どの段階の学校まで進むと思うか（現実）



問44 あなたが問43のようにお考えになる理由は何ですか。

問 43（現実的な進路）のように考える理由については、「一般的な進路だと思うから」41.4%が最も高く、次いで「特に理想はない」21.5%、「家庭に経済的な余裕がないから」9.0%となっている。

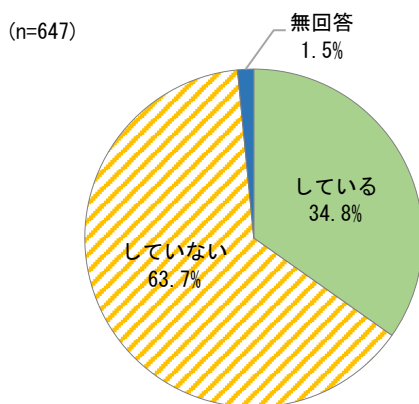
図表 12-3 問 43（現実的な進路）のように考える理由



問45 お子さんは、現在、塾に行ったり、習い事をしたりしていますか。（ここでの「塾」「習い事」には、費用がかからないサークル活動等は含みません。）

現在、塾や習い事をしているかについては、「している」34.8%、「していない」63.7%となっている。

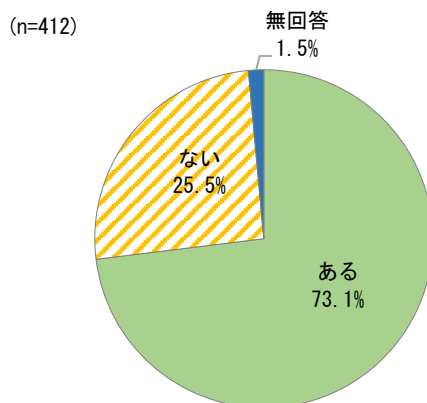
図表 12-4 塾や習い事をしているか



問46 塾や習い事に行かせたい希望はありますか。

塾や習い事に行かせたい希望があるかについては、「ある」73.1%、「ない」25.5%となっている。

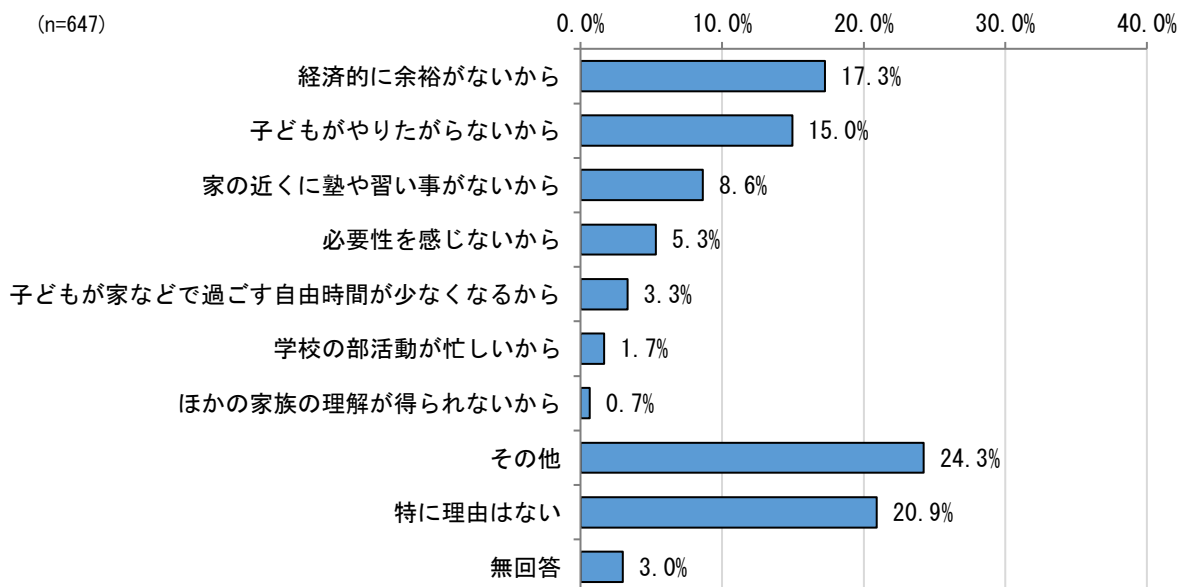
図表 12-5 塾や習い事に行かせたい希望



問47 お子さんが塾や習い事をしていない理由は何ですか。

塾や習い事をしていない理由については、「その他」24.3%が最も高く、次いで「特に理由はない」20.9%、「経済的に余裕がないから」17.3%、「子どもがやりたがらないから」15.0%となっている。「その他」の内容としては、まだ幼いからという回答がほとんどであったが、地域に習いたいものがない、選択肢が少ないなどの回答もあげられた。

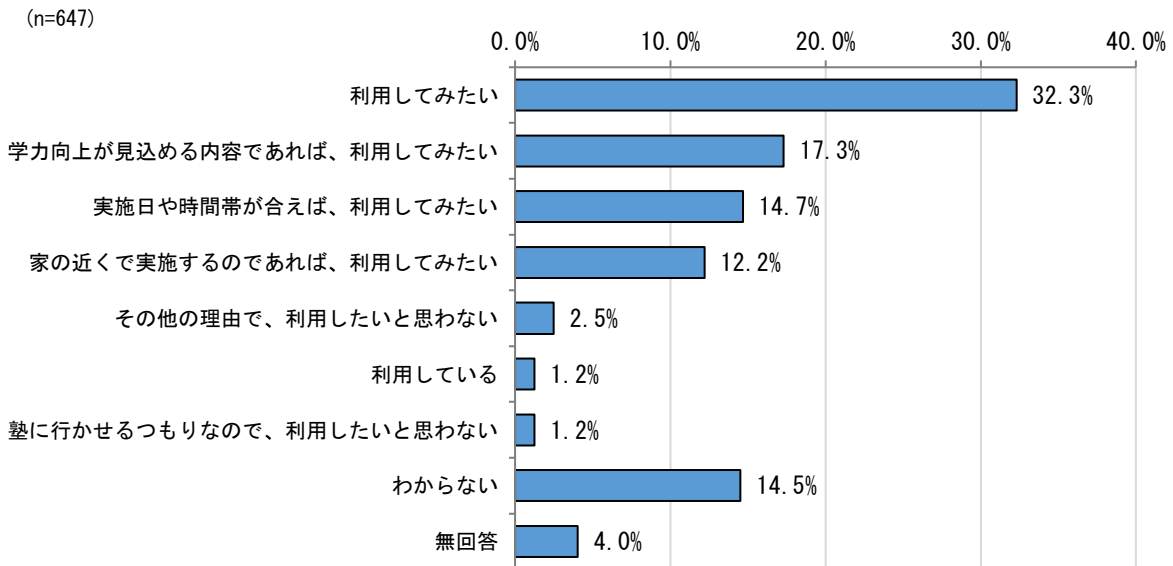
図表 12-6 塾や習い事をしていない理由



問48 本市で、塾に行きたいのに、様々な理由で塾に行っていないお子さんを対象に、無料もしくは低額な利用料金で元教職員等が学習習慣の定着等の学習支援を行う「学習支援事業」を実施した場合、利用したいと思いますか。

「学習支援事業」の利用意向については、「利用してみたい」32.3%が最も高く、次いで「学力向上が見込める内容であれば、利用してみたい」17.3%、「実施日や時間帯が合えば、利用してみたい」14.7%となっている。『利用してみたい』は全体の76.5%を占める。

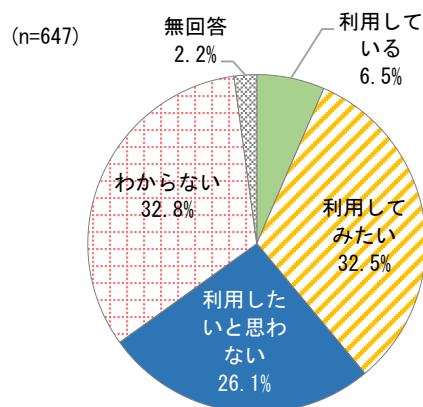
図表 12-7 「学習支援事業」の利用意向



問49 本市内で、食事を満足に取れなかったり、親が忙しく、一人で食事をしている家庭の子どもを支援を目的とした「子ども食堂」がありますが、あなたは利用したいと思いますか。

「子ども食堂」の利用意向については、「わからない」32.8%が最も高く、次いで「利用してみたい」32.5%、「利用したいと思わない」26.1%となっている。

図表 12-8 「子ども食堂」の利用意向



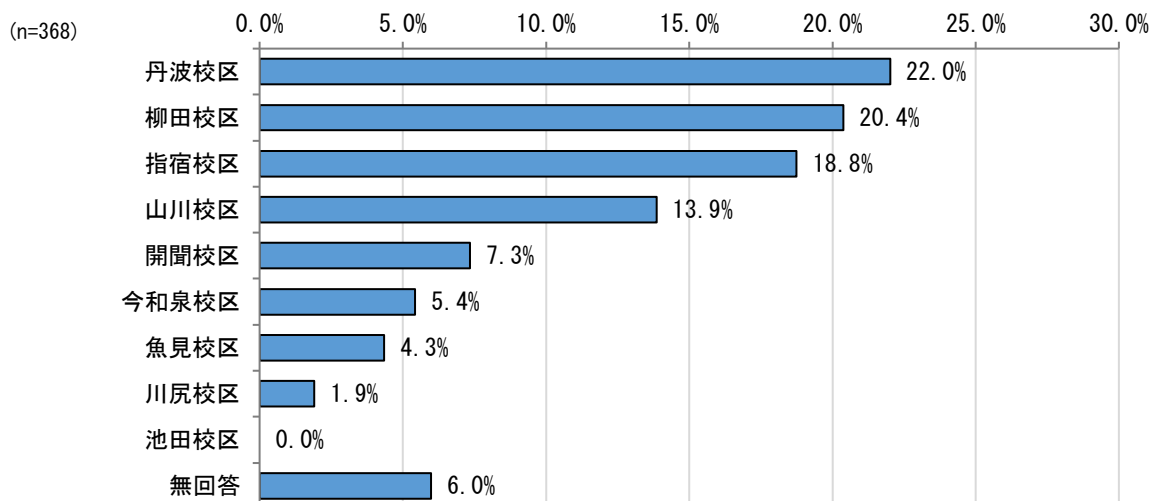
Ⅲ 調査結果（就学児）

1. お住まいの地域について

問1 お住まいの小学校区を教えてください。

小学校区については、「丹波校区」22.0%が最も高く、次いで「柳田校区」20.4%、「指宿校区」18.8%となっている。

図表 1-1 お住まいの小学校区



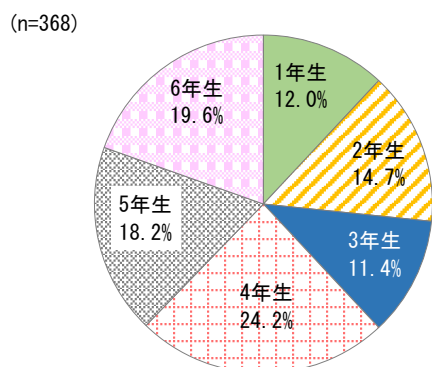
2. お子さんご家族について

問2・問3 お子さんの学年及び兄弟数を教えてください。

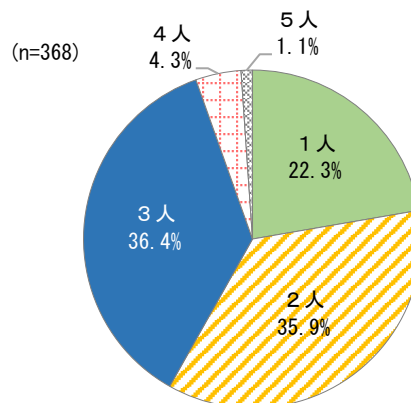
学年は、「4年生」24.2%が最も高く、次いで「6年生」19.6%、「5年生」18.2%となっている。

兄弟数は、「3人」36.4%が最も高く、次いで「2人」35.9%、「1人」22.3%となっている。4人以上は合わせて5.4%となっている。

図表 2-1 学年



図表 2-2 兄弟数



問4～問6 ご回答いただく方の続柄、年齢及び配偶者の有無について教えてください。

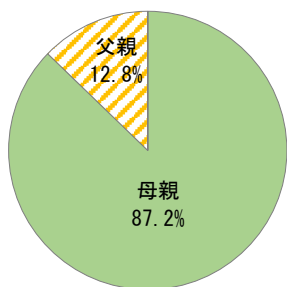
回答者の続柄については、「母親」87.2%、「父親」12.8%となっている。

年齢については、「40代」68.5%が最も高く、次いで「30代」23.1%、「50代」7.1%となっている。

配偶者の有無については、「配偶者がいる」82.3%、「配偶者はいない」17.7%となっている。

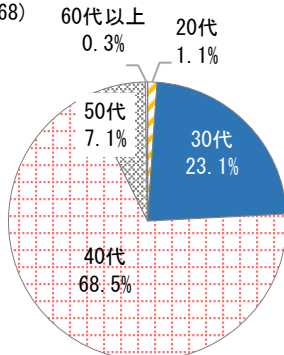
図表 2-3 続柄

(n=368)



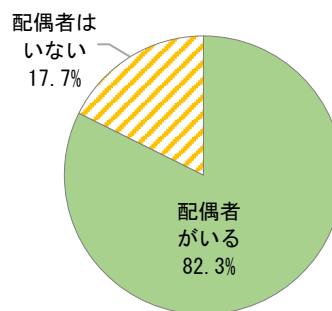
図表 2-4 年齢

(n=368)



図表 2-5 配偶者の有無

(n=368)

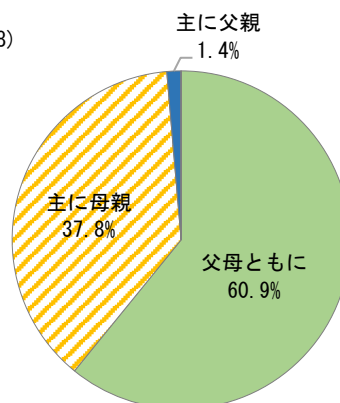


問7 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。

子育てを主に行っている方については、「父母ともに」60.9%が最も高く、次いで「主に母親」37.8%、「主に父親」1.4%となっている。

図表 2-6 子育てを主に行っている方

(n=368)

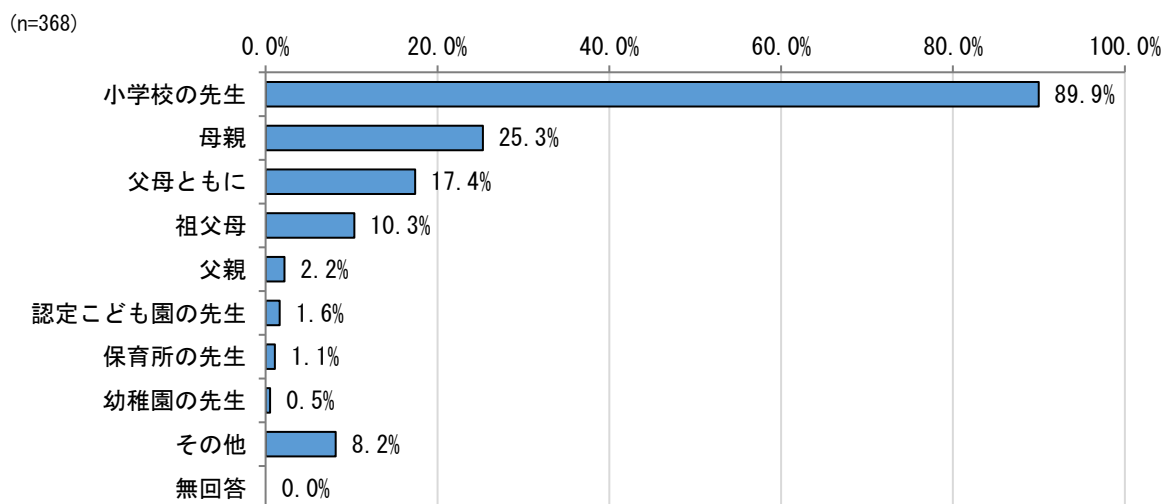


3. 子どもの育ちをめぐる環境について

問8 お子さんは日中(およそ8:00~17:00)どなたと過ごしていますか。お子さんからみた関係でお答えください。(複数回答)

日中の過ごし方については、「小学校の先生」89.9%が最も高く、次いで「母親」25.3%、「父母ともに」17.4%となっている。

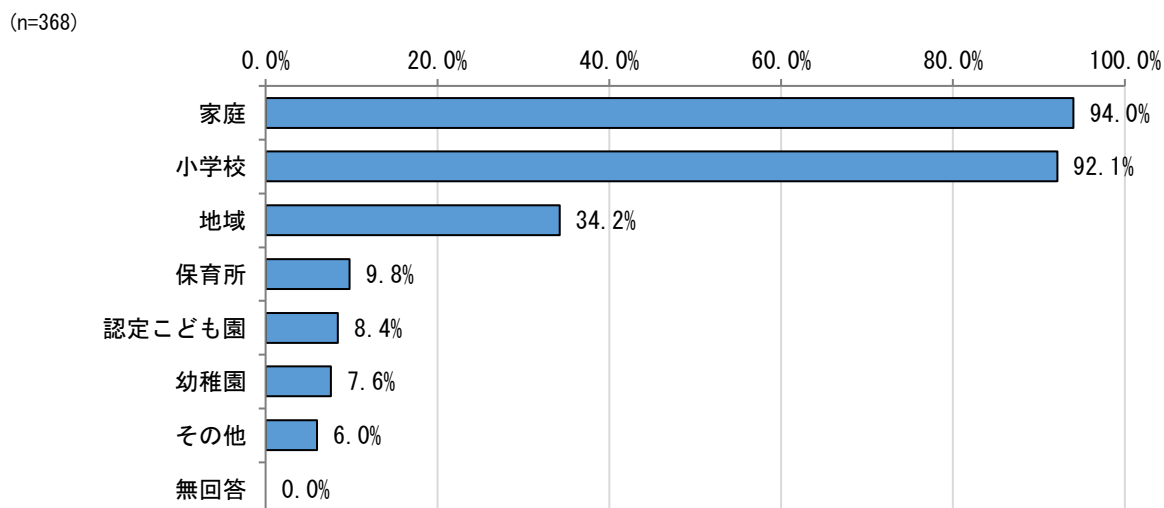
図表 3-1 日中どなたと過ごしていますか



問9 お子さんの子育て(教育を含む)に、大きく影響すると思われる環境についてお答えください。(複数回答)

子育て(教育を含む)に、大きく影響すると思われる環境については、「家庭」94.0%が最も高く、次いで「小学校」92.1%、「地域」34.2%となっている。

図表 3-2 子育てに大きく影響すると思われる環境

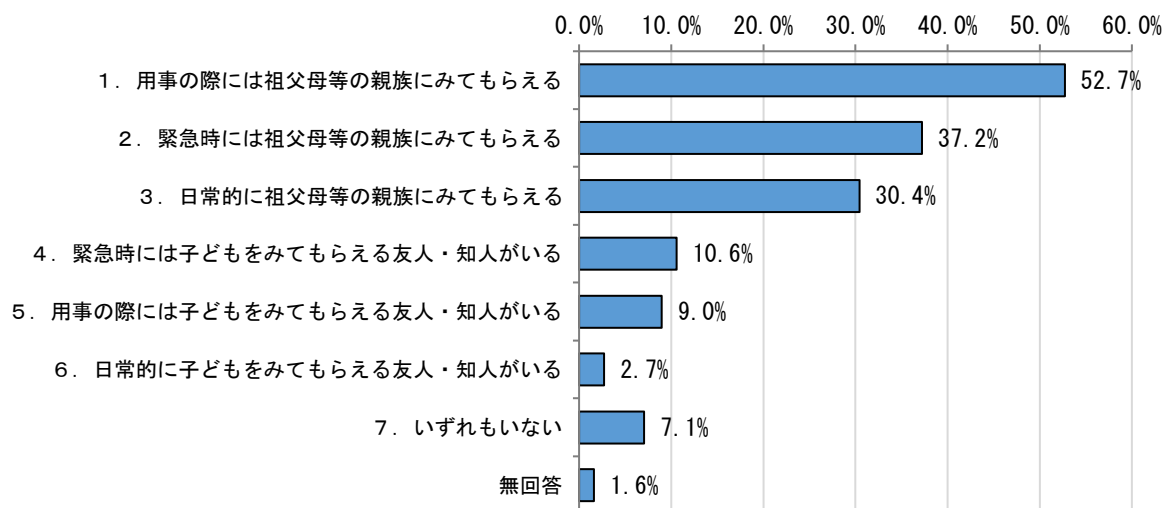


問10 日頃、お子さんをみてもらえる親族・友人・知人はいますか。(複数回答)

子どもをみてもらえる親族・友人・知人がいるかについては、「用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」52.7%が最も高く、次いで「緊急時には祖父母等の親族にみてもらえる」37.2%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」30.4%となっている。

図表 3-3 お子さんをみてもらえる親族・友人・知人

(n=368)

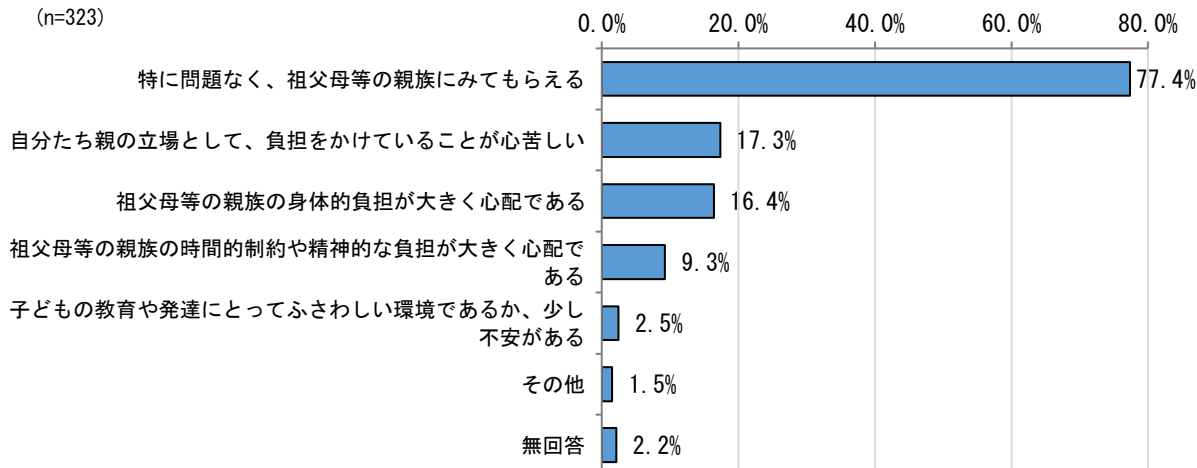


問10-1 【問10で「1.」～「3.」に○をつけた方にうかがいます。】
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(複数回答)

祖父母等の親族に子どもをみてもらう状況については、「特に問題なく、祖父母等の親族にみてもらえる」77.4%が最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」17.3%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」16.4%となっている。

図表 3-4 お子さんをみてもらう状況（祖父母等）

(n=323)

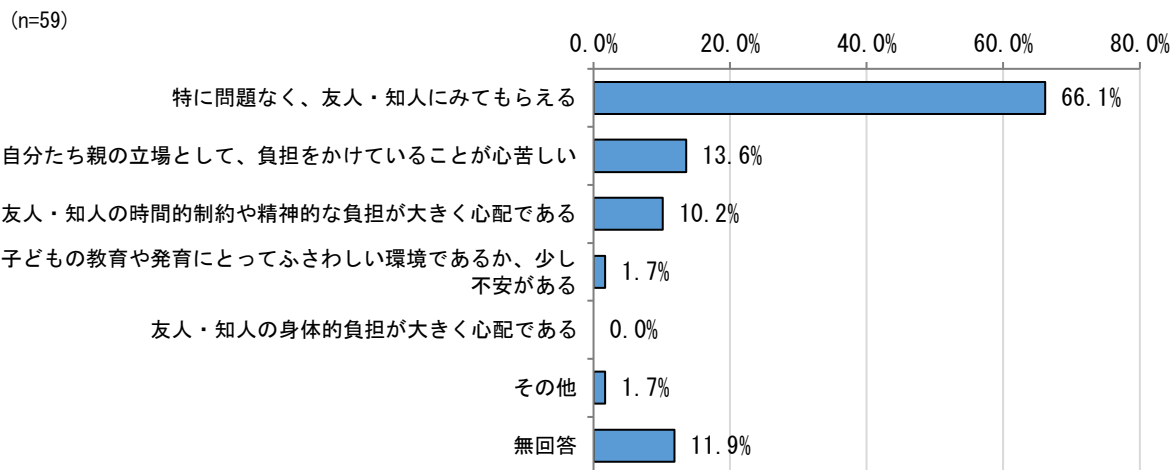


問10-2 【問10で「4.」～「6.」に○をつけた方にうかがいます。】

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(複数回答)

友人・知人に子どもをみてもらう状況については、「特に問題なく、友人・知人にみてもらえる」66.1%が最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」13.6%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」10.2%となっている。

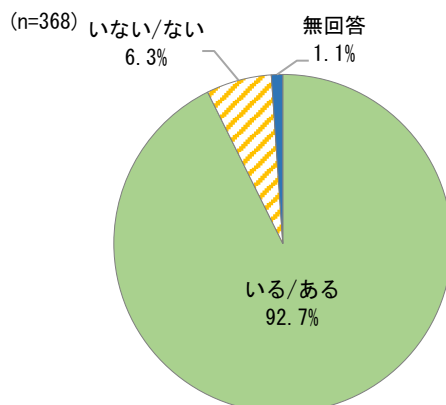
図表 3-5 お子さんをみてもらう状況 (友人・知人)



問11 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人や場所については、「いる/ある」92.7%、「いない/ない」6.3%となっている。

図表 3-6 お子さんの子育てをする上での相談相手の有無

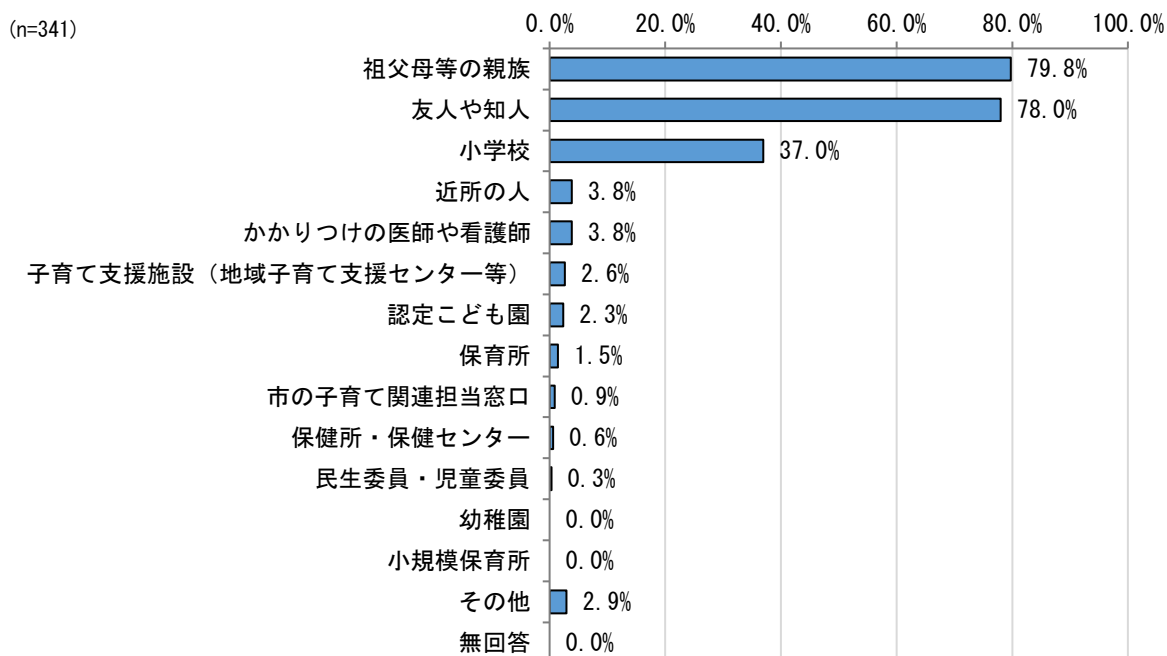


問11-1 【問11で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。】

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる相談先は、誰(どこ)ですか。(複数回答)

子育てに関して、気軽に相談できる相談先については、「祖父母等の親族」79.8%が最も高く、次いで「友人や知人」78.0%、「小学校」37.0%となっている。

図表 3-7 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる相談先



問12 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

回答内容をみると、気軽に預かってくれる施設や場所について(12件)、交流の場や安全に遊べる場の確保(6件)、経済的支援について(4件)、行政等のサポート体制について(26件)、その他ご意見・ご要望(12件)など60件の回答があった。(詳細はデータ編参照)

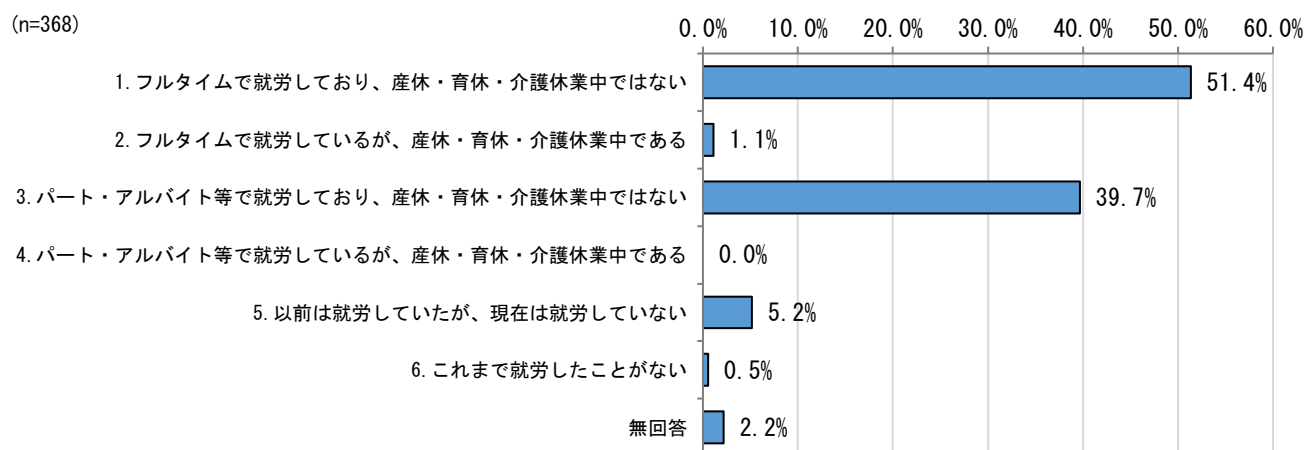
4. お子さんの保護者の就労状況について

問13 お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてうかがいます。

(1) 母親

母親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」51.4%が最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」39.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」5.2%となっている。

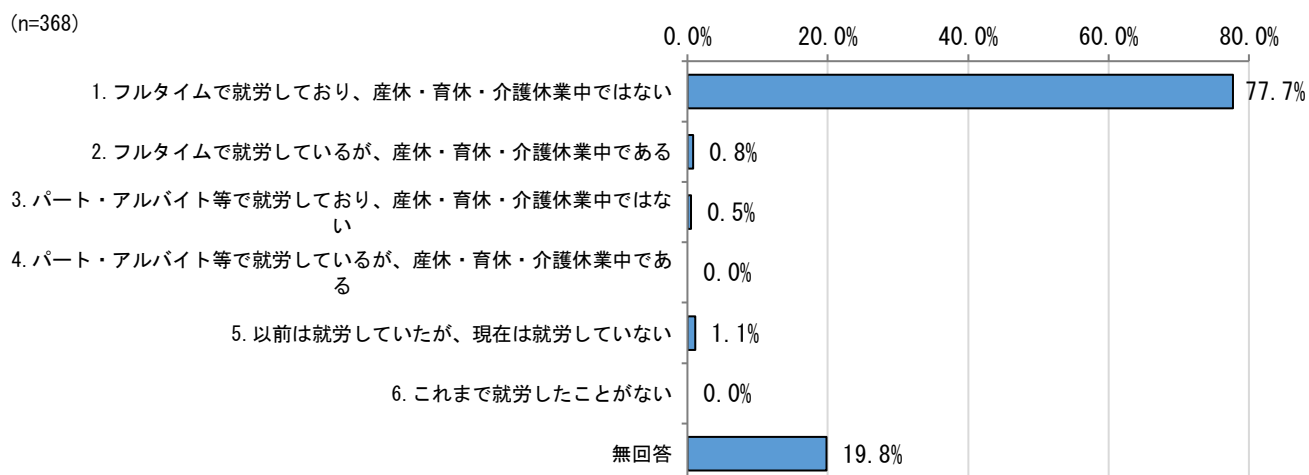
図表 4-1 お子さんの保護者の就労状況（母親）



(2) 父親

父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」77.7%が最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」1.1%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」0.8%となっている。

図表 4-2 お子さんの保護者の就労状況（父親）



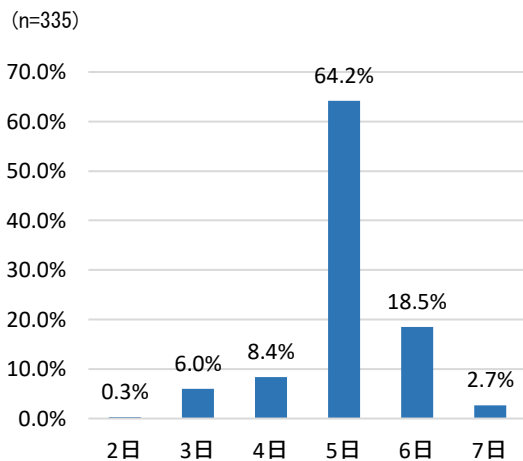
問13(1)-1 【(1)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。】
 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

(1)-1及び(1)-2 1週当たり日数及び1日当たり時間。家を出る時刻及び帰宅時刻

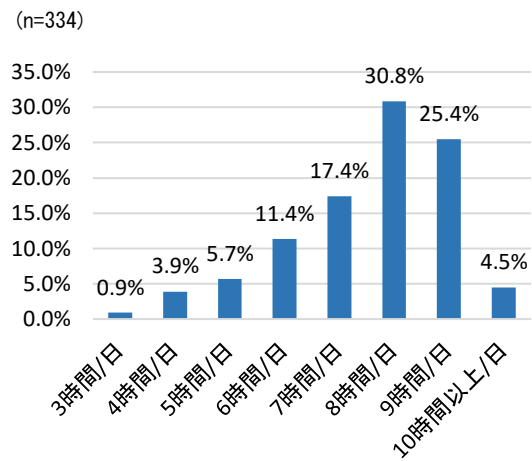
【母親】

就労状況をみると、週5日、1日8時間が最多となっている。また、家を出る時刻は9時台、帰宅時刻は18時台が最も高くなっている。

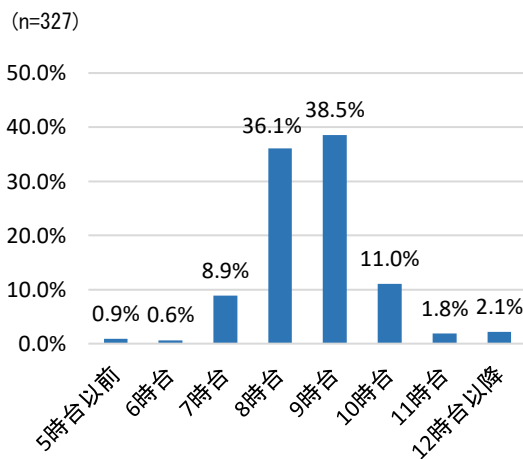
図表 4-3 1週当たり日数



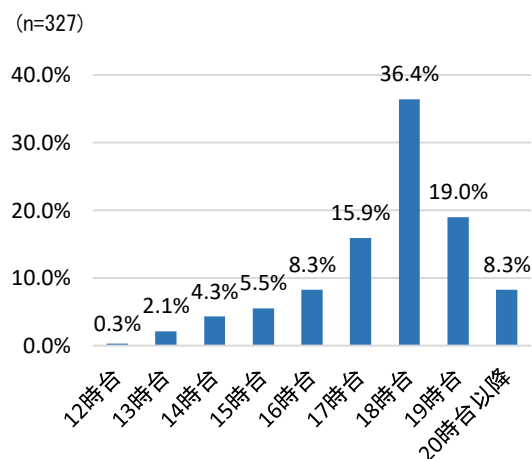
図表 4-4 1日当たり時間



図表 4-5 家を出る時刻



図表 4-6 帰宅時刻



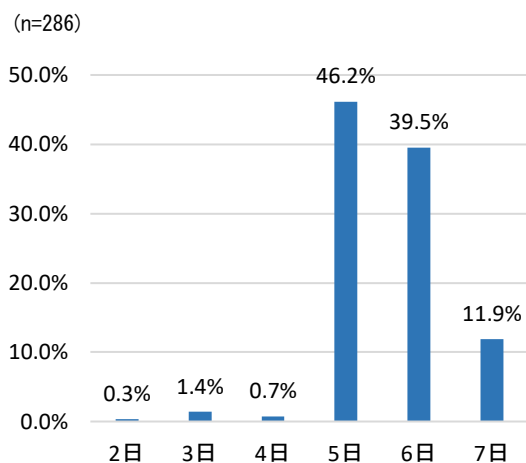
※無回答を除いて集計を行った

(2)-1及び(2)-2 1週当たり日数及び1日当たり時間。家を出る時刻及び帰宅時刻

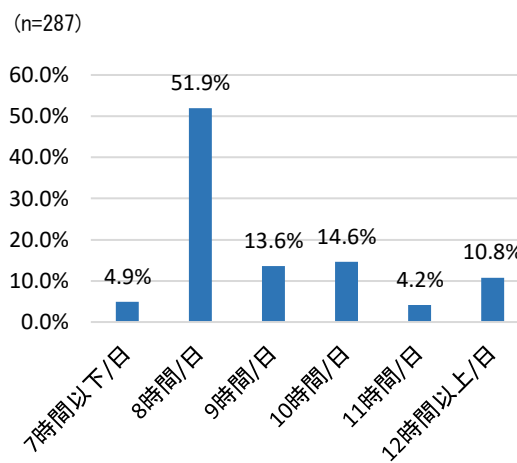
【父親】

就労状況をみると、週5日、1日8時間が最多となっている。また、家を出る時刻は8時台、帰宅時刻は19時台が最も高くなっている。

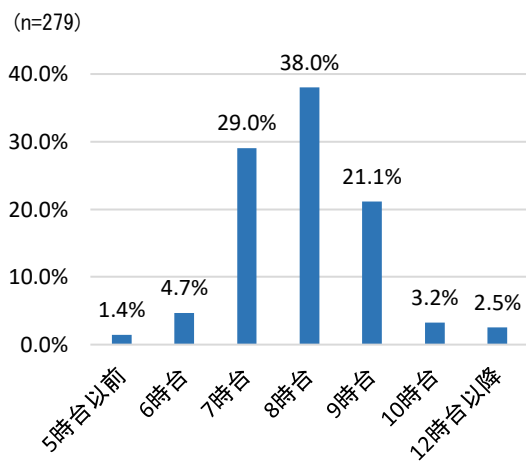
図表 4-7 1週当たり日数



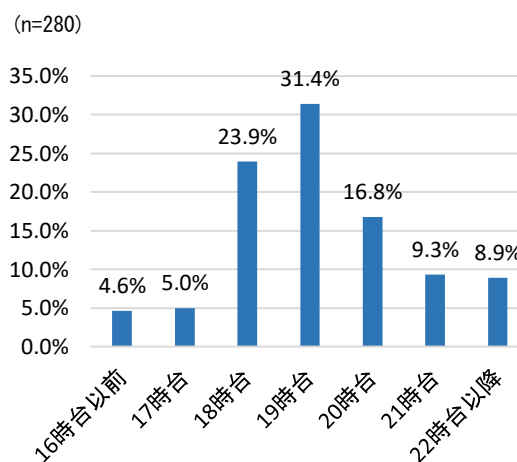
図表 4-8 1日当たり時間



図表 4-9 家を出る時刻



図表 4-10 帰宅時刻



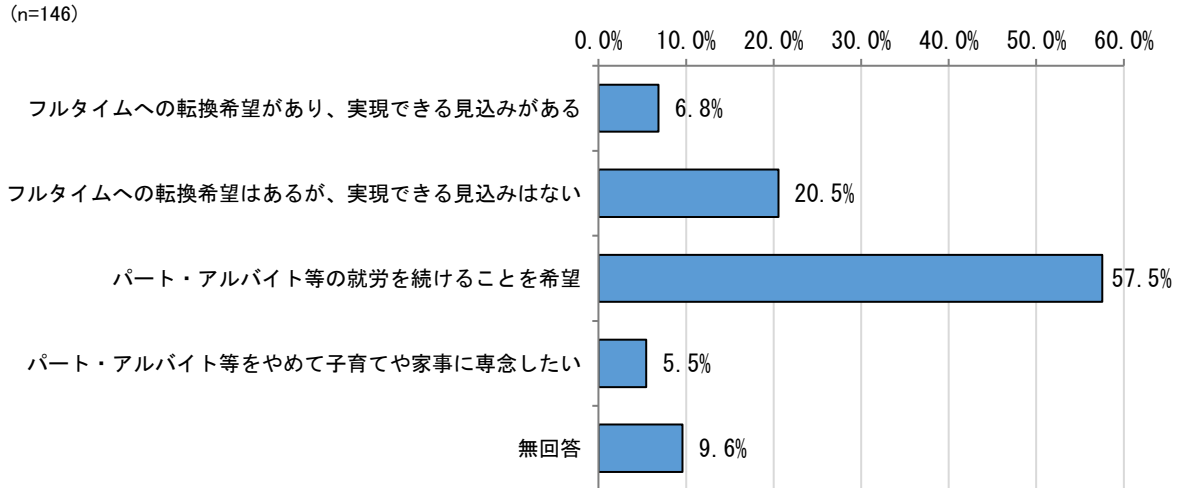
※無回答を除いて集計を行った

問14 【問13の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方
 にかがいます。】フルタイムへの転換希望はありますか。

(1) 母親

フルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」
 57.5%が最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」
 20.5%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」6.8%となっている。

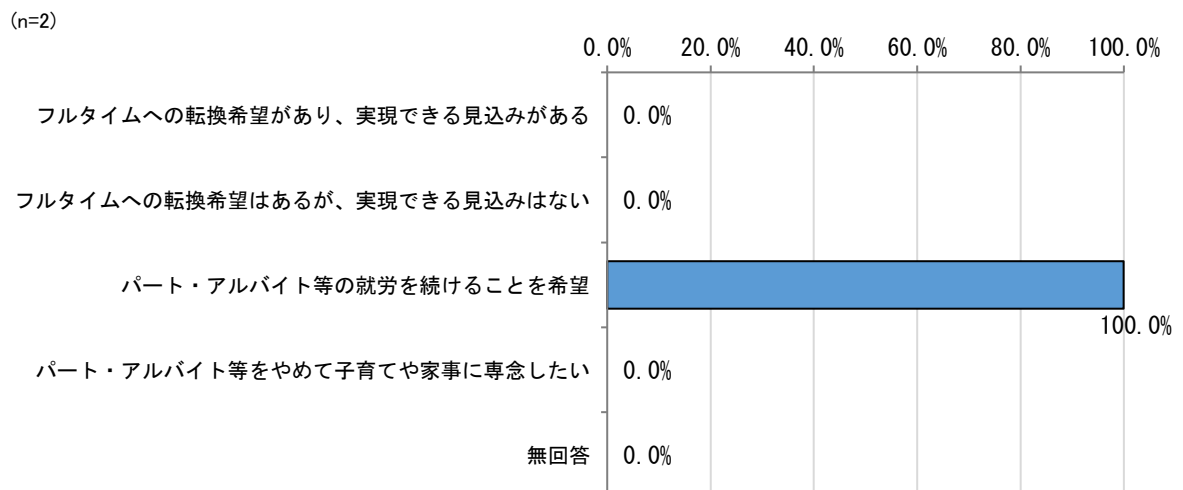
図表 4-11 フルタイムへの転換希望（母親）



(2) 父親

フルタイムへの転換希望については、サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、
 「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が100%となっている。

図表 4-12 フルタイムへの転換希望（父親）

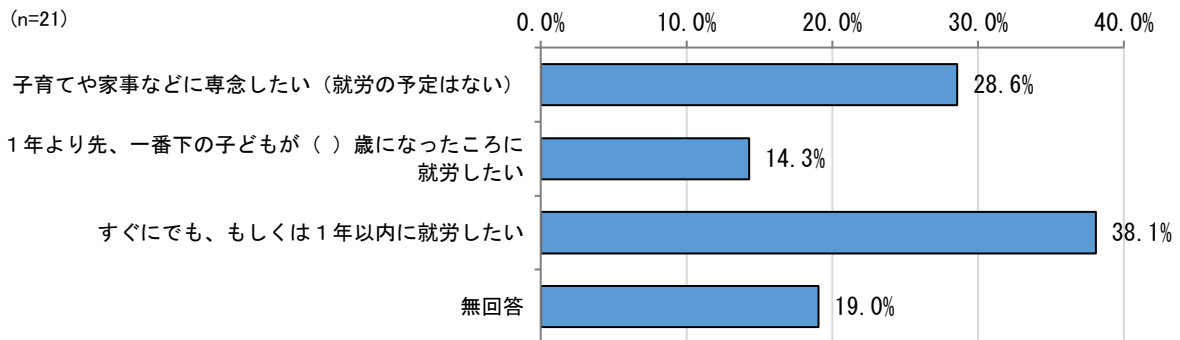


問15 【問13 の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。】
就労したいという希望はありますか。

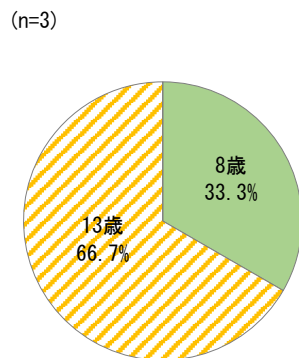
(1) 母親

就労したいという希望がある方は、合わせて 52.4%を占めている。就労希望については「パートタイム、アルバイト等」が 62.5%、就労日数では 3 日/週、4 日/週、就労時間では 4 時間/日、7 時間/日がいずれも最も高くなっている。

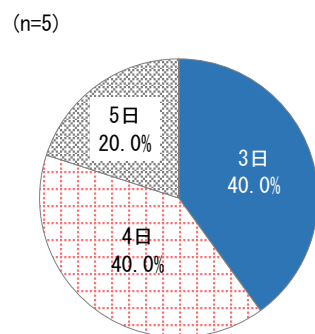
図表 4-13 就労の希望（現在、就労していない方が対象）



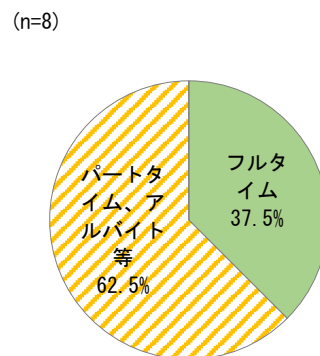
図表 4-14 子どもが何歳になったら就労したいか



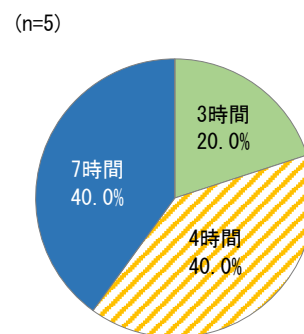
図表 4-16 日数/週



図表 4-15 就労希望



図表 4-17 時間/日

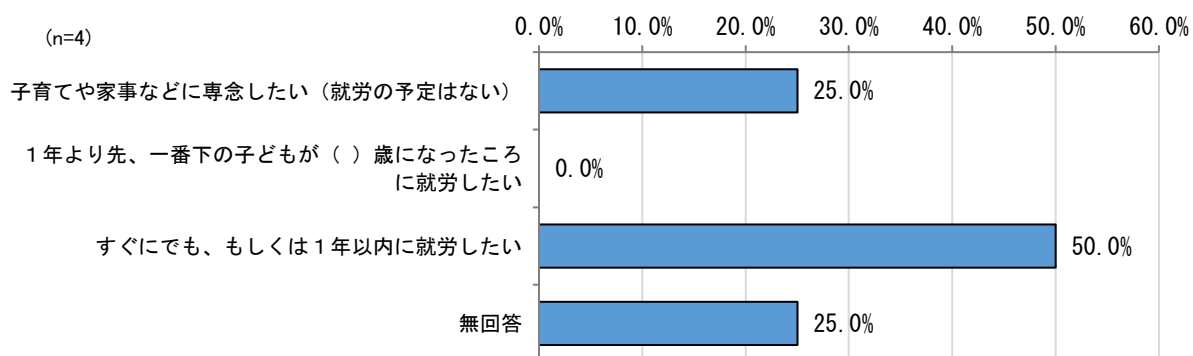


※図表 4-14～4-17 については、無回答を除いて集計を行った

(2)父親

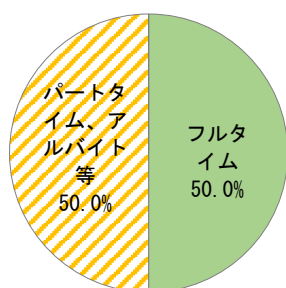
サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」50.0%が最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」25.0%となっている。就労希望については「フルタイム」、「パートタイム、アルバイト等」がいずれも50.0%となっている。就労日数については回答が得られなかった。就労時間については8時間/日となっている。

図表 4-18 就労の希望（現在、就労していない方が対象）



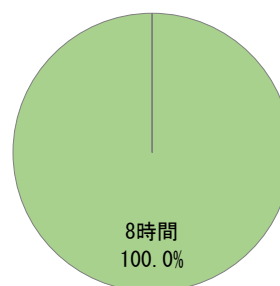
図表 4-19 就労希望

(n=2)



図表 4-20 時間/日

(n=1)



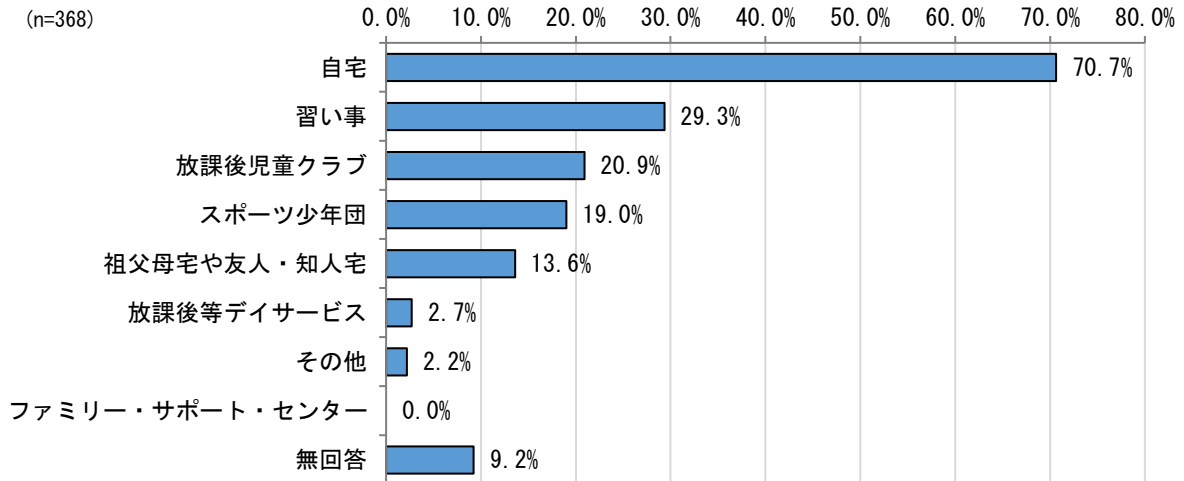
※図表 4-19, 4-20 については、無回答を除いて集計を行った

5. お子さんの放課後の過ごし方について

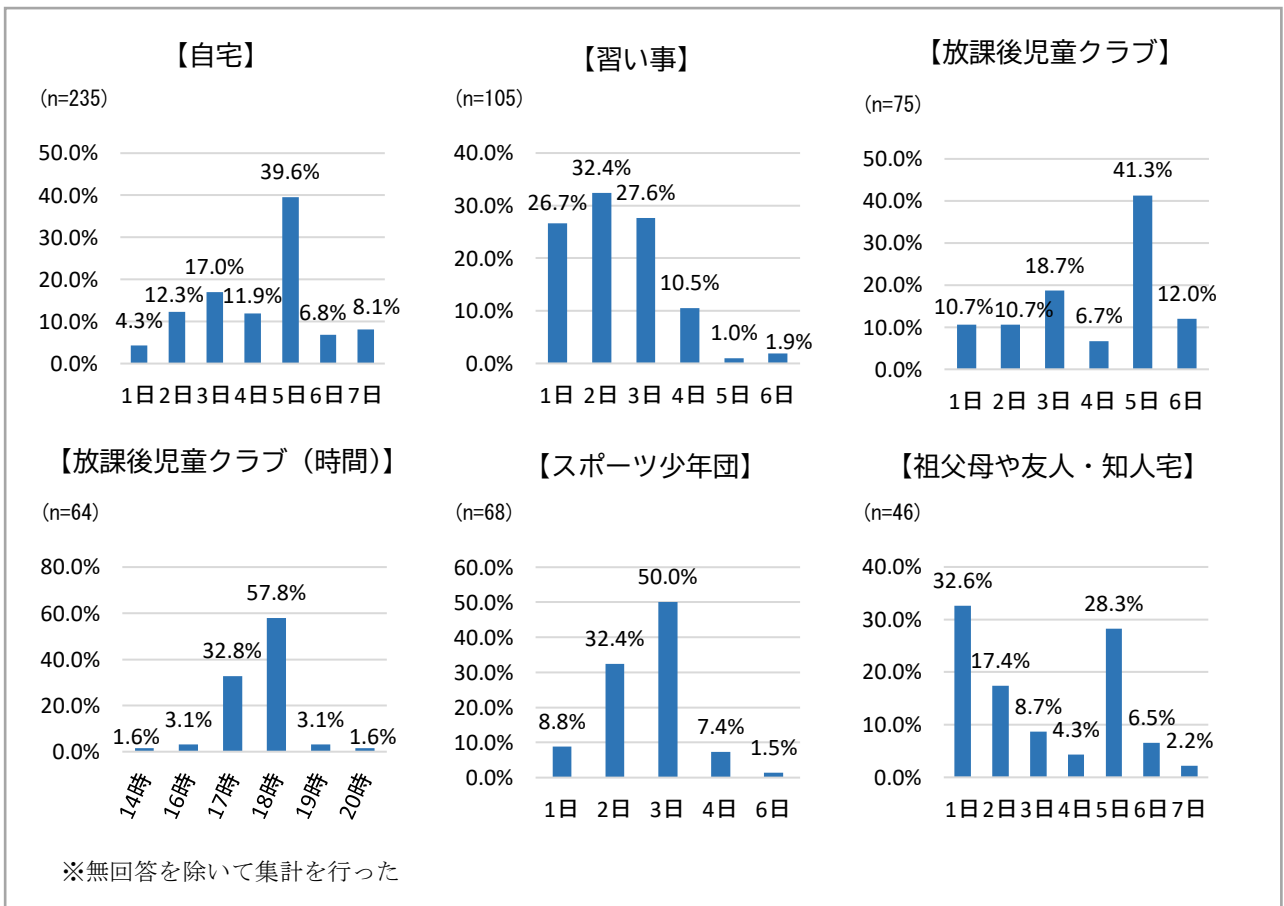
問24 お子さんは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。併せて、それぞれ週当たり日数をご記入ください。(複数回答)

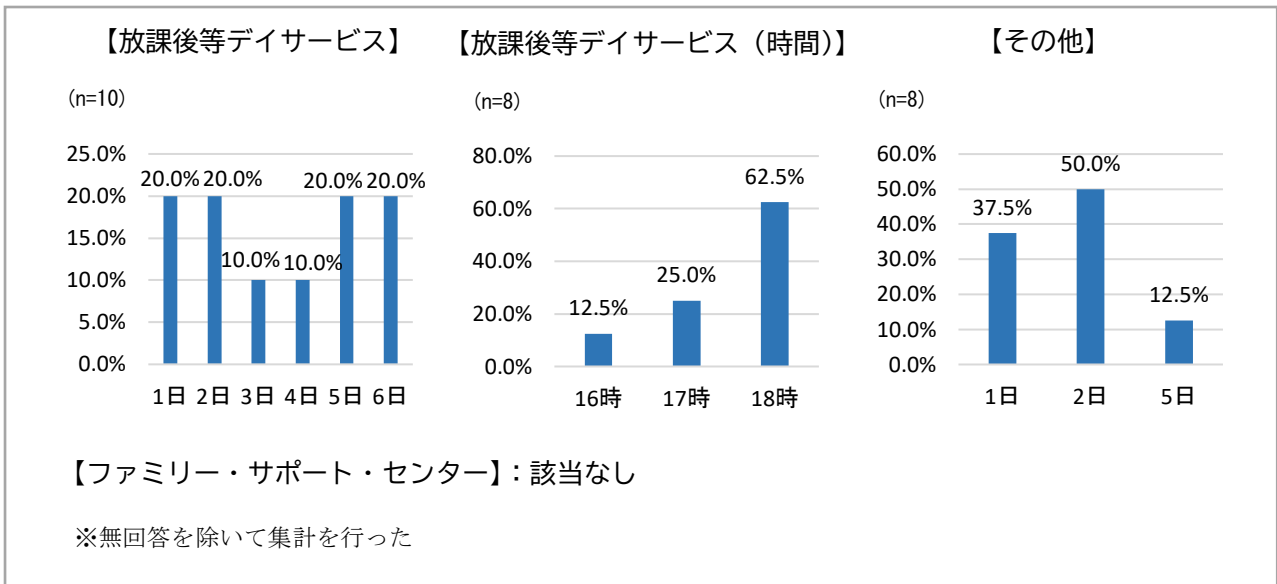
放課後の時間の過ごし方については、「自宅」70.7%が最も高く、次いで「習い事」29.3%、「放課後児童クラブ」20.9%となっている。

図表 5-1 放課後の過ごし方



図表 5-2 週当たり日数及び時間

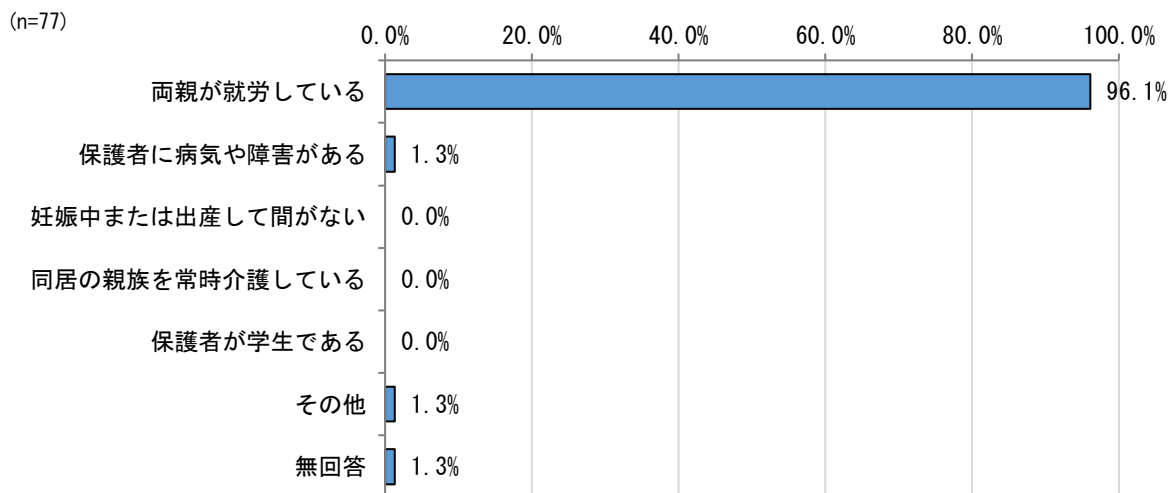




問24-1 【問24で「5. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。】
放課後児童クラブを利用している理由は何ですか。(複数回答)

放課後児童クラブを利用している理由については、「両親が就労している」96.1%が最も高く、次いで「保護者に病気や障害がある」、「その他」がいずれも1.3%となっている。

図表 5-3 放課後児童クラブを利用している理由

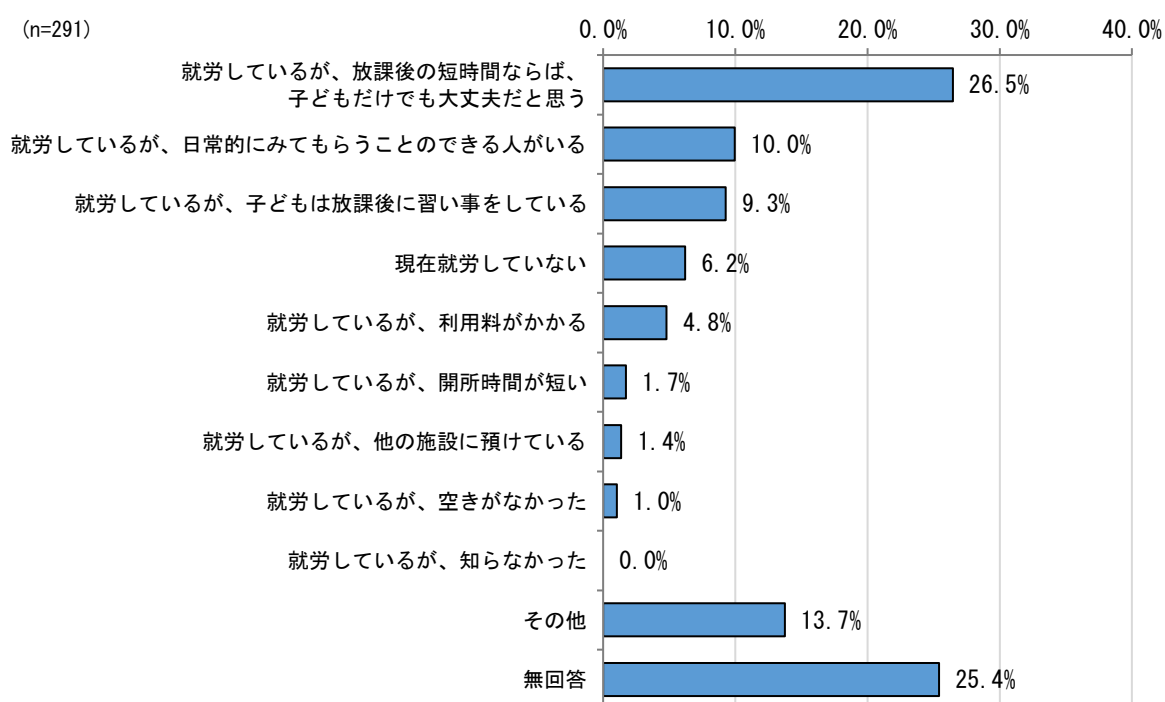


問24-2 【問24で「5. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけなかった方にうかがいます。
放課後児童クラブを利用していない理由は何ですか。

放課後児童クラブを利用していない理由については、「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う」26.5%が最も高く、次いで「その他」13.7%、「就労しているが、日常的にみてもらうことのできる人がいる」10.0%となっている。

「その他」の主な内容としては、一人で留守番ができる（3件）、就労しているが帰宅に間に合う（10件）、子どもが行くことを嫌がる（5件）、自営業などで預ける必要がない（4件）、近くに無いまたは入ることができなかった（5件）、その他のご意見（3件）などとなっている。

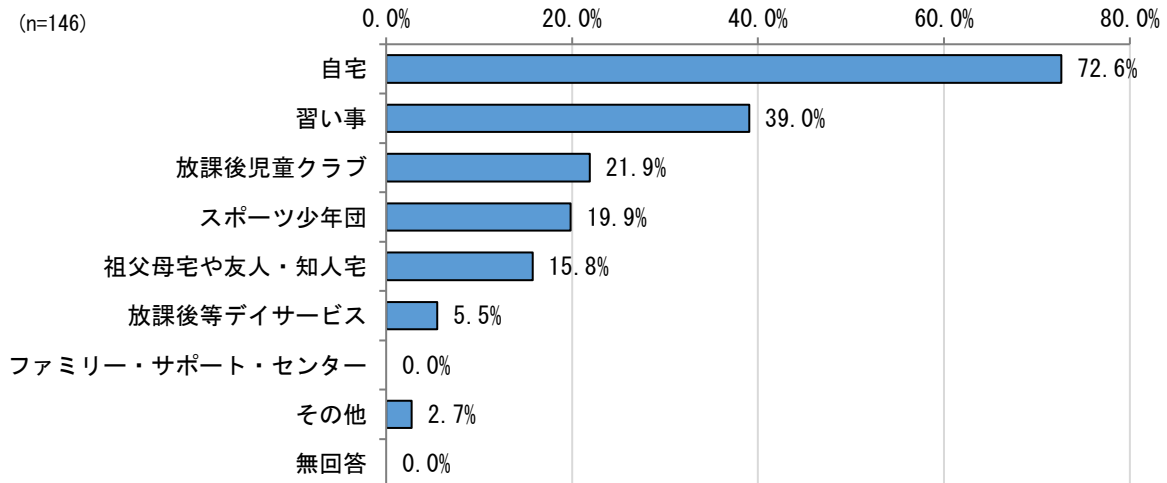
図表 5-4 放課後児童クラブを利用していない理由



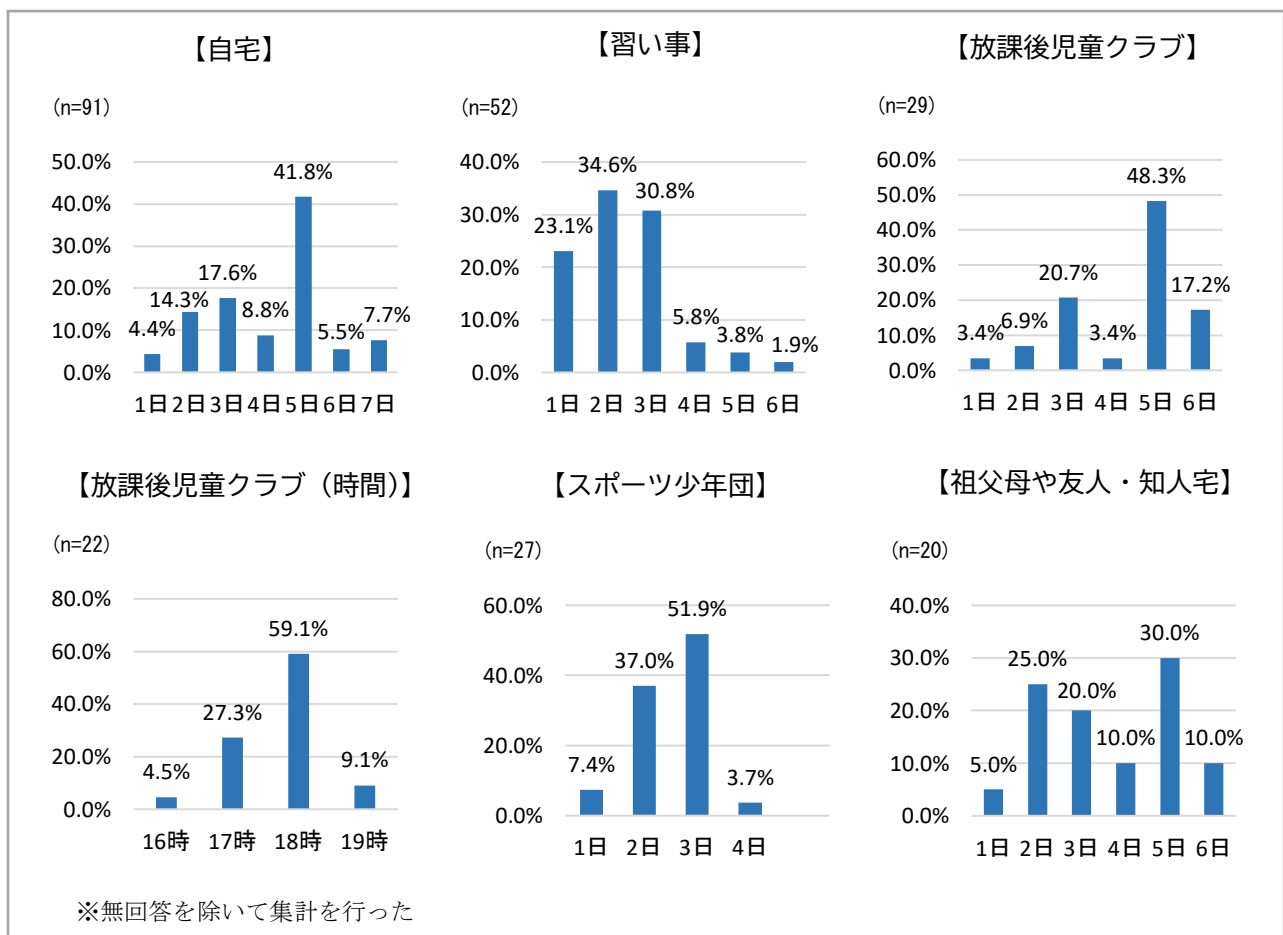
問25 お子さんが小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(複数回答)

小学校高学年になった際の放課後の過ごし方については、「自宅」72.6%が最も高く、次いで「習い事」39.0%、「放課後児童クラブ」21.9%となっている。

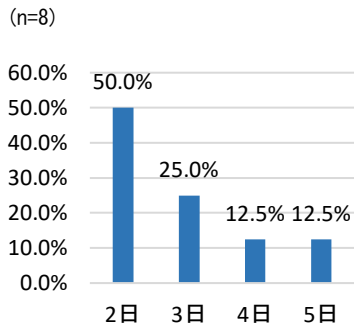
図表 5-5 小学校高学年になった時の放課後の過ごし方



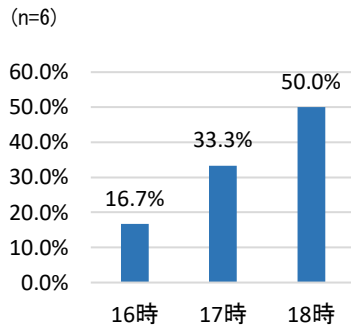
図表 5-6 希望する週当たり日数及び時間



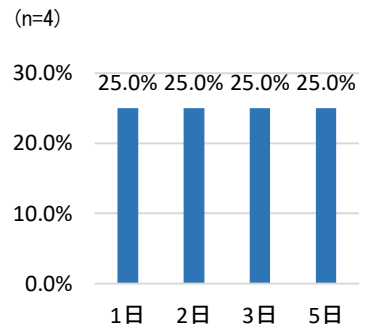
【放課後等デイサービス】



【放課後等デイサービス（日数）】



【その他】



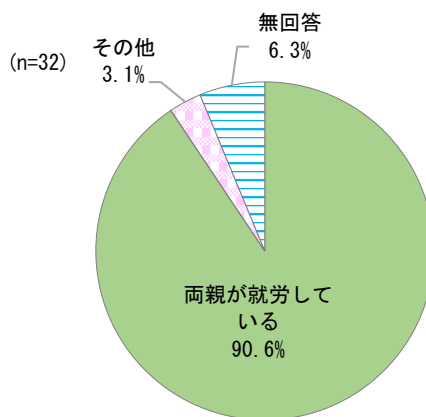
【ファミリー・サポート・センター】：該当なし

※無回答を除いて集計を行った

問25-1 【問25で「5. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。
放課後児童クラブの利用を希望する理由は何ですか。

放課後児童クラブの利用を希望する理由については、「両親が就労している」90.6%が最も高く、次いで「その他」3.1%となっている。

図表 5-7 放課後児童クラブの利用を希望する理由

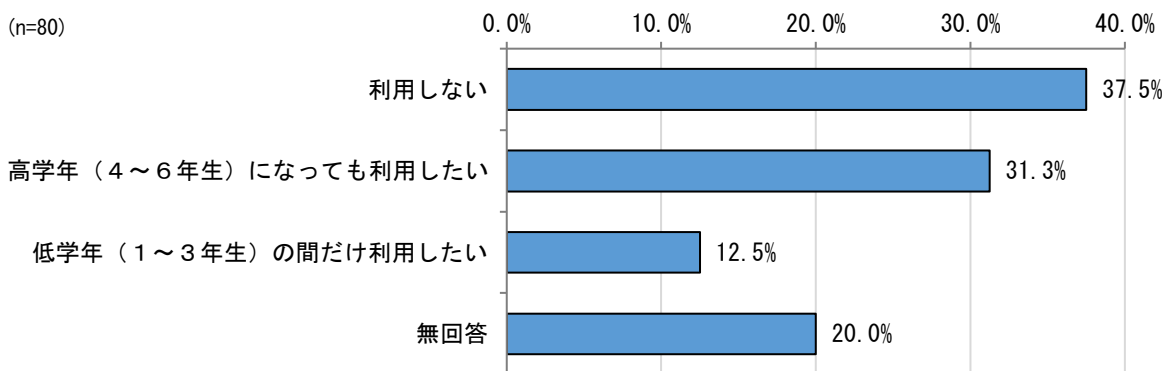


問26 【問24または問25で「5. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。】お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(当てはまるものすべてに○)

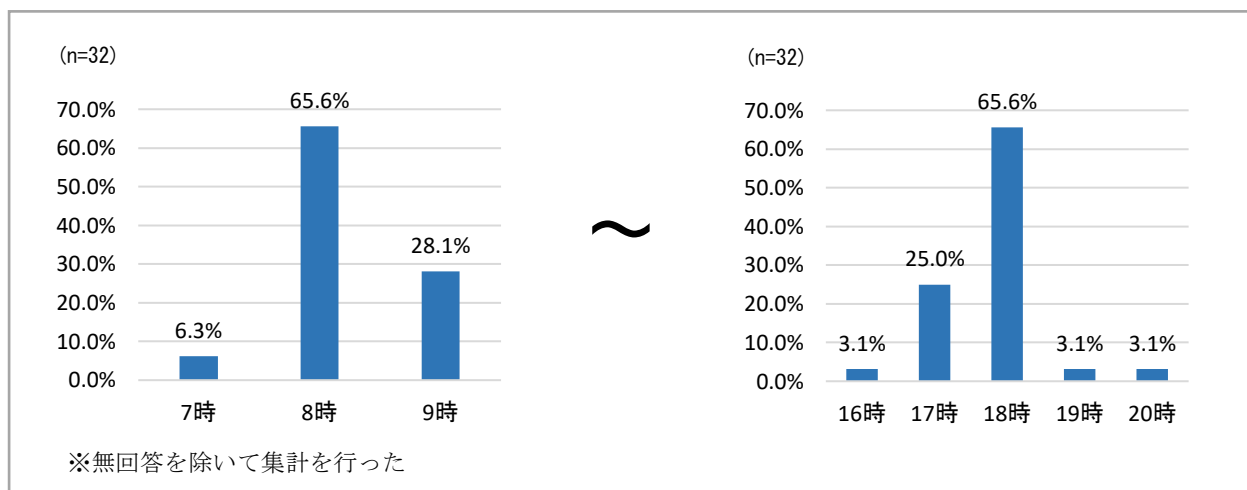
(1) 土曜日

土曜日の放課後児童クラブの利用意向としては「利用しない」37.5%が最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」31.3%、「低学年（1～3年生）の間だけ利用したい」12.5%となっている。利用したい時間帯は8時台から18時台が最多となっている。

図表 5-8 「放課後児童クラブ」の利用希望【土曜日】



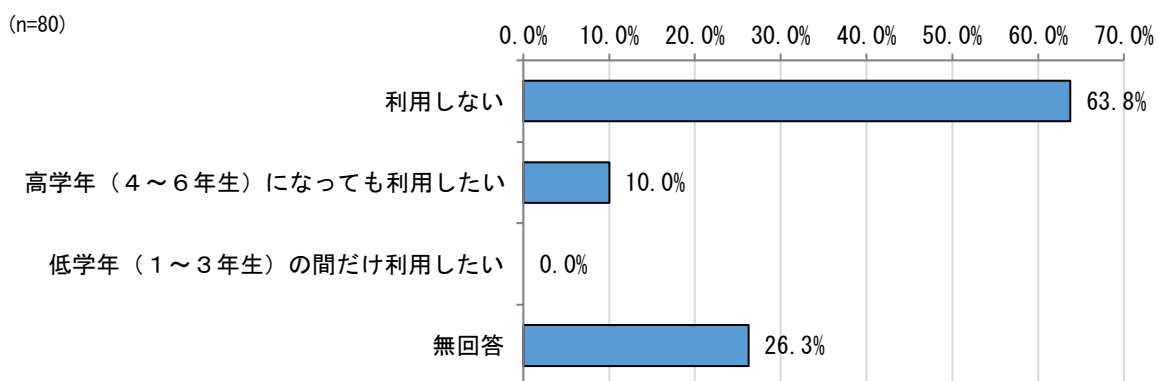
図表 5-9 利用したい時間帯【土曜日】



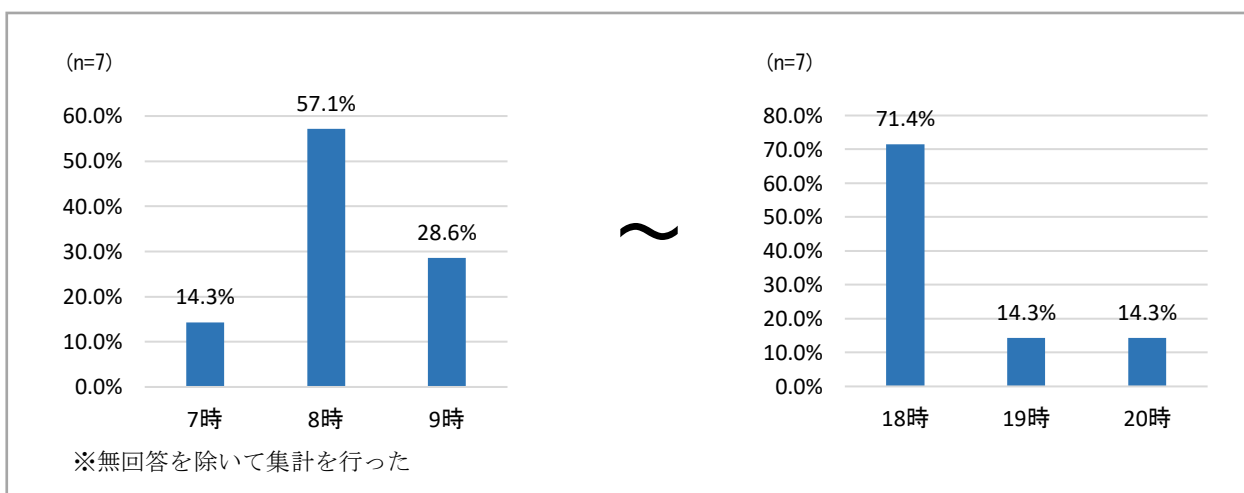
(2)日曜日・祝日

日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向としては「利用しない」63.8%が最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」10.0%となっている。利用したい時間帯は8時台から18時台が最多となっている。

図表 5-10 「放課後児童クラブ」の利用希望【日曜日・祝日】



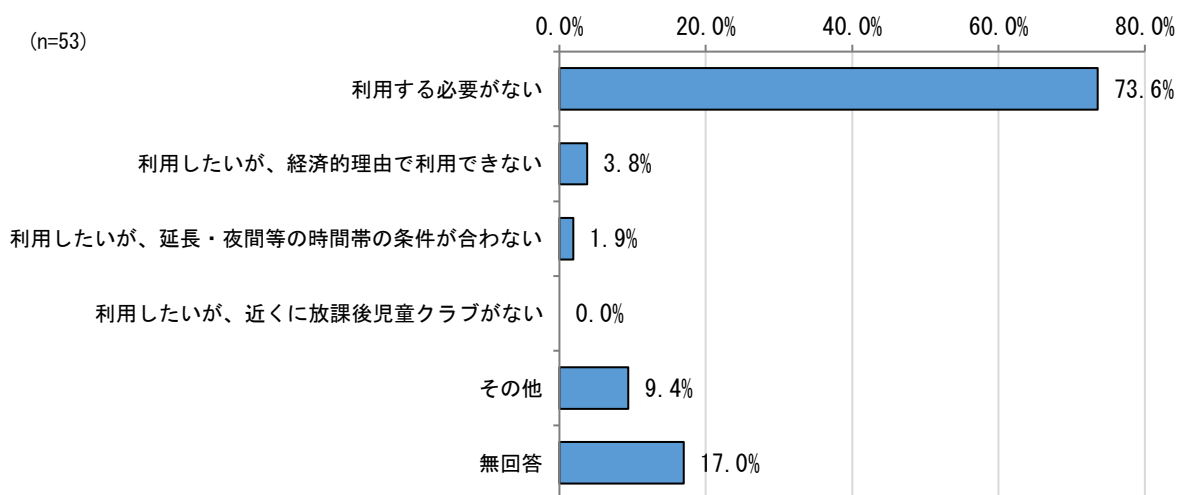
図表 5-11 利用したい時間帯【日曜日・祝日】



**問26-1 【問26(1)もしくは(2)で「3. 利用しない」に○をつけた方にうかがいます。】
理由は何ですか。(複数回答)**

放課後児童クラブを土曜日、日曜日・祝日に利用しない理由については、「利用する必要がない」73.6%が最も高く、次いで「その他」9.4%、「利用したいが、経済的理由で利用できない」3.8%となっている。

図表 5-12 「放課後児童クラブ」を土曜日、日曜日・祝日に利用しない理由

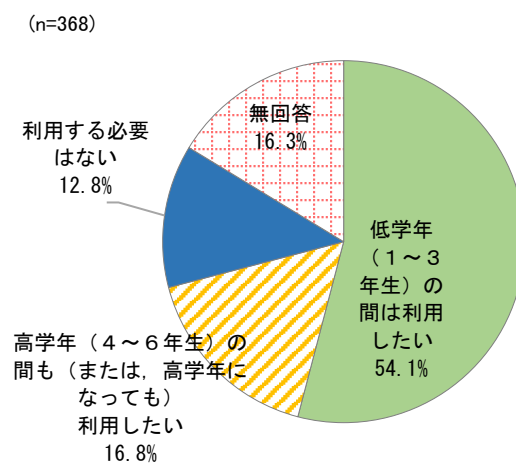


問27 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇期間中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

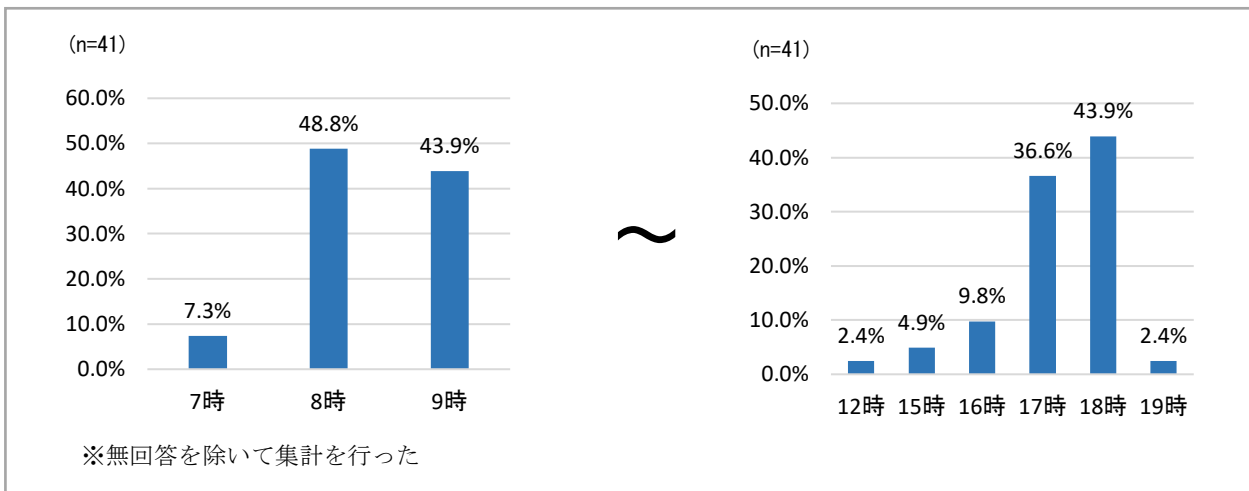
長期期間中の放課後児童クラブの利用意向については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」54.1%が最も高く、次いで「高学年（4～6年生）の間も（または、高学年になっても）利用したい」16.8%、「利用する必要はない」12.8%となっている。

利用したい時間については、「低学年の間の利用」、「高学年になっても利用」とともに8時から18時が最多となっている。

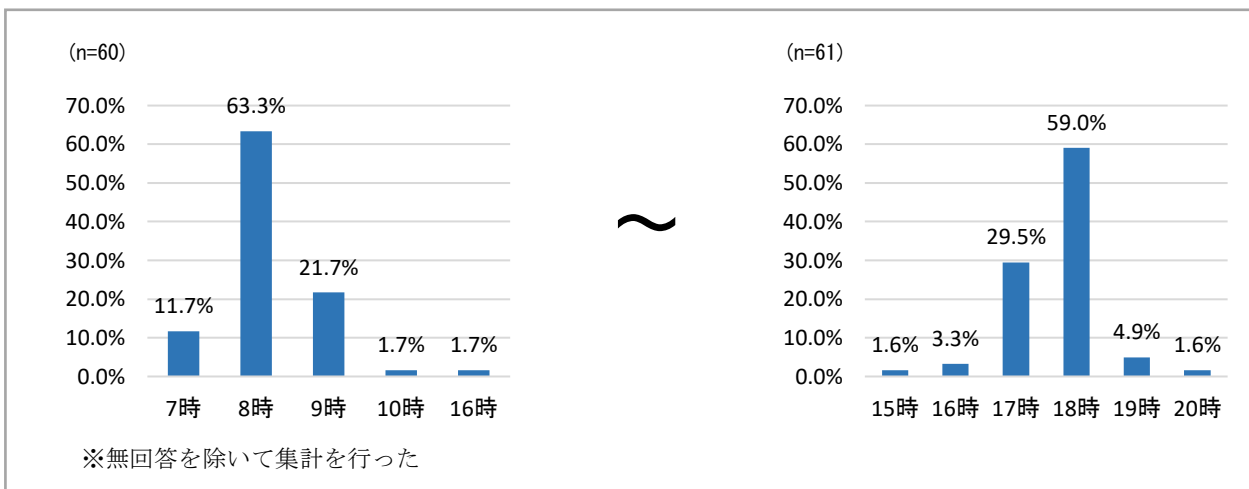
図表 5-13 放課後児童クラブの利用希望の有無（長期休暇中）



図表 5-14 利用したい時間帯【低学年】



図表 5-15 利用したい時間帯【高学年】

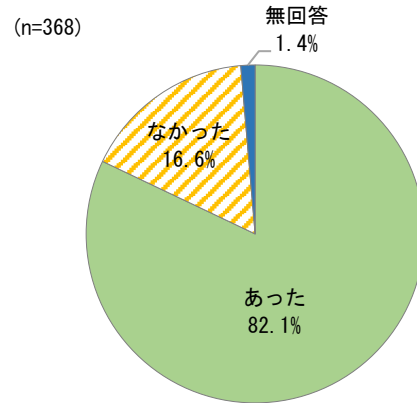


6. お子さんの病気の際の対応について

問28 この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園・保育園・小学校等に登園・登校等ができなかったことはありますか。

病気やケガで登園・登校等ができなかったことがあるかについては、「あった」82.1%、「なかった」16.6%となっている。

図表 6-1 病気等で登校ができなかったことの有無

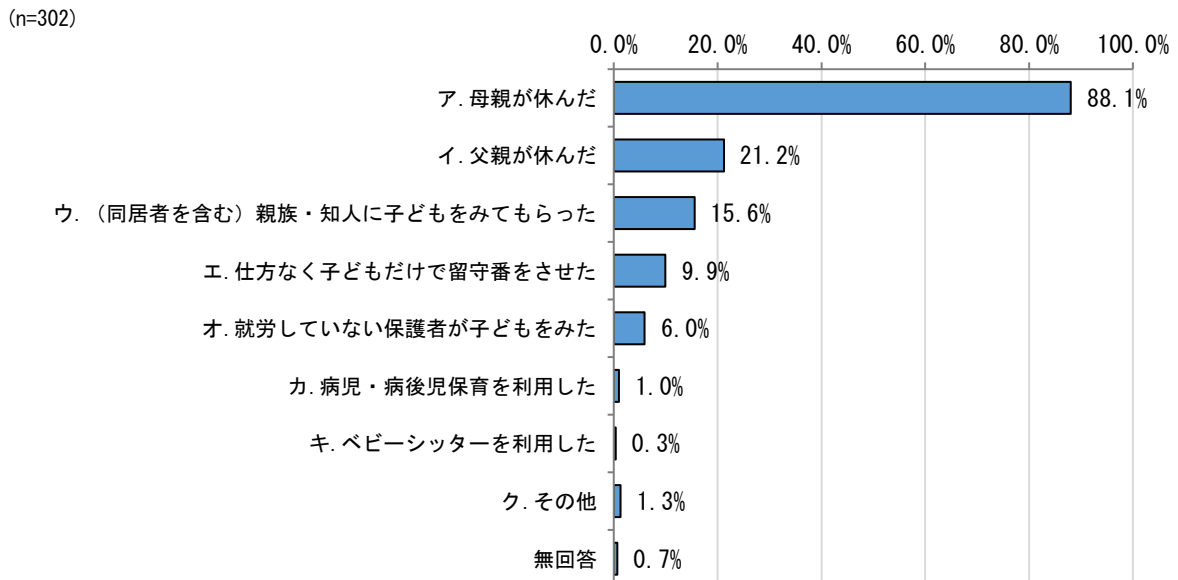


問28-1 【問28で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。】

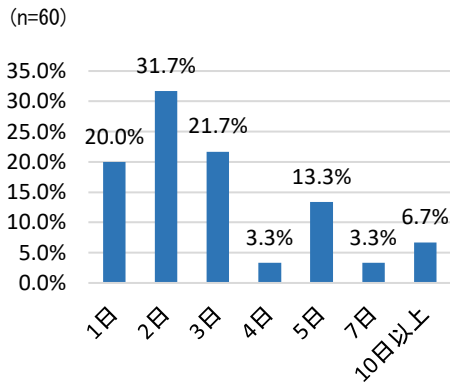
この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(複数回答)

この1年間に行った対処方法については、「母親が休んだ」88.1%が最も高く、次いで「父親が休んだ」21.2%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」15.6%となっている。

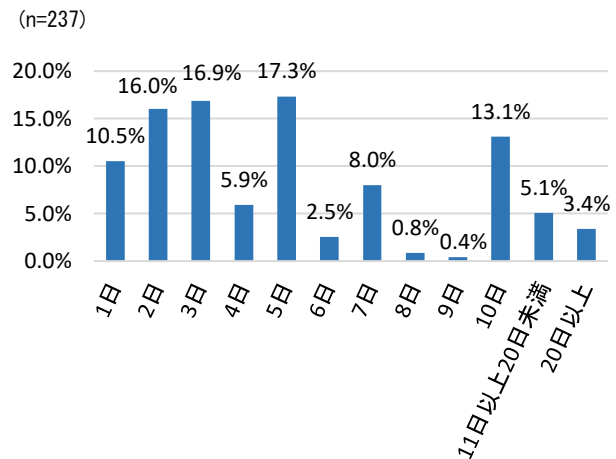
図表 6-2 この1年間に行った対処法



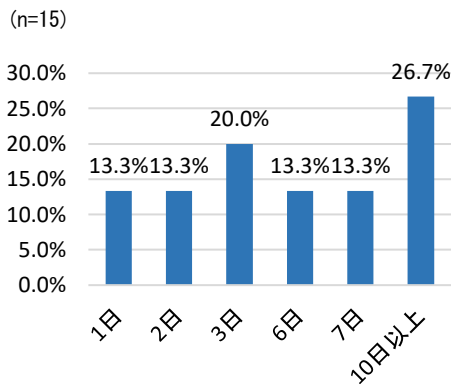
図表 6-3 ア. 「父親が休んだ」日数/年



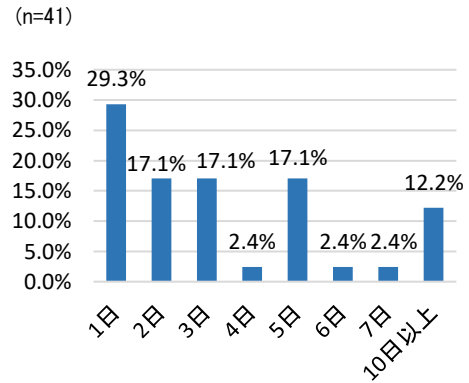
図表 6-4 イ. 「母親が休んだ」日数/年



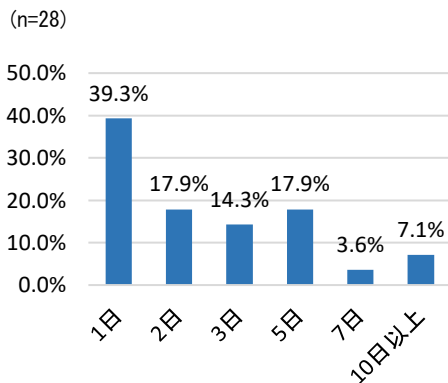
図表 6-5 ウ. 「就労していない保護者が子どもをみた」日数/年



図表 6-6 エ. 「親族・知人に子どもをみてもらった」日数/年



図表 6-7 キ. 「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」日数/年



オ. 【「病児・病後児保育を利用した」(n=1)】：1日(100.0%)

カ. 【「ベビーシッターを利用した」(n=1)】：日数の回答なし

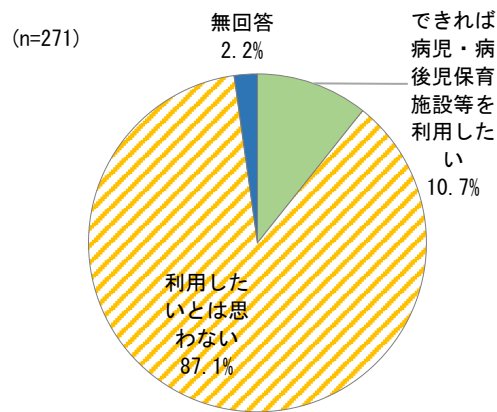
ク. 【「その他」(n=2)】：2日(50.0%)、7日(50.0%)

※無回答を除いて集計を行った

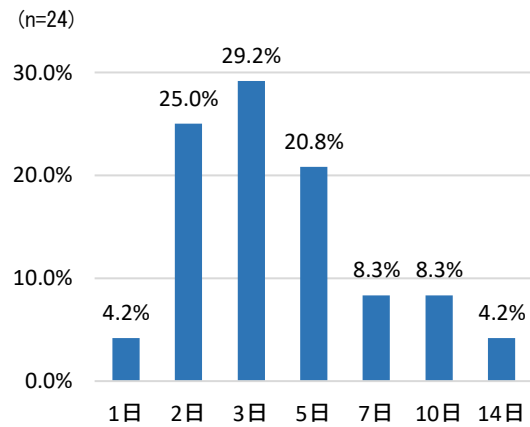
問28-2 【問28-1で「ア.」「イ.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 その際、「できれば病児・病後児保育を利用したい」と思われましたか。

病児・病後児保育の利用意向については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」10.7%、「利用したいとは思わない」87.1%となっている。利用日数については、「3日」29.2%が最も高くなっている。

図表 6-9 病児・病後児保育の利用意向



図表 6-10 病児・病後児保育の利用日数

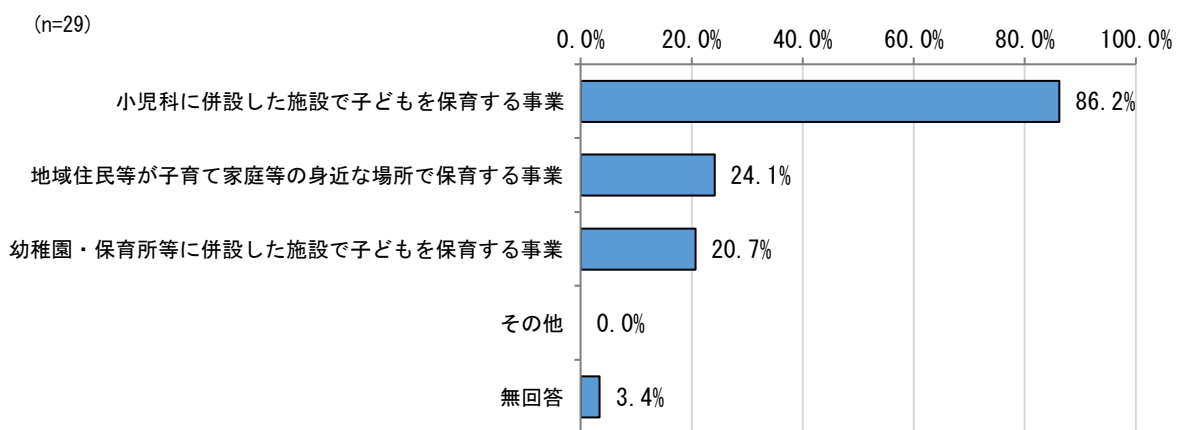


※無回答を除いて集計を行った

問28-3 【問28-2で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。】上記の目的で子どもを預ける場合、いずれの事業形態が望ましいと思われ
 ますか。(複数回答)

病児・病後児保育施設を利用する際、望ましいと思われる事業形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」86.2%が最も高く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」24.1%、「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」20.7%となっている。

図表 6-11 病児・病後児保育施設等の事業形態

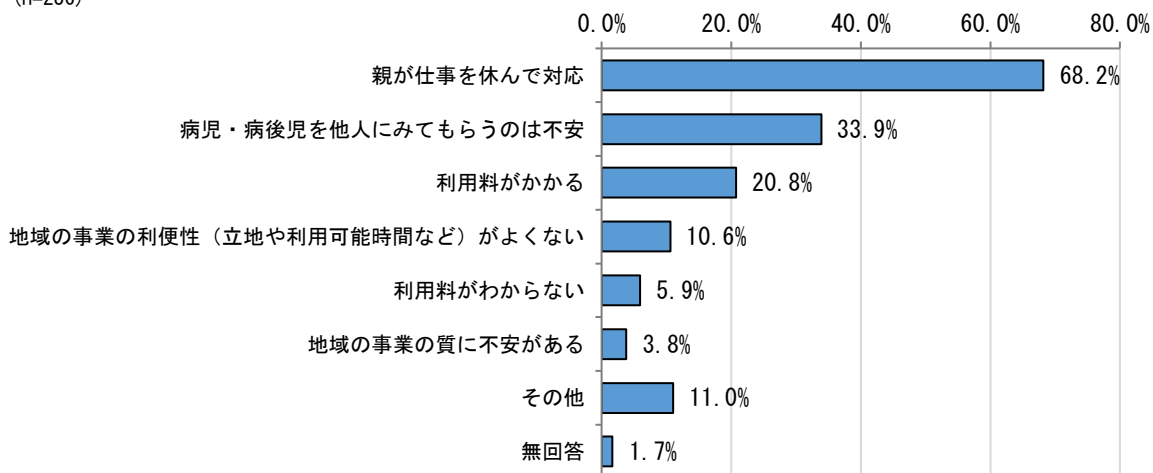


問28-4 【問28-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか。(複数回答)

病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由については、「親が仕事を休んで対応」68.2%が最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」33.9%、「利用料がかかる」20.8%となっている。

図表 6-12 「利用したいと思わない」理由

(n=236)

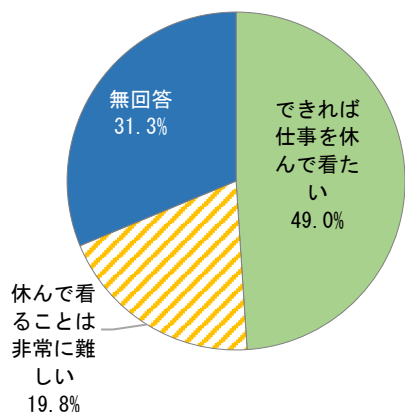


問28-5 【問28-1で「ウ.」~「ク.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たい」と思われましたか。当てはまるもの1つに○をつけ、「ウ.」~「ク.」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても()内に数字で記入してください。

父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たいと思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」49.0%が最も高く、次いで「休んで看することは非常に難しい」19.8%となっている。また、仕事を休んで見たかった日数については、「5日」が最も高くなっている。

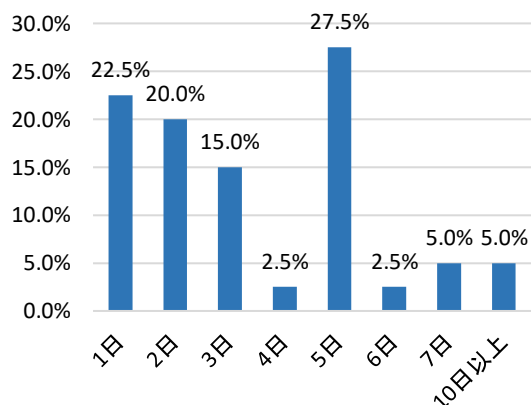
図表 6-13 「仕事を休んで看たい」の意向

(n=96)



図表 6-14 「仕事を休んで看たい」日数

(n=40)



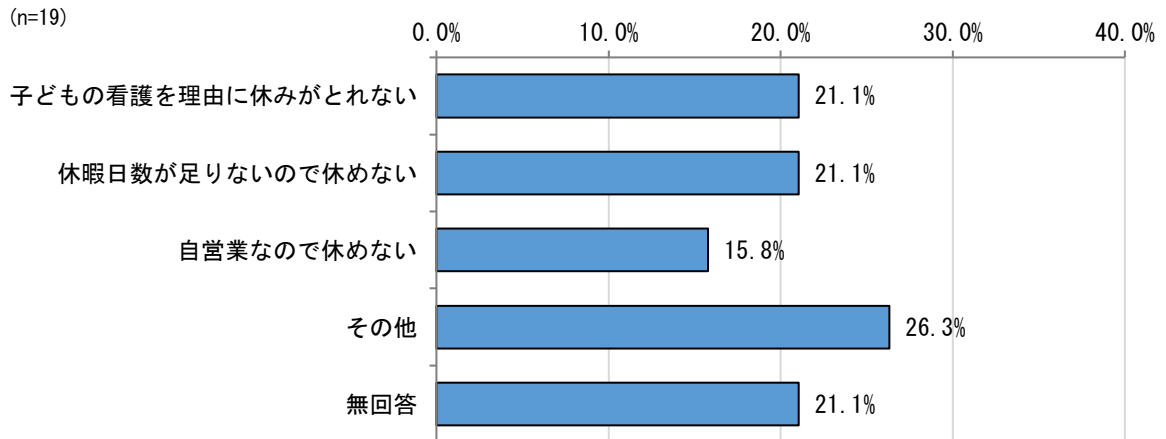
※無回答を除いて集計を行った

問28-6 【問28-5で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。】
そう思われる理由は何ですか。(複数回答)

休んで見ることは非常に難しいと思う理由については、「その他」26.3%が最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」、「休暇日数が足りないので休めない」がいずれも21.1%、「自営業なので休めない」15.8%となっている。

「その他」の主な理由としては、仕事が忙しい、職場の人手不足などがあげられた。

図表 6-15 「休んで見ることは非常に難しい」方の理由

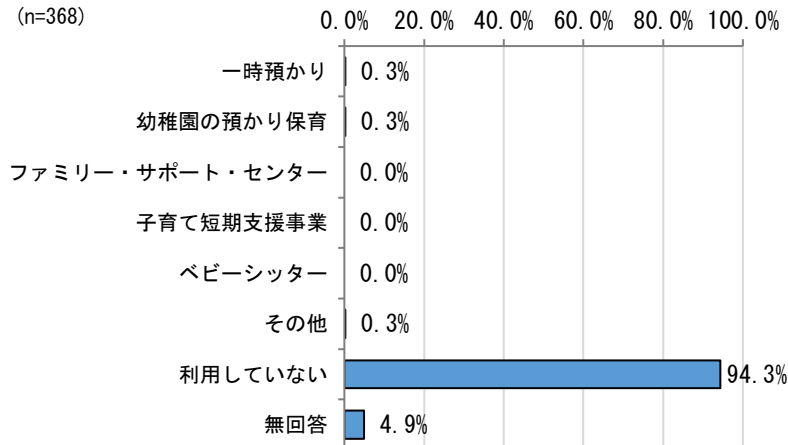


7. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問29 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまるものすべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も()内に数字でご記入ください。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用している事業については、「利用していない」94.3%が最も高くなっている。

図表 7-1 不定期に利用している事業及び利用の有無



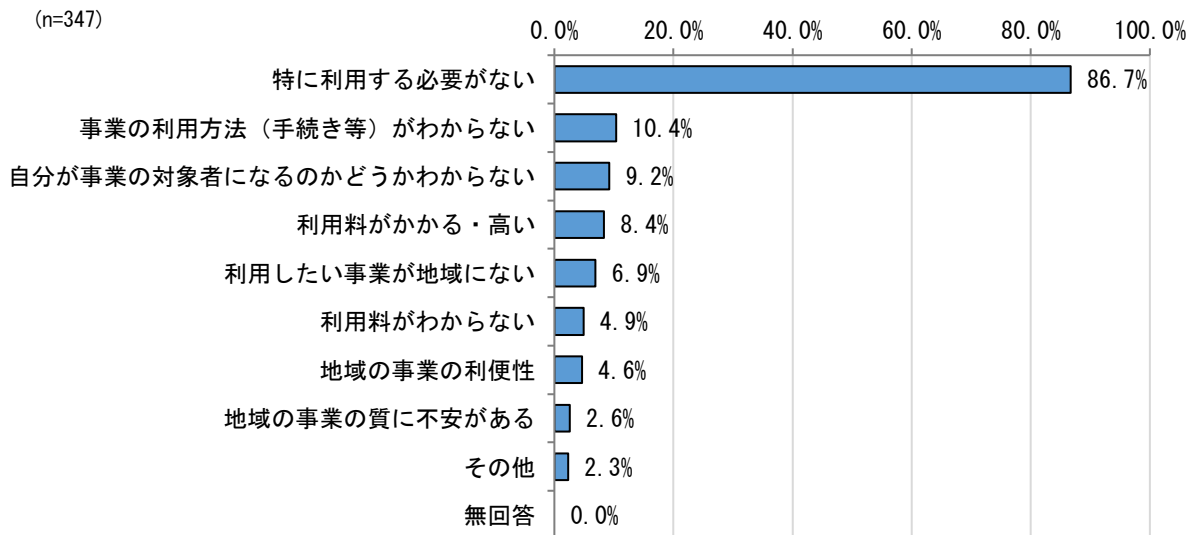
図表 7-2 不定期に利用している事業の利用日数

【一時預かり】：回答者なし
 【幼稚園の預かり保育】：回答者なし
 【ファミリー・サポート・センター】：利用者なし
 【子育て短期支援事業】：利用者なし
 【ベビーシッター】：利用者なし
 【その他(n=1)】：5日(100.0%)

問29-1 【問29で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。】
 現在利用していない理由は何ですか。(複数回答)

現在利用していない理由については、「特に利用する必要がない」86.7%が最も高く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」10.4%、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」9.2%となっている。

図表 7-3 現在、事業を「利用していない」理由

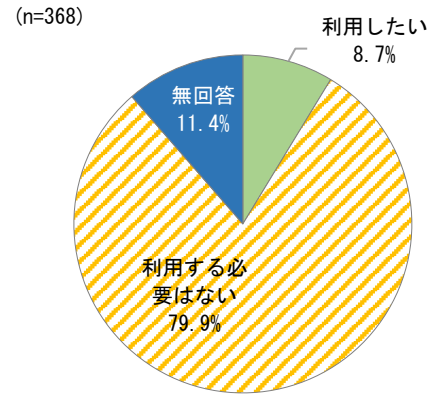


問30 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問29のような事業を利用する必要があると思いますか。当てはまるものに○をつけ、「1. 利用したい」に○をつけた方は、必要な日数を()内に数字でお答えください。

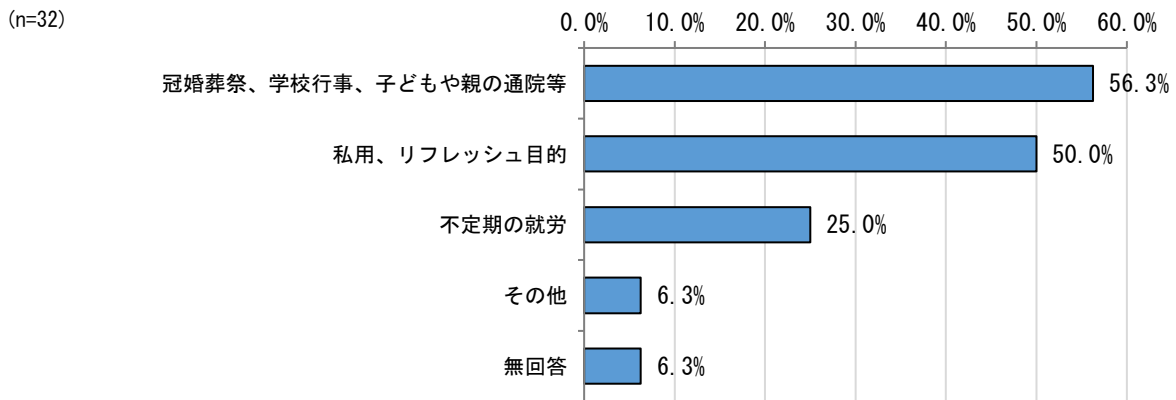
不定期に教育・保育事業の利用意向があるかについては、「利用したい」8.7%、「利用する必要はない」79.9%となっている。

利用理由としては、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」56.3%が最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」50.0%、「不定期の就労」25.0%となっている。利用日数の合計については、全体の48.1%が「10日」と回答している。（図表7-6）

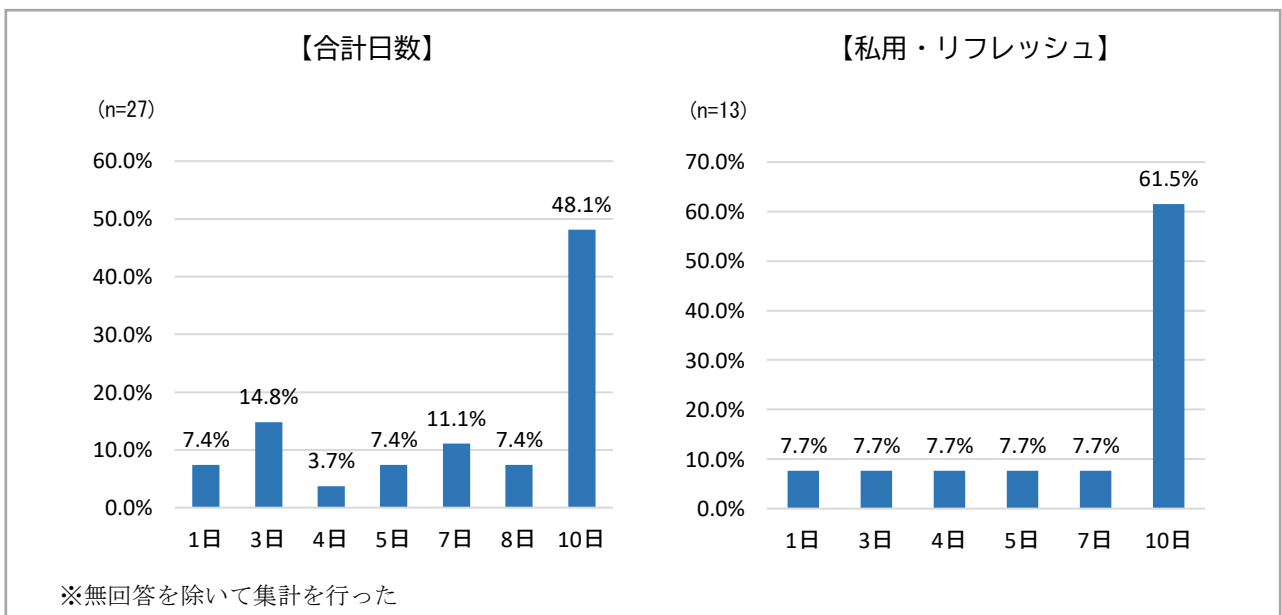
図表 7-4 事業の利用意向



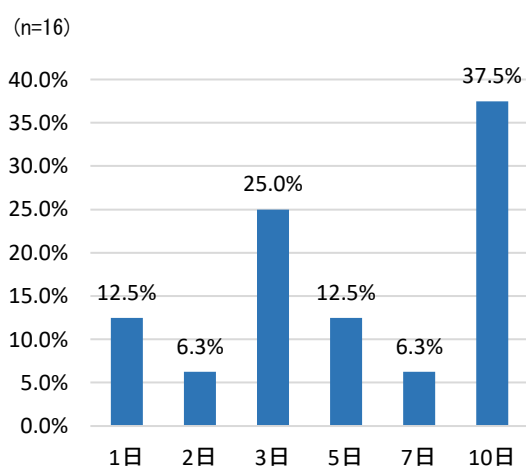
図表 7-5 事業の利用理由の内訳



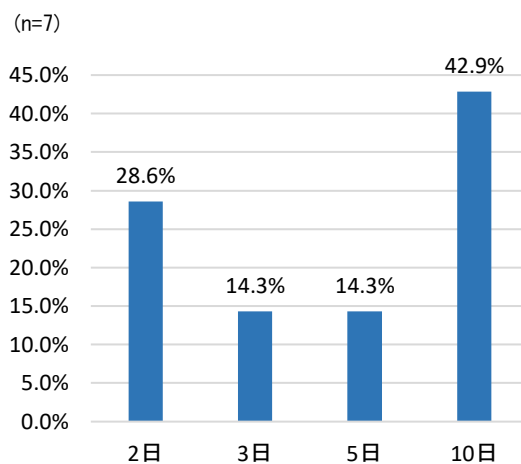
図表 7-6 事業を「利用したい」場合の必要な利用日数



【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院】



【不定期の就労】



【「その他」(n=2)】：2日 (50.0%)、10日 (50.0%)

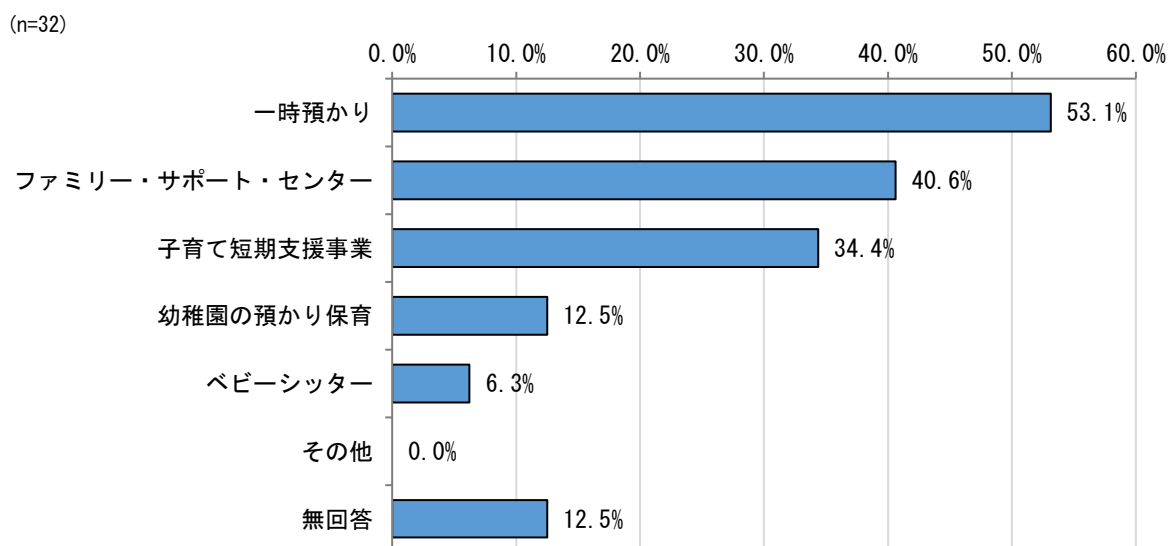
※無回答を除いて集計を行った

問30-1 【問30で「1.利用したい」に○をつけた方にうかがいます。】

問30の目的でお子さんを預ける場合、いずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(当てはまるものすべてに○)

お子さんを預ける場合、望ましいと思われる事業形態については、「一時預かり」53.1%が最も高く、次いで「ファミリー・サポート・センター」40.6%、「子育て短期支援事業」34.4%となっている。

図表 7-7 子どもを預ける際、望ましい事業形態

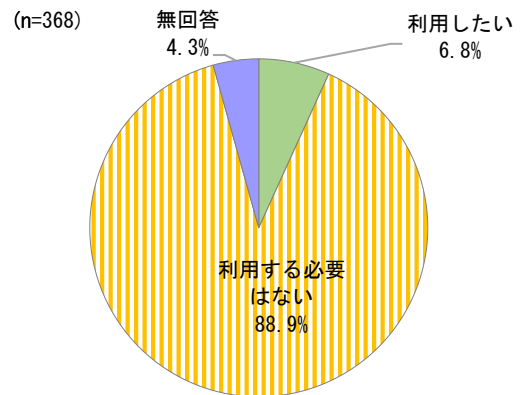


問31 お子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。

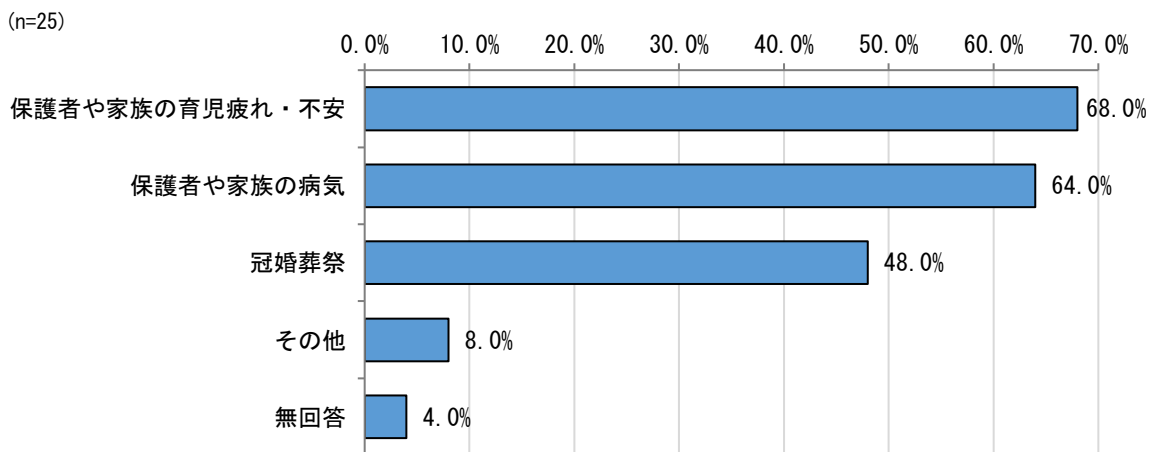
利用意向については、「利用したい」6.8%、「利用する必要はない」88.9%となっている。

利用理由としては、「保護者や家族の育児疲れ・不安」68.0%が最も高く、次いで「保護者や家族の病気」64.0%、「冠婚葬祭」48.0%となっている。利用日数の合計については、「10日」が33.3%を占めている。(図表7-10)

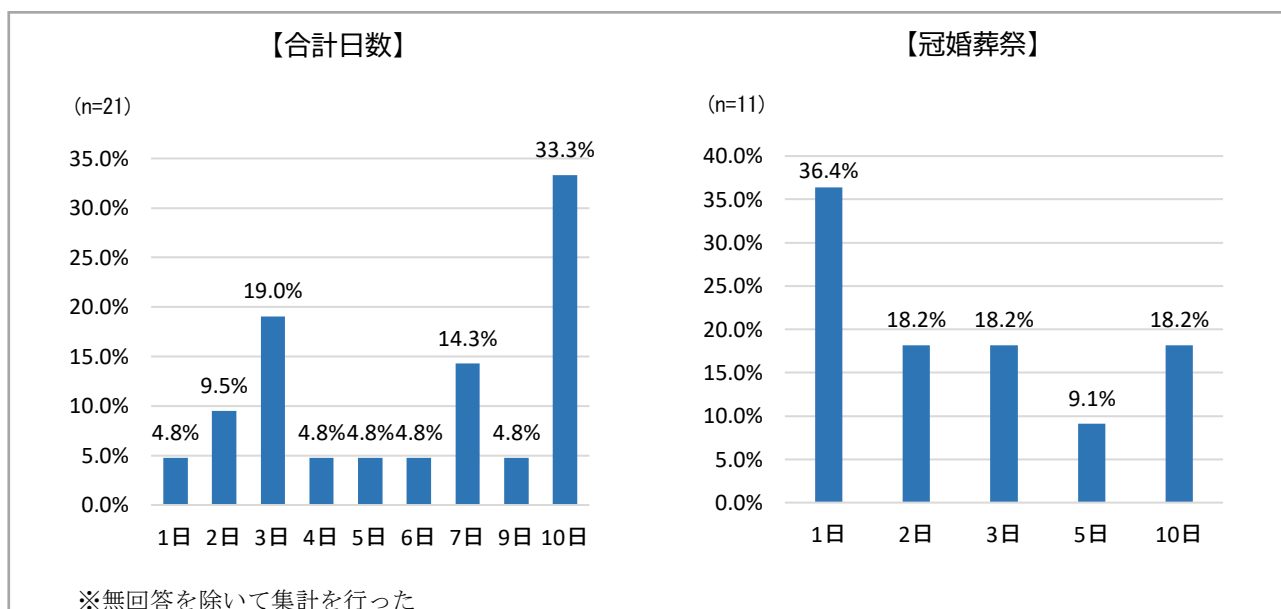
図表7-8 泊りがけで家族以外に預ける必要の有無



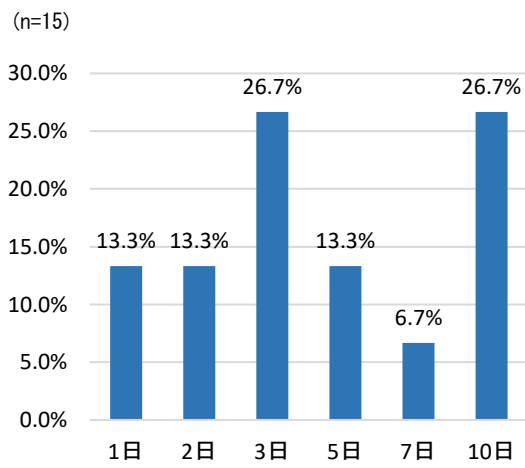
図表7-9 事業の利用理由



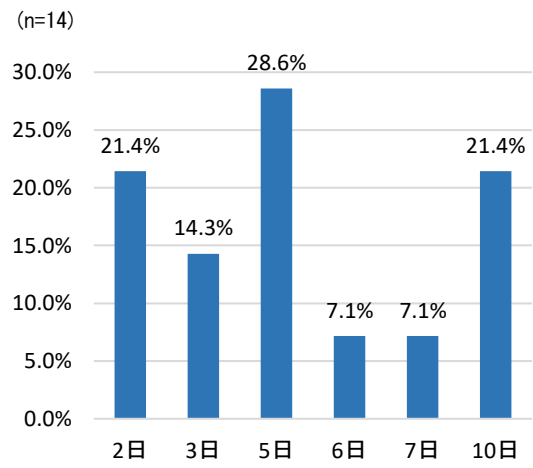
図表7-10 必要日数



【保護者や家族の育児疲れ・不安】



【保護者や家族の病気】



【その他】：回答なし

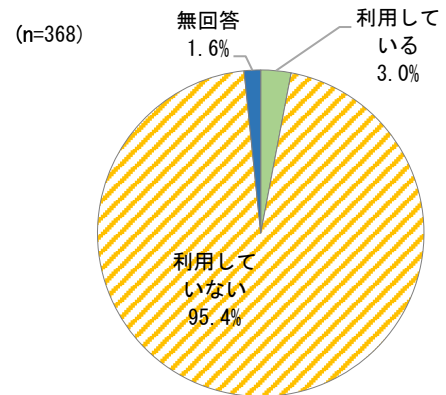
※無回答を除いて集計を行った

8. 地域の子育て支援事業の利用状況について

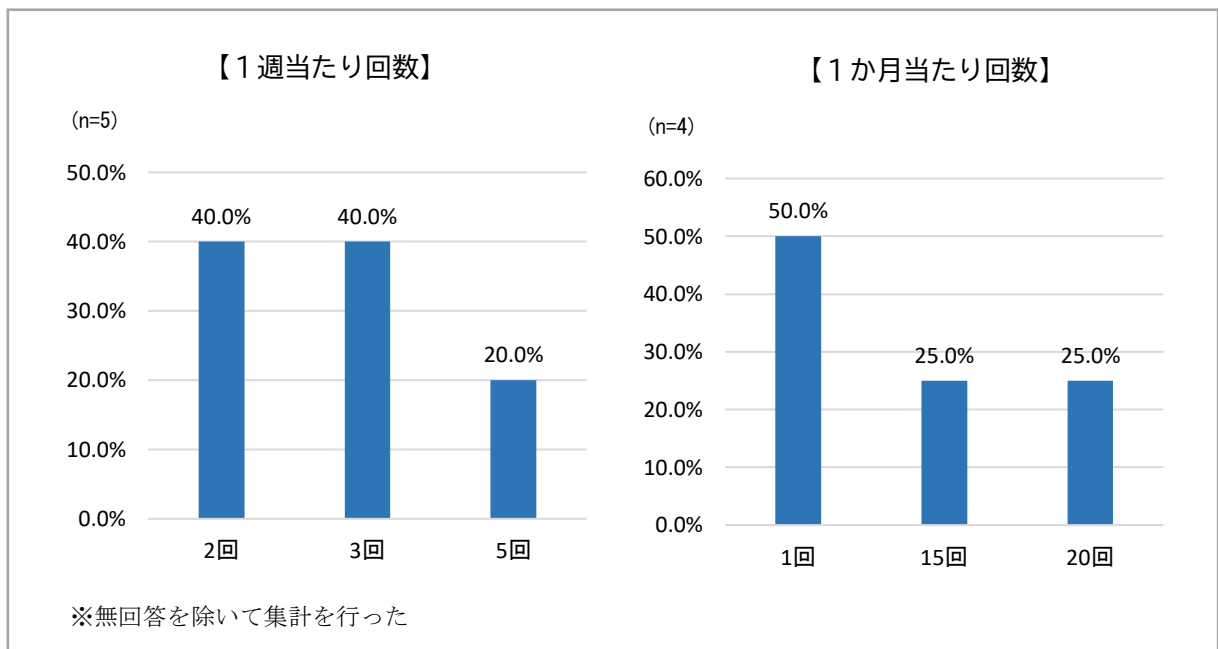
問32 お子さんは、現在、地域子育て支援センター(別紙「施設・サービス一覧」参照)を利用していますか。利用している場合は、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でお答えください。

地域子育て支援センターの利用状況については、「利用している」3.0%、「利用していない」95.4%となっている。利用している頻度については、1週当たりでは2回と3回、1か月当たりでは1回が最多となっている。

図表 8-1 地域子育て支援センターの利用状況



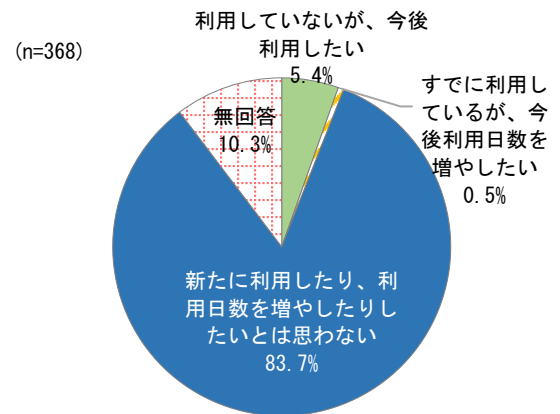
図表 8-2 「利用している」頻度



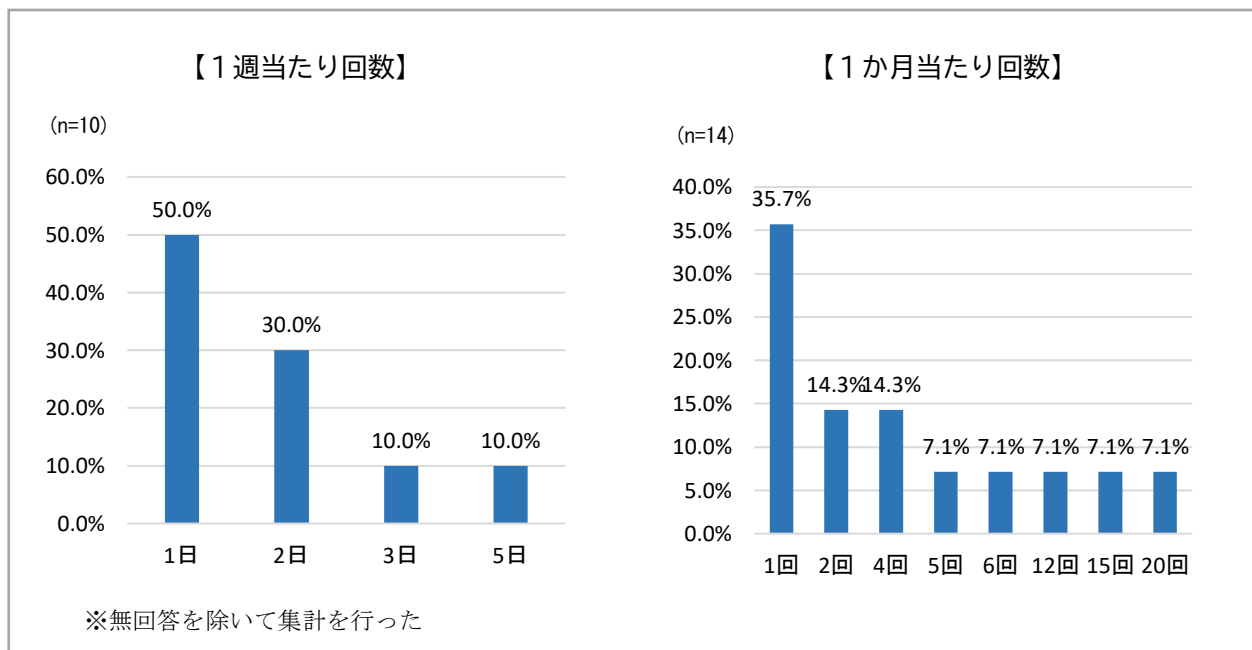
問33 問32のような地域子育て支援センターについて、現在は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思いますか。
また、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でお答えください。

地域子育て支援センターの今後の利用希望については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」83.7%が最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」5.4%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」0.5%となっている。現在利用していない方の利用したい日数は週当たり「1日」、月当たり「1回」が最多となっている。

図表 8-3 利用意向



図表 8-4 「利用していない」方の利用意向(回数)



図表 8-5 「利用している」方の利用意向(回数)

【1週当たり回数(n=1)】：4日(100.0%)
【1か月当たり回数】：回答なし

問34 下記の①～⑰のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものがありますか。また今後、利用したいと思いますか。(サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、1つに○)

市で実施している 16 事業の中で、「認知度」、「利用状況」、「利用意向」の上位 5 事業は下記のとおり。

【認知度】

認知度については、「病児保育事業」82.1%が最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」76.1%、「延長保育事業」71.5%となっている。一方、最も認知度が低いのは「子育て短期支援事業（ショートステイ事業、トワイライトステイ事業）」の20.9%となっている。

【利用状況】

利用状況については、「放課後児童クラブ（学童保育）」51.1%が最も高く、次いで「延長保育事業」38.9%、「指宿保健センター・山川文化ホール・なのはな館の施設・遊具開放」22.3%となっている。一方、利用状況が最も低いのは「子育て短期支援事業（ショートステイ事業、トワイライトステイ事業）」0.8%となっている。

【利用意向】

利用意向については、「放課後児童クラブ（学童保育）」14.7%が最も高く、次いで「指宿保健センター・山川文化ホール・なのはな館の施設・遊具開放」9.5%、「家庭児童相談」7.1%となっている。一方、利用意向が最も低いのは「こんにちは赤ちゃん事業」の0.8%となっている。

図表 8-6 事業の認知度、利用状況、利用意向の上位 5 事業

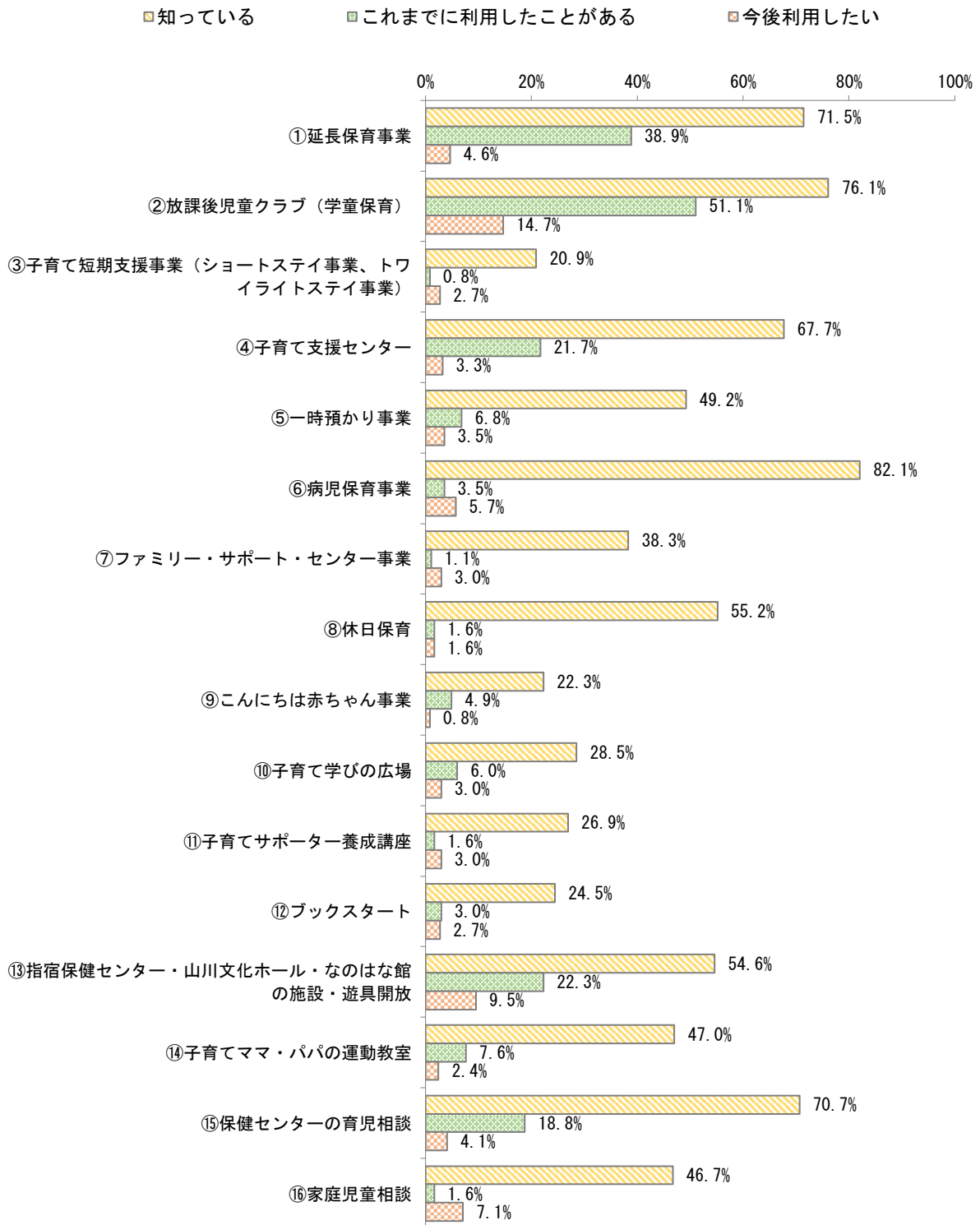
【認知度】		
順位	事業名	割合
1	病児保育事業	82.1%
2	放課後児童クラブ(学童保育)	76.1%
3	延長保育事業	71.5%
4	保健センターの育児相談	70.7%
5	子育て支援センター	67.7%

【利用状況】		
順位	事業名	割合
1	放課後児童クラブ(学童保育)	51.1%
2	延長保育事業	38.9%
3	指宿保健センター・山川文化ホール・なのはな館の施設・遊具開放	22.3%
4	子育て支援センター	21.7%
5	保健センターの育児相談	18.8%

【利用意向】		
順位	事業名	割合
1	放課後児童クラブ(学童保育)	14.7%
2	指宿保健センター・山川文化ホール・なのはな館の施設・遊具開放	9.5%
3	家庭児童相談	7.1%
4	病児保育事業	5.7%
5	延長保育事業	4.6%

図表 8-7 事業別の認知度、利用状況、利用意向

(n=368)



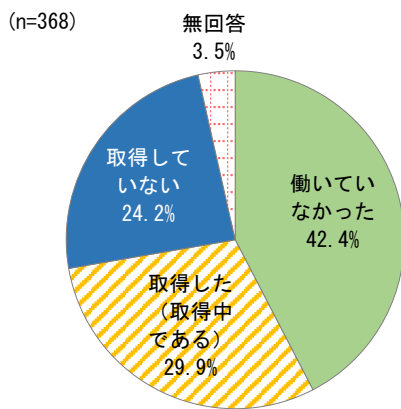
9. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問35 末子のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。(母親、父親ごとに1つに○)

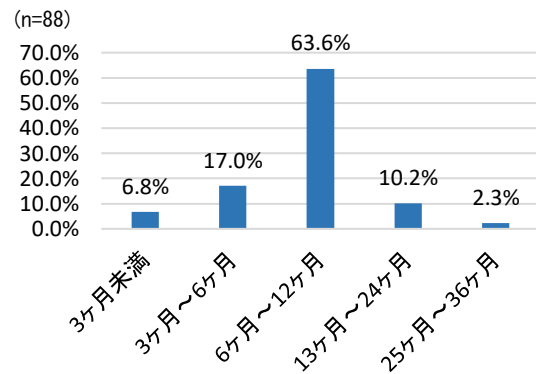
(1) 母親

育児休業の取得状況については、「働いていなかった」42.4%が最も高く、次いで「取得した(取得中である)」29.9%、「取得していない」24.2%となっている。取得期間については、6ヶ月～12ヶ月が6割を占め、1年を超える取得は12.5%にとどまっている。また、取得していない理由については、「仕事が忙しかった」24.7%が最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」18.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」16.9%となっている。

図表 9-1 育児休業取得の有無

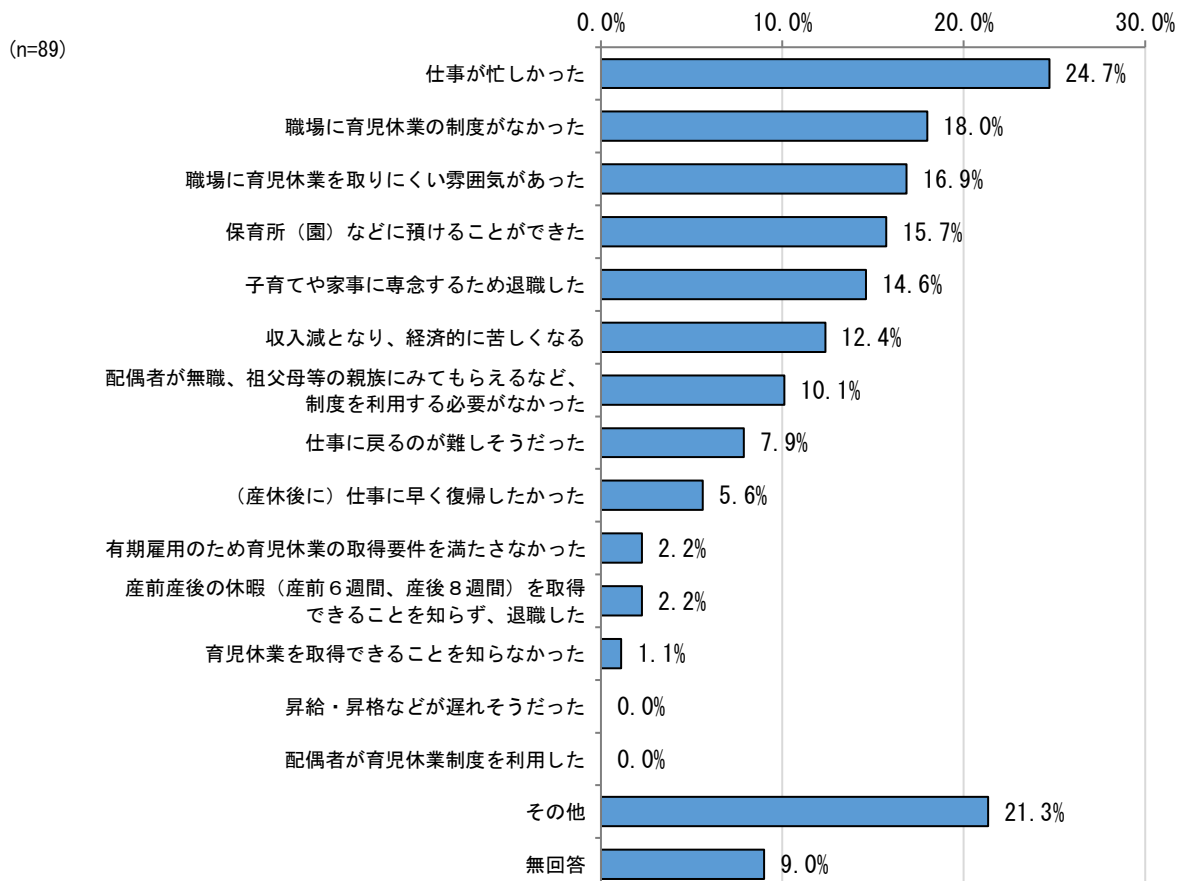


図表 9-2 育児休業の取得期間(月)



※無回答を除いて集計を行った

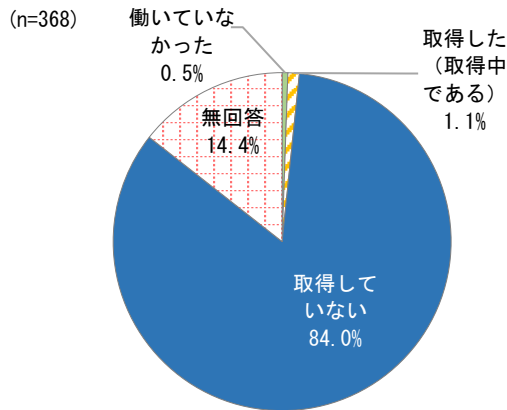
図表 9-3 取得していない理由



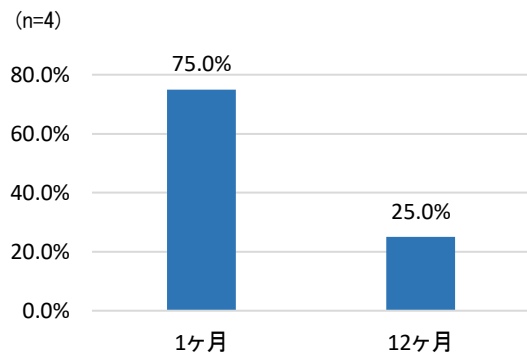
(2) 父親

育児休業の取得状況については、「取得していない」84.0%が最も高く、次いで「取得した（取得中である）」1.1%、「働いていなかった」0.5%となっている。取得期間については、サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、1ヶ月が7割を占めている。また、取得していない理由としては、「仕事が忙しかった」34.6%が最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」22.0%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」21.7%となっている。

図表 9-4 育児休業取得の有無

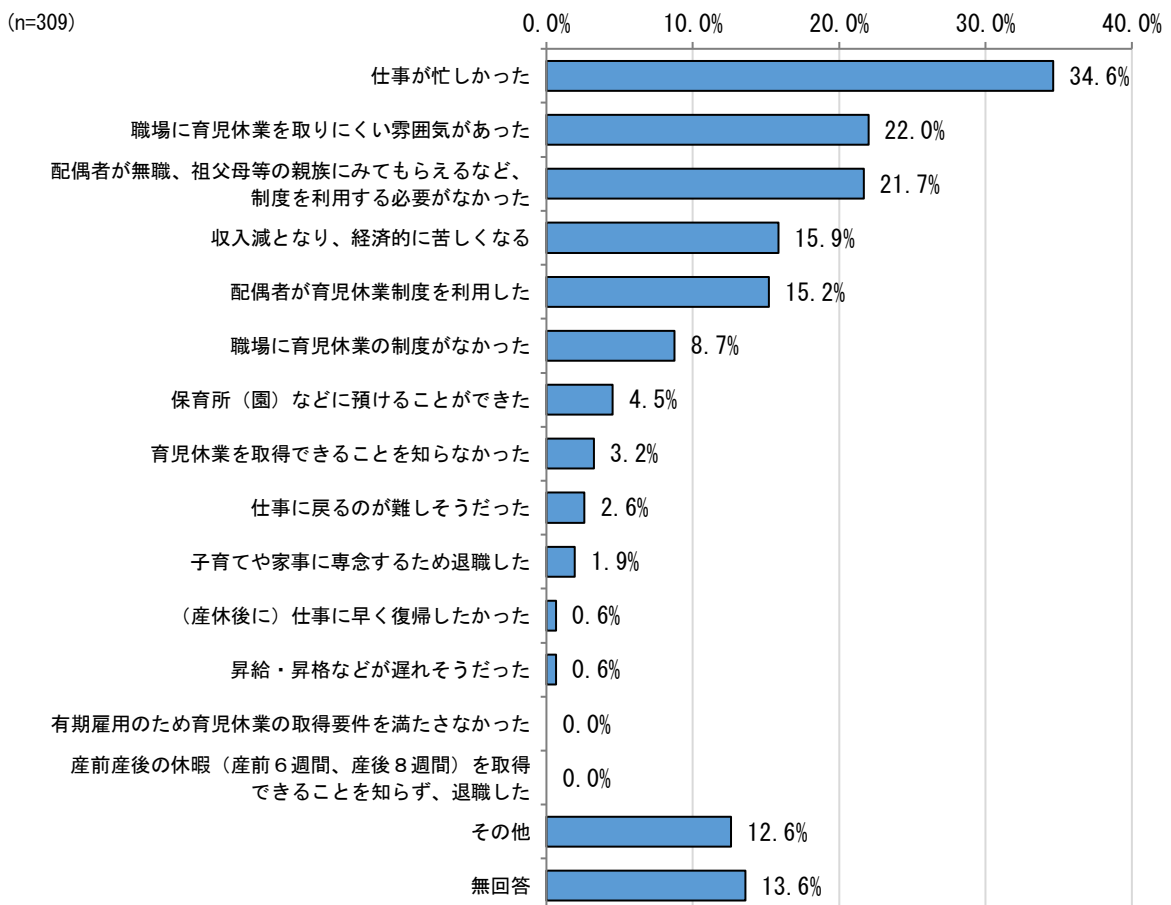


図表 9-5 育児休業の取得期間（月）



※無回答を除いて集計を行った

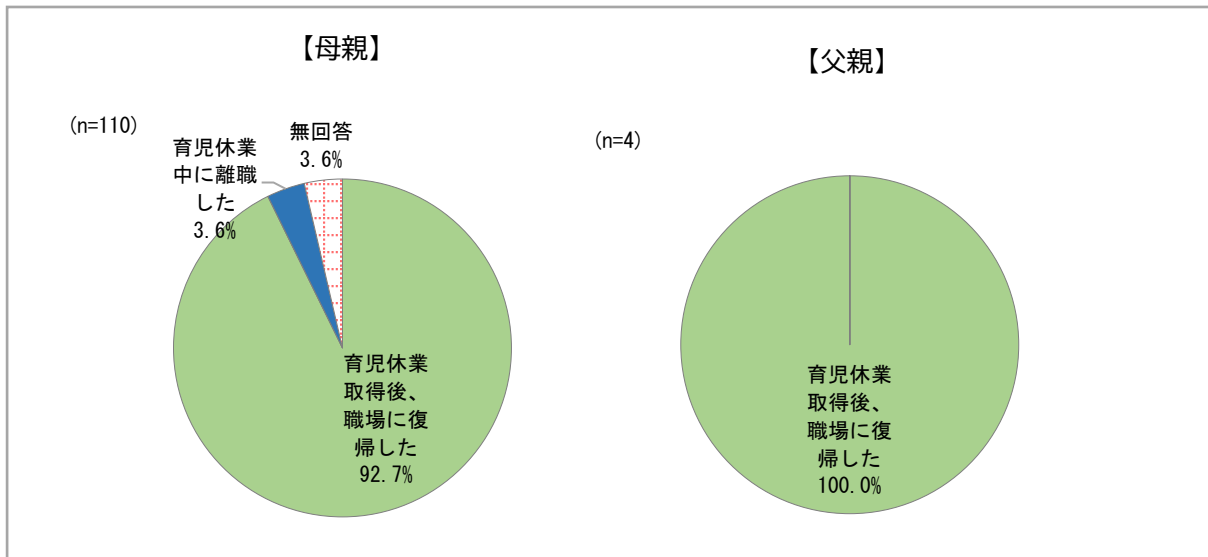
図表 9-6 取得していない理由



問35-1 【問35で母親または父親が「2. 取得した(取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。】
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

母親については、「育児休業取得後、職場に復帰した」92.7%が最も高く、次いで「育児休業中に離職した」3.6%となっている。父親については、サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、「育児休業取得後、職場に復帰した」が100%となっている。

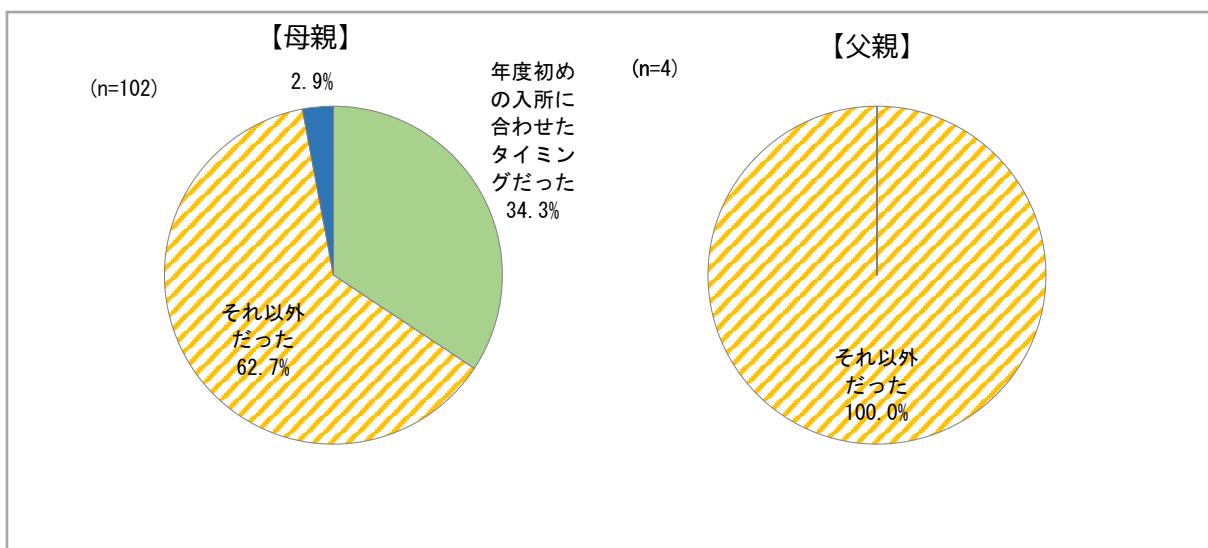
図表 9-7 育児休業後の状況



35-2 【問35-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。】
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

母親については「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」34.3%、「それ以外だった」62.7%となっている。父親については、サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、「それ以外だった」が100%となっている。

図表 9-8 育児休業後の状況



問35-3 【問35-1で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいます。】
 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、
 お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。
 ()内にご記入ください。

(1) 母親

育児休業から「実際」に子どもが何歳何か月のときに職場復帰したかについては、平均し
 て「実際」が9.5か月、「希望」が16.7か月となっている。

(2) 父親

平均して、「実際」が12.5か月、「希望」が24.0か月となっている。(n=2)

問35-4 【問35-1で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいます。】
 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」として
 はお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。()内にご記入ください。

(1) 母親

育児休業の取得期間の「希望」については、平均で24.3か月（月別には36か月が最多）
 となった。

(2) 父親

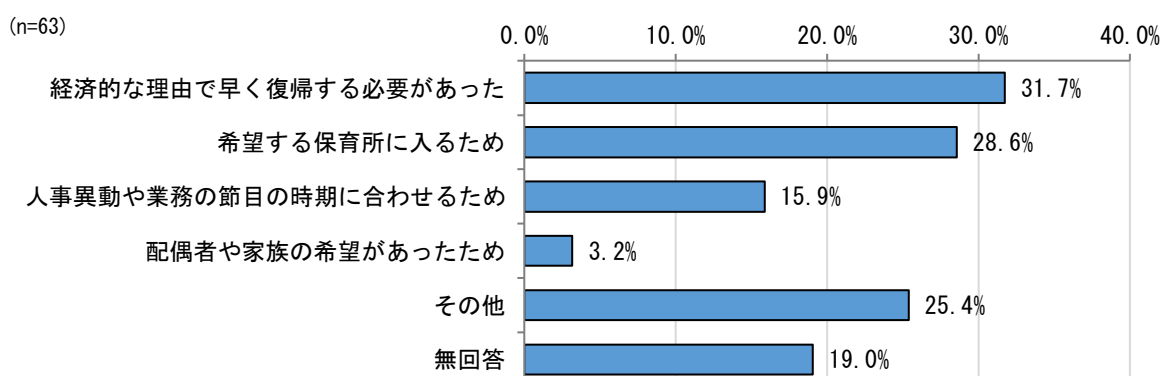
「希望」は平均して、28.0か月（月別には36か月が最多）となっている。(n=3)

35-5 【問35-3で実際の復帰と希望が異なる方にかがいます。】
 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

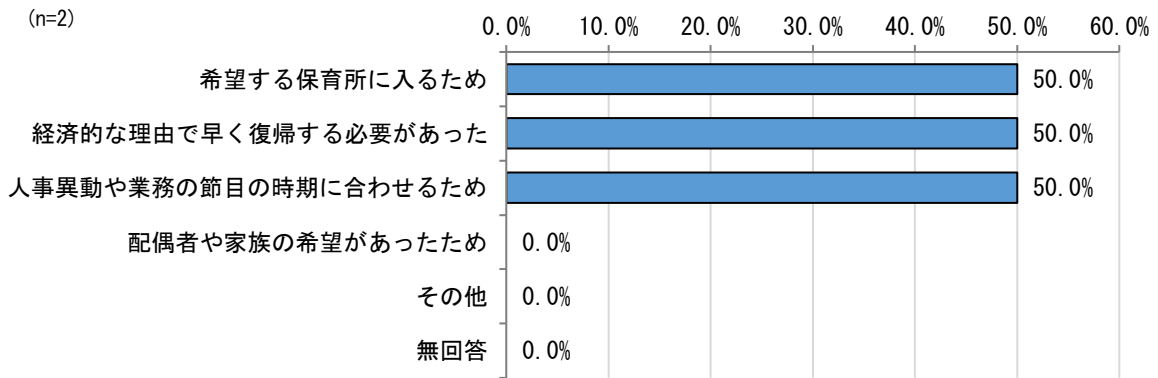
(1) 「希望」より早く復帰した方(複数回答)

希望の時期に復帰しなかった理由について、母親は「経済的な理由で早く復帰する必要があ
 った」31.7%が最も高く、次いで「希望する保育所に入るため」28.6%となっている。父
 親はサンプル数が少ないことに留意する必要があるが、「希望する保育所に入るため」、「経済
 的な理由で早く復帰する必要があった」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が
 いずれも50.0%となっている。

図表 9-9 職場復帰の状況（希望と実際との差：母親）



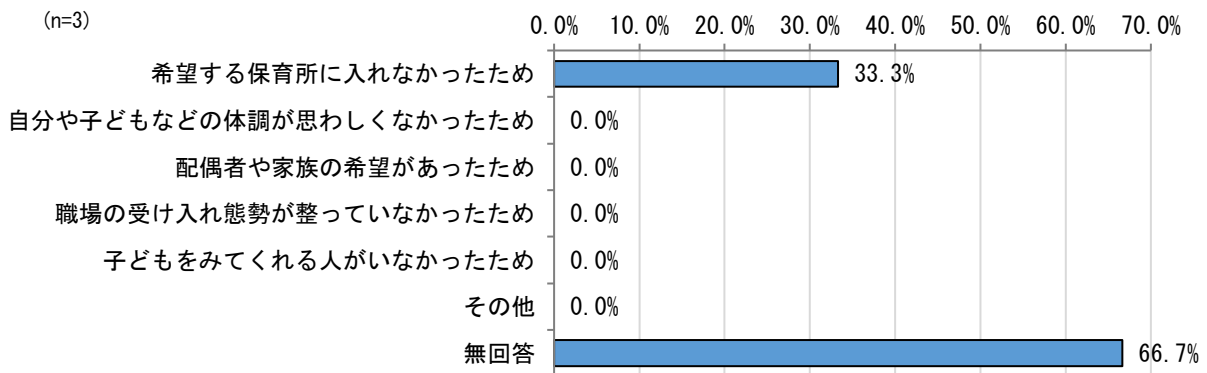
図表 9-10 職場復帰の状況（希望と実際との差：父親）



(2) 「希望」より遅く復帰した方(複数回答)

希望の時期に復帰しなかった理由について、母親についてはサンプル数が少ないことに留意する必要があるが、「希望する保育所に入れなかったため」33.3%が最も高くなっている。父親は該当者がいなかった。

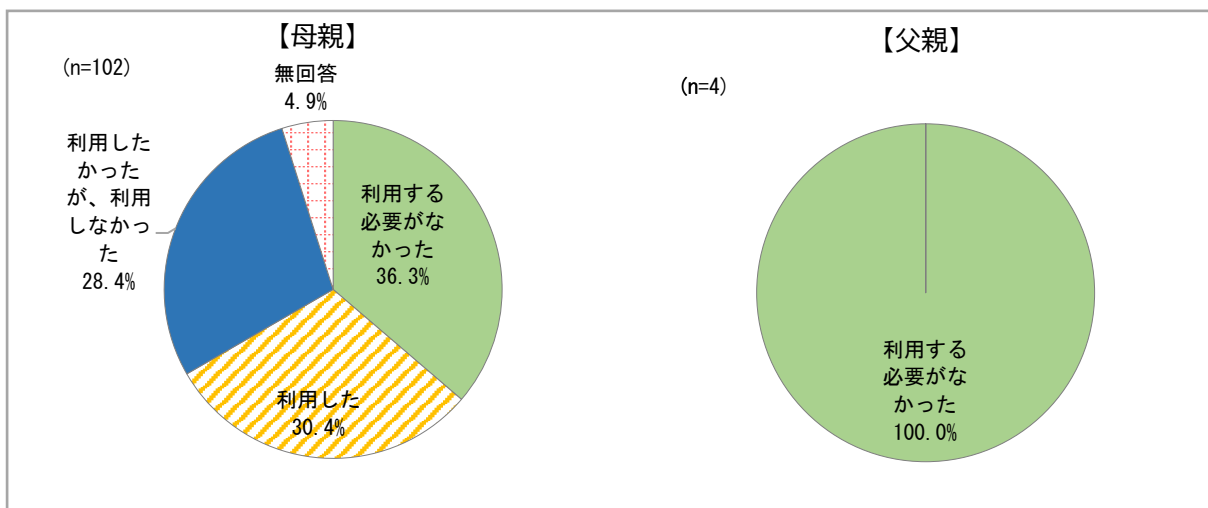
図表 9-11 希望の時期に復帰しなかった理由（母親）



問35-6 育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用しましたか。

短時間勤務制度利用の有無について、母親は「利用する必要がなかった」36.3%が最も高く、次いで「利用した」30.4%、「利用したかったが、利用しなかった」28.4%となっている。父親は、サンプル数が少ないことに留意する必要があるが「利用する必要がなかった」が100%となっている。

図表 9-12 短時間勤務制度利用の有無

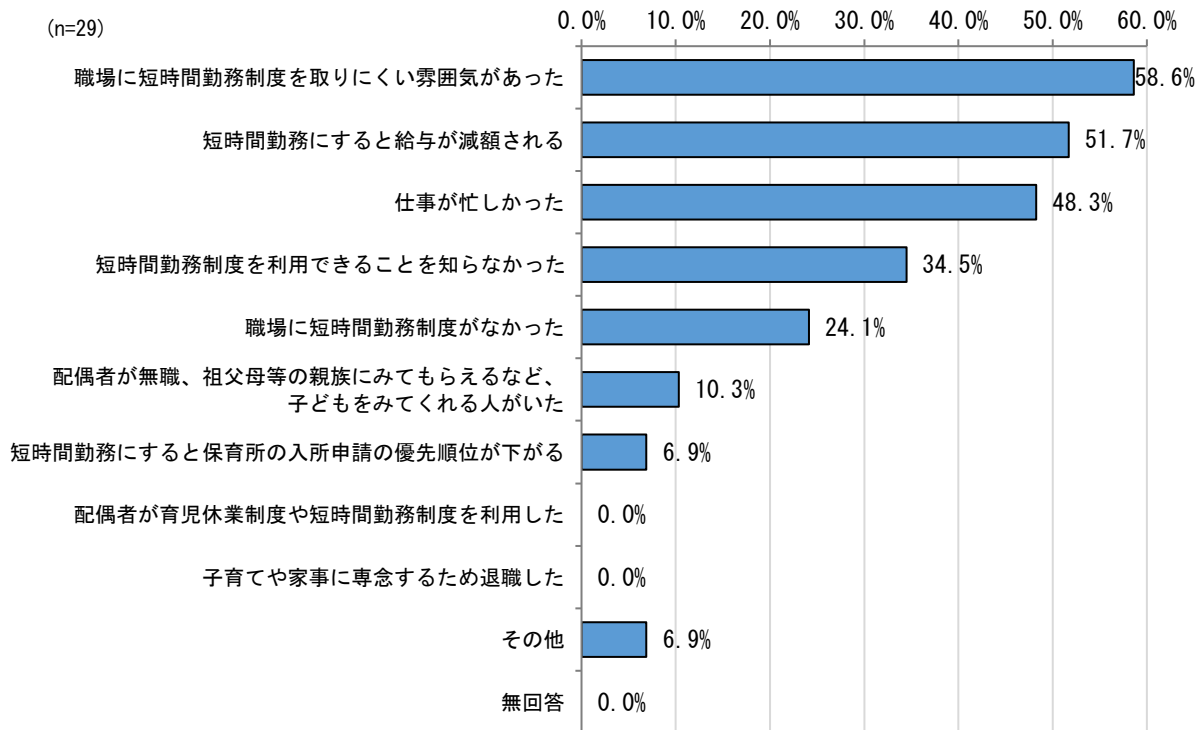


問35-7 【問35-6で「3. 利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方にかがいます。】短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(複数回答)

(1) 母親

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由については、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」58.6%が最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」51.7%、「仕事が忙しかった」48.3%となっている。

図表 9-13 短時間勤務制度を利用しなかった理由(母親)



(2) 父親

該当者なし。

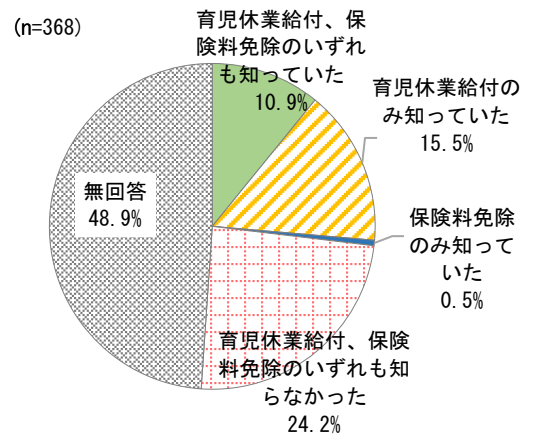
問35-8 【問35-1で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にかがいます。】お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所等の事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる保育所等の事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

母親、父親ともに該当者なし。

問36 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

育児休業給付、保険料免除の認知状況については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」24.2%が最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」15.5%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」10.9%となっている。

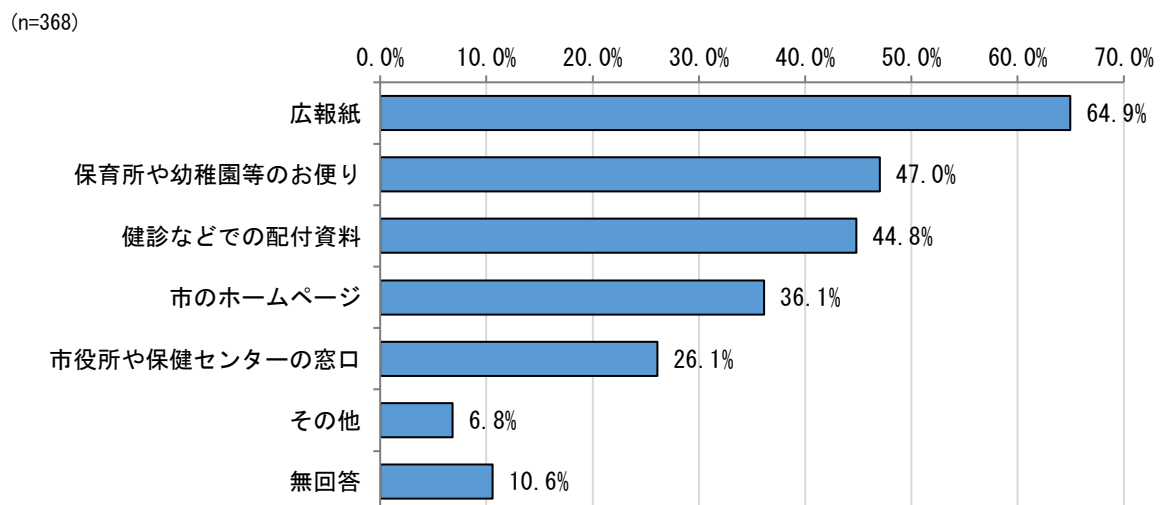
図表 9-14 制度の認知状況



問37 子育て支援サービスに関する情報は、どこから情報提供する方が良いと思いますか。(複数回答)

子育て支援サービスに関する情報をどこから提供する方が良いと思うかについては、「広報紙」64.9%が最も高く、次いで「保育所や幼稚園等のお便り」47.0%、「健診などでの配付資料」44.8%となっている。

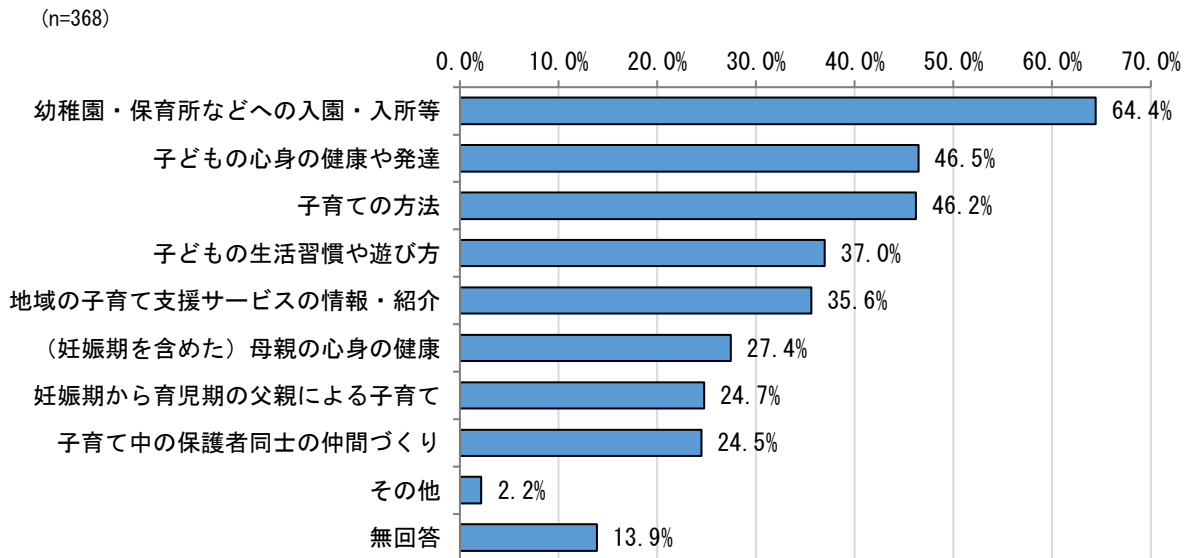
図表 9-15 子育て支援サービスに関する情報の提供方法



問38 (小学校就学前の)乳幼児期の子育てについて、どのような情報提供や相談・支援を受けたいと思いますか。(複数回答)

乳幼児期の子育てについて、どのような情報提供や相談・支援を受けたいかについては、「幼稚園・保育所などへの入園・入所等」64.4%が最も高く、次いで「子どもの心身の健康や発達」46.5%、「子育ての方法」46.2%となっている。

図表 9-16 子育てについての情報提供、相談・支援のニーズ

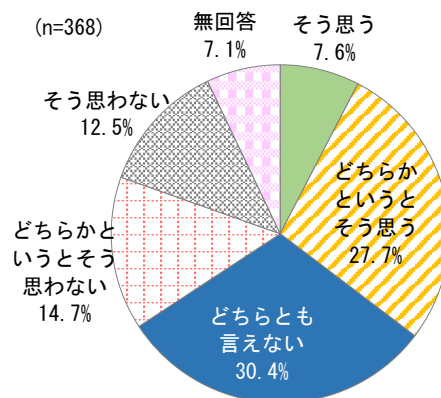


問39 指宿市は子育てしやすいまちだと思いますか。

指宿市は子育てしやすいまちだと思うかについては、「どちらとも言えない」30.4%が最も高く、次いで「どちらかというと思う」27.7%、「どちらかというと思わない」14.7%となっている。

『思う』（「思う」と「どちらかというと思う」の合算）は35.3%となった。

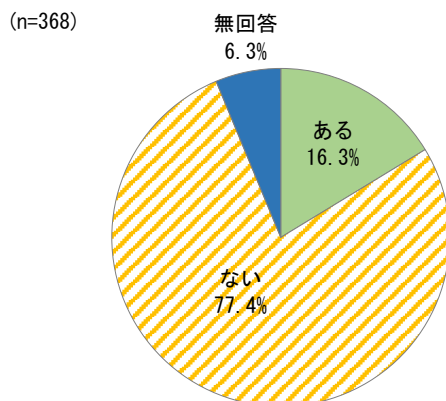
図表 9-17 指宿市は子育てしやすいか



問 40 児童虐待について、見聞きしたことがありますか。

児童虐待について、見聞きしたことがあるかについては、「ある」16.3%、「ない」77.4%となっている。

図表 9-18 児童虐待を見聞きしたことがあるか

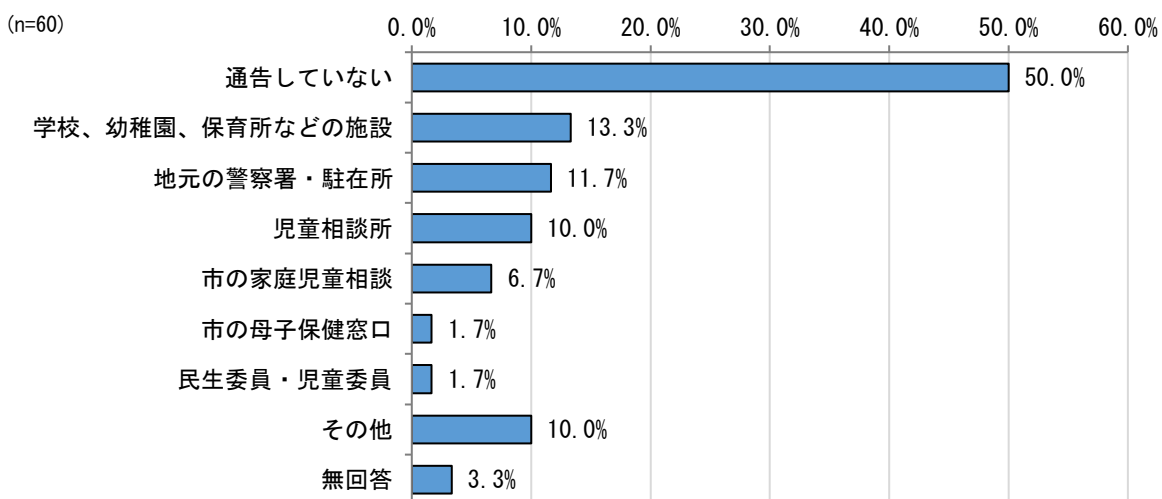


問41 【問40で「1. ある」に○をつけた方にうかがいます。】

児童虐待を見聞きした場合に、どちらに通告されましたか。(当てはまるものすべてに○)

児童虐待を見聞きした場合に、どこへ通告したかについては、「通告していない」50.0%が最も高く、次いで「学校、幼稚園、保育所などの施設」13.3%、「地元の警察署・駐在所」11.7%となっている。

図表 9-19 通告先について

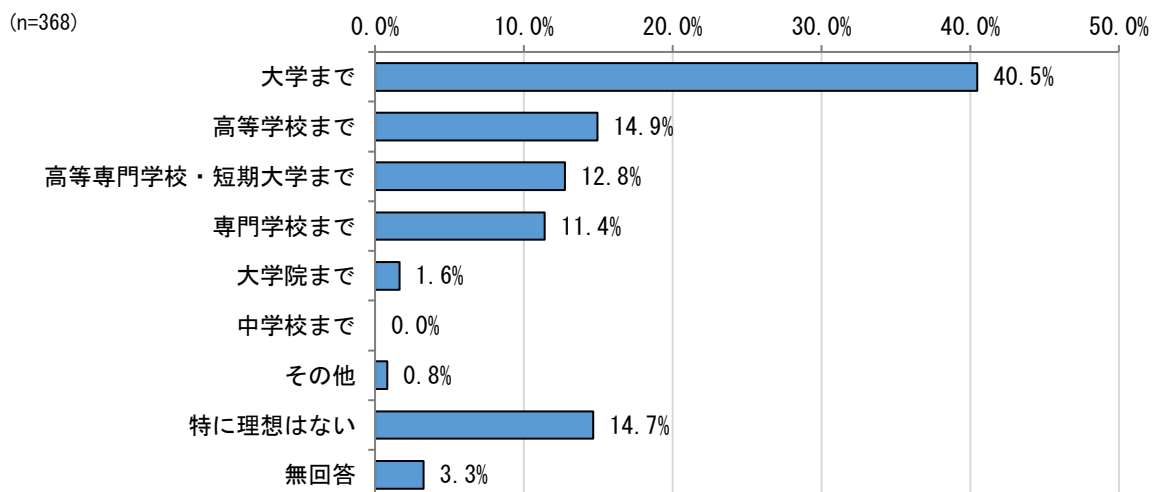


10. 子育て全般について

問42 あなたは、お子さんに、理想的には、どの段階の学校まで進んでほしいと思いますか。

理想として、どの段階の学校まで進んでほしいと思うかについては、「大学まで」40.5%が最も高く、次いで「高等学校まで」14.9%、「特に理想はない」14.7%となっている。

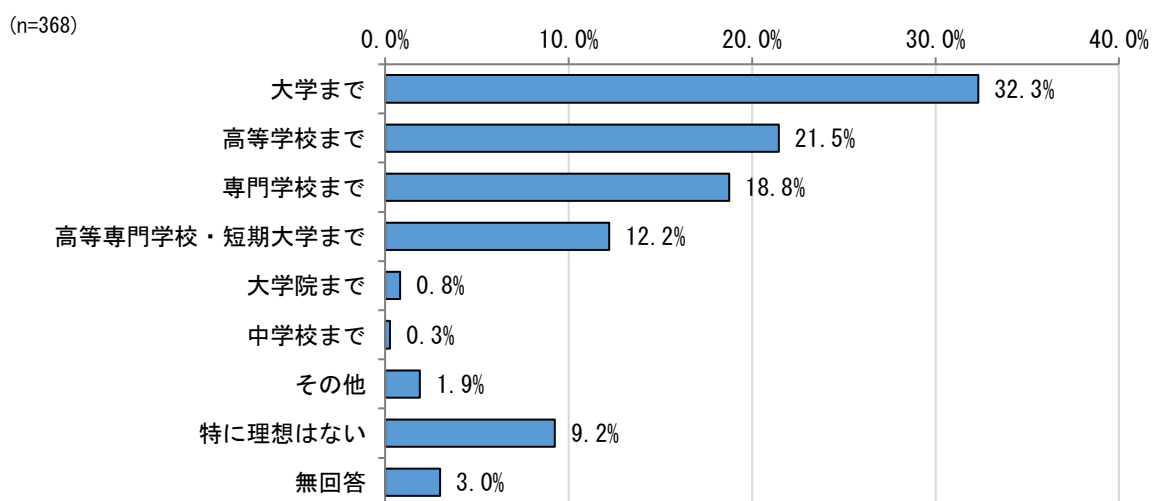
図表 10-1 どの段階の学校まで進んでほしいか（理想）



問43 あなたは、お子さんは、現実的には、どの段階の学校まで進むと思いますか。

現実的には、どの段階の学校まで進むと思うかについては、「大学まで」32.3%が最も高く、次いで「高等学校まで」21.5%、「専門学校まで」18.8%となっている。

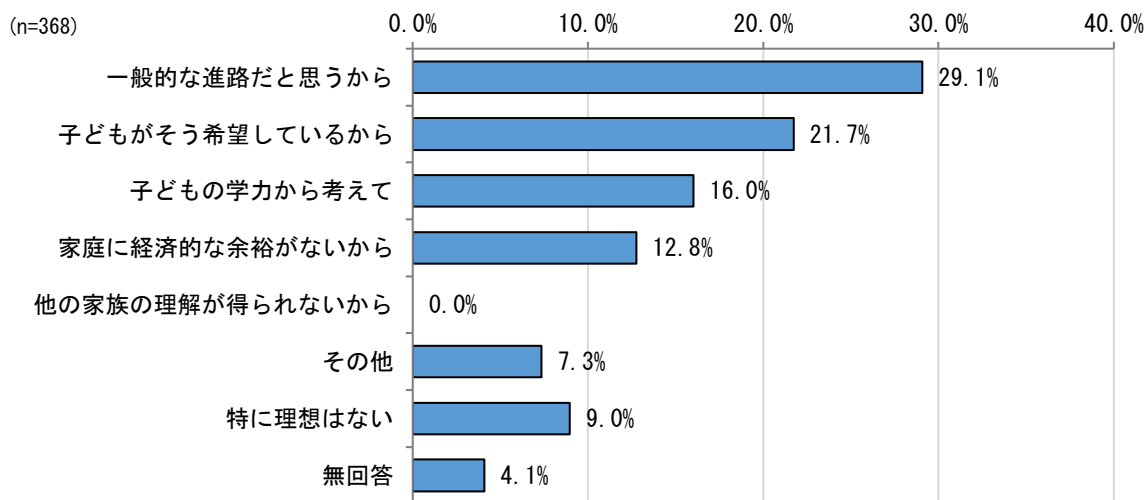
図表 10-2 どの段階の学校まで進むと思うか（現実）



問44 あなたが問43のようにお考えになる理由は何ですか。

問43（現実的な進路）のように考える理由については、「一般的な進路だと思うから」29.1%が最も高く、次いで「子どもがそう希望しているから」21.7%、「子どもの学力から考えて」16.0%となっている。

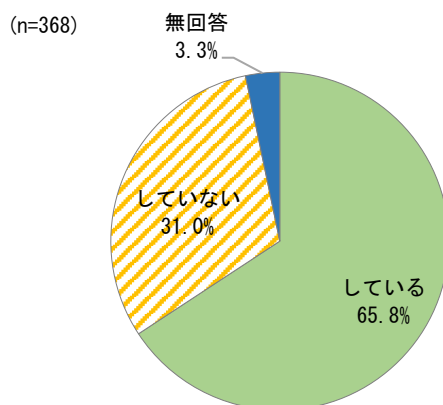
図表 10-3 問43（現実的な進路）のように考える理由



問45 お子さんは、現在、塾に行ったり、習い事をしたりしていますか。（ここでの「塾」「習い事」には、費用がかからないサークル活動等は含みません。）

現在、塾や習い事をしているかについては、「している」65.8%、「していない」31.0%となっている。

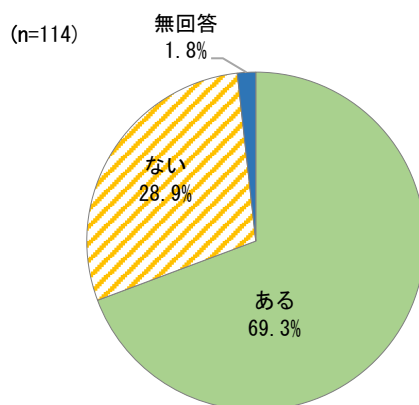
図表 10-4 塾や習い事をしているか



問46 塾や習い事に行かせたい希望はありますか。

塾や習い事に行かせたい希望があるかについては、「ある」69.3%、「ない」28.9%となっている。

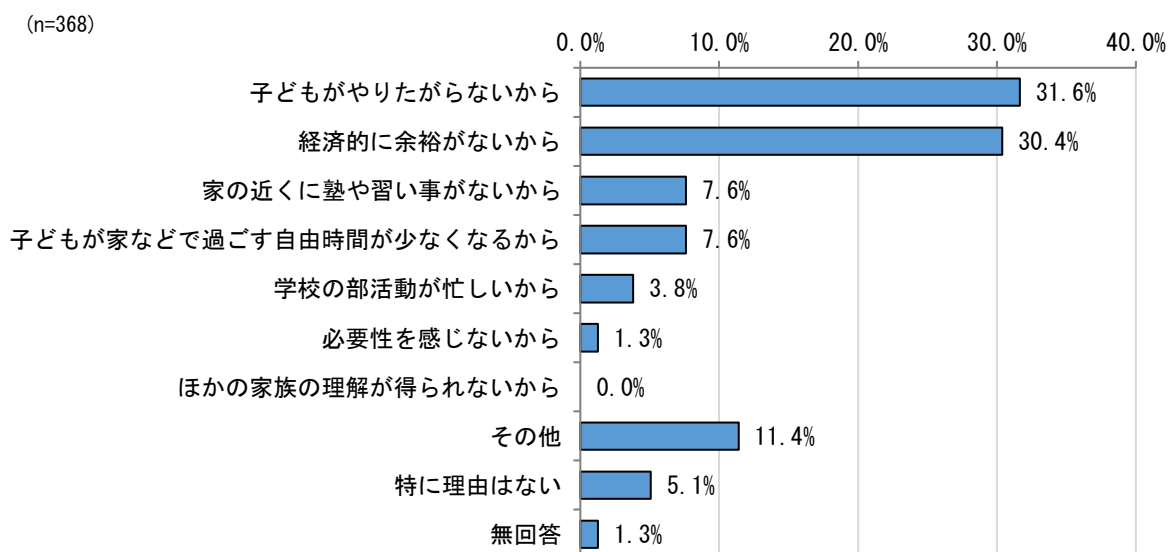
図表 10-5 塾や習い事に行かせたい希望



問47 お子さんが塾や習い事をしていない理由は何ですか。

塾や習い事をしていない理由については、「子どもがやりたがらないから」31.6%が最も高く、次いで「経済的に余裕がないから」30.4%、「その他」11.4%となっている。

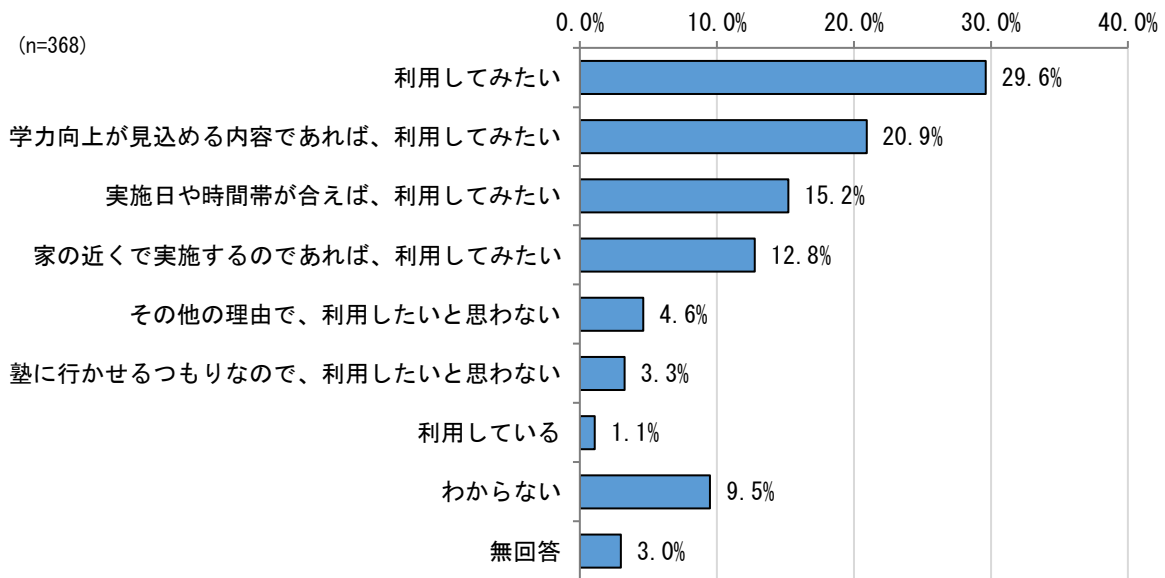
図表 10-6 塾や習い事をしていない理由



問48 本市で、塾に行きたいのに、様々な理由で塾に行っていないお子さんを対象に、無料もしくは低額な利用料金で元教職員等が学習習慣の定着等の学習支援を行う「学習支援事業」を実施した場合、利用したいと思いますか。

「学習支援事業」の利用意向については、「利用してみたい」29.6%が最も高く、次いで「学力向上が見込める内容であれば、利用してみたい」20.9%、「実施日や時間帯が合えば、利用してみたい」15.2%となっている。『利用してみたい』は全体の78.5%を占める。

図表 10-7 「学習支援事業」の利用意向



問49 本市内で、食事を満足に取れなかったり、親が忙しく、一人で食事をしている家庭の子どもを支援を目的とした「子ども食堂」がありますが、あなたは利用したいと思いますか。

「子ども食堂」の利用意向については、「わからない」35.1%が最も高く、次いで「利用したいと思わない」28.0%、「利用してみたい」25.3%となっている。

図表 10-8 「子ども食堂」の利用意向

